XPERIA Z3 Compact SO-02G

取扱説明書

’14.10

はじめに

「SO-02G」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

SO-02Gの取扱説明書について

SO-02Gの操作については、本書のほかに『クイックスタートガイド』や本端末用アプリの『取扱説明書』で説明しています。

● **『クイックスタートガイド』（本体付属品）**
お買い上げ時に最初に行う基本的な操作や設定のほか、画面の表示内容、主な機能の操作などを説明しています。

● **『取扱説明書』（本端末のアプリ）**
各種機能の操作や設定操作などを説明しています。『取扱説明書』アプリを利用するには、ホーム画面で田▶［取扱説明書］をタップします。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリをダウンロードしてインストールする必要があります。『取扱説明書』アプリを削除した場合は、Playストアでgoogle Playにアクセスして再インストールできます。ホーム画面で［Playストア］をタップし、『取扱説明書』アプリを検索して選択し、画面の指示に従ってインストールします。以後は電子書籍としてご覧いただけます。また、説明ページの記載内容をタップして実際の操作へ移行したり、参照内容を表示したりできます。

● **『取扱説明書』（PDFファイル）**
各種機能の操作や設定操作などを説明しています。次のドコモのホームページよりダウンロードできます。
https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※『クイックスタートガイド』の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

❖注意

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- SO-02Gに関する重要なお知らせを次のホームページに掲載しております。ご利用の前に必ずご確認ください。
http://www.sonymobile.co.jp/support/use_support/product/so-02g/

操作説明文の表記について

本書では、各キー（キーアイコン）の操作を ⓟ、[カメラ]、[戻る]、[ホーム]、[最近使ったアプリ] を使って説明しています。また、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

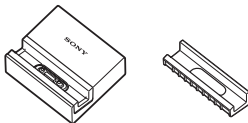
表　記	操作内容
ホーム画面で ⊞▶［設定］▶［端末情報］	ホーム画面で ⊞（アプリボタン）をタップして、次に表示された画面で「設定」を、さらに表示された画面で「端末情報」を順にタップする
アイコンをロングタッチ	画面上のアイコンを長めに（1～2秒間）触れたままにする

❖お知らせ

- 本書の操作説明は、お買い上げ時のホーム画面からの操作で説明しています。別のアプリをホーム画面に設定している場合などは、操作手順が説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面やイラストはイメージであるため、実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定の操作について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書の本文中においては、「SO-02G」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書はホームアプリが「ドコモ」の場合で説明しています（P.61）。

本体付属品

- SO-02G本体（保証書付き）

- 卓上ホルダ SO24（保証書付き）

- クイックスタートガイド

- SO-02Gのご利用にあたっての注意事項
  安全上／取り扱い上のご注意

- ワンセグアンテナケーブル SO02

本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/product/option/

目　次

本体設定 143

ファイル管理 172

データ通信 176

外部機器接続 181

海外利用 186

付録／索引 195

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、Xiサービスエリアおよび FOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。

- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末ではマナーモードに設定中でも、シャッター音、動画・音楽などの音声、通話中のダイヤルパッド操作音や［通話終了］をタップしたときの音は消音されません。
- ロック画面（P.37）にオペレーター名が表示されます。
- お客様の電話番号（自局番号）は、ホーム画面で▶［設定］▶［端末情報］▶［機器の状態］をタップして、「電話番号」で確認できます。
- 本端末のソフトウェアバージョンは、ホーム画面で▶［設定］▶［端末情報］をタップして確認できます。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます（P.206、P.212）。
- 本端末の品質改善を行うため、Androidバージョンアップによってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用になれます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください（P.164）。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。

- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットUCH以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用にはspモードのご契約が必要です。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳しくは、次のホームページをご覧ください。
  https://www.nttdocomo.co.jp/
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、次の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカード、ワンセグアンテナケーブルの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください（衣服のポケットに入れるなどして身につける場合も含みます）。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能について→P.22「防水／防塵性能」

水濡れ禁止

充電端子やmicroUSB接続端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能について→P.22「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く**
- **本端末の電源を切る**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けが、感電の原因となります。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームや動画、ワンセグ視聴などを長時間行うと本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモnanoUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
電源オフ時に、本端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSB接続ケーブルで接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、使用を禁止された区域ではmicroUSB接続ケーブルで接続を行わないようご注意ください。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
電源オフ時に、本端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSB接続ケーブルで接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、使用を禁止された区域ではmicroUSB接続ケーブルで接続を行わないようご注意ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部には強化ガラスを使用し、カメラのレンズには、アクリル樹脂を使用してガラスが飛び散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.14「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

3. アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

4. ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

6. 材質一覧

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース（カバー前面、カバー背面）	PA樹脂（ガラス入り）	UV塗装処理
外装ケース（側面周囲、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバー、ドコモnanoUIMカード挿入口カバー）	PC樹脂	UV塗装処理
電源キー、音量キー、カメラキー、化粧リング（ヘッドセット接続端子）	アルミニウム合金	陽極酸化皮膜処理
透明板（カメラ）	PMMA樹脂＋PC樹脂	AR処理
透明板（ディスプレイ、背面）	強化ガラス	AFP処理
化粧リング（カメラ）	ステンレス合金	―
マグネットコネクタ（樹脂部）	PPS樹脂（Black、Orange、Green）ナイロン樹脂（White）	―
マグネットコネクタ（板金）	SUS	アクリル系塗装処理
マグネットコネクタ（電極部）	りん青銅	金メッキ
卓上ホルダ（上ケース、下ケース）	ABS樹脂	―

使用箇所	材質	表面処理
卓上ホルダ（アタッチメント）	PC樹脂	―
卓上ホルダ（マグネットコネクタ）	ネオジム	ニッケルメッキ
卓上ホルダ（接触端子、充電端子）	黄銅	金メッキ
卓上ホルダ（ハウジング：接触端子）	PA樹脂	―
卓上ホルダ（ハウジング：充電端子）	ポリエステル樹脂	―
卓上ホルダ（シールド：充電端子）	ステンレス	―
卓上ホルダ（機銘板）	PET（アルミ蒸着）樹脂	―
卓上ホルダ（製造番号ラベル）	PET樹脂	―
卓上ホルダ（2Dバーコードラベル）	PS樹脂	―
卓上ホルダ（水没ラベル）	上質紙	―
卓上ホルダ（ゴム足）	ポリウレタン樹脂	―
ワンセグアンテナケーブル（ヘッドセット接続端子：天面、接続プラグ：天面）	PP樹脂	―
ワンセグアンテナケーブル（ヘッドセット接続端子：ボディー、ケーブル、接続プラグ：ボディー）	エラストマー樹脂	―
ワンセグアンテナケーブル（接続プラグ：金属部分）	黄銅	金メッキ

取り扱い上のご注意

■ 共通のお願い

- **SO-02Gは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を入れたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカード、ワンセグアンテナケーブルは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

■ 本端末についてのお願い

- **タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチスクリーンが破損する原因となります。

- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はドコモnanoUIMカード挿入口カバー、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバーを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

- 本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

  内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。

  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

■ アダプタ、卓上ホルダについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタや卓上ホルダ（接触端子を含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。

  故障の原因となります。
- 卓上ホルダの接触端子の間にあるマグネットコネクタは磁石を使用しています。砂鉄や金属製の異物（クリップなど）が付着していないことをお確かめの上、本端末を取り付けてください。異物がある場合、柔らかい布などで取り除いてからご使用ください。
- 卓上ホルダの接触端子の間にあるマグネットコネクタにキャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類を近づけないでください。卓上ホルダの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 卓上ホルダは、必ず付属のアタッチメントを取り付けて充電してください。アタッチメントを取り付けないで卓上ホルダに本端末を取り付けても充電できません。お買い上げ時はアタッチメント34Aが卓上ホルダに取り付けられています。アタッチメント34Bは「純正卓上ホルダ対応」マークのついた端末カバー（市販品）のみ対応し、端末カバーを使用したまま卓上ホルダで充電することができます。

■ ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

  故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。

  故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。

  故障の原因となります。

■ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- **周波数帯について**

  本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、次のとおりです。

  2.4FH4/XX8/DS4/OF4

  2.4： 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

  FH/XX/DS/OF： 変調方式がFH-SS、その他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。

  4： 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

  8： 想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

  ■■■： 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

  利用可能なチャネルは国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- **Bluetooth機器使用上の注意事項**

  本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

  - 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  - その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- **無線LANについて**

  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- **2.4GHz機器使用上の注意事項**
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  - この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  - その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- **5GHz機器使用上の注意事項**
  本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を使用できます。
  - 5.2GHz帯（W52／36、40、44、48ch）
  - 5.3GHz帯（W53／52、56、60、64ch）
  - 5.6GHz帯（W56／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

  本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHz帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

■ FeliCa®およびNFCリーダー／ライター機能についてのお願い

- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター , P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター , P2P機能をご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**
- **航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。**

■ 注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**

  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク〒」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、ホーム画面で田▶［設定］▶［端末情報］▶［法的情報］▶［認証］をタップしてご確認いただけます。

  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

  運転中に携帯電話を手で保持しての使用は、罰則の対象となります。

  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**

  本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

SO-02Gは、ドコモnanoUIMカード挿入口カバー、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところにSO-02Gを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP6Xとは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SO-02Gが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
  - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、ドコモnanoUIMカード挿入口カバー、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバーの開閉はしないでください。
- 汚れたり水道水以外が付着したりした場合に洗い流すことができます。
  - やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
  - 洗うときはドコモnanoUIMカード挿入口カバー、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください（P.26）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- お風呂場で使用できます。
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（P.26）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
  - お風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

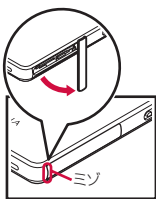
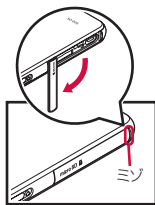
防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

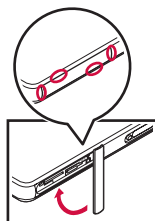
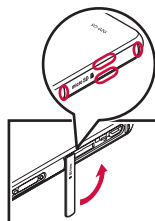
- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- ドコモnanoUIMカード挿入口カバー、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 受話口／スピーカー、送話口（マイク）、スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子、ストラップホールなどを尖ったものでつつかないでください。

- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- ドコモnanoUIMカード挿入口カバー、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

■ ドコモnanoUIMカード挿入口カバー、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバーの開きかた

ミゾに指先をかけてカバーを開いてください。

ドコモnanoUIMカード挿入口カバー

microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバー

■ ドコモnanoUIMカード挿入口カバー、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバーの閉じかた

矢印の方向へカバーを戻した後に○部分を押し込んですき間がないことを確認してください。

ドコモnanoUIMカード挿入口カバー

microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバー

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定以上の強い水流（6L／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。SO-02GはIPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 受話口／スピーカー、送話口（マイク）、スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- ドコモnanoUIMカード挿入口カバー、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ドコモnanoUIMカード挿入口カバー、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

- 本端末が水で濡れた状態でワンセグアンテナケーブルやイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。

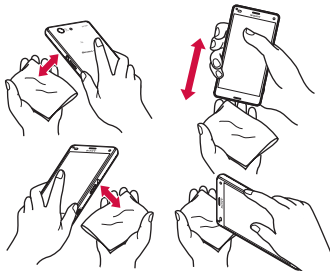
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

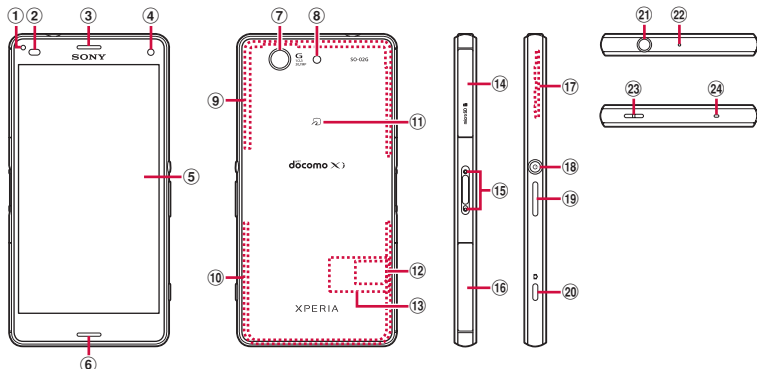
② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

③ 受話口／スピーカー、送話口（マイク）、スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子、電源キー／画面ロックキー、音量キー／ズームキー、カメラキー、卓上ホルダ用接触端子、各カバー（ドコモnanoUIMカード挿入口カバー、microUSB接続端子／microSDカード挿入口カバー）などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取る

④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させる
   - 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
   - すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。
   - 常温の環境で約3時間、自然乾燥させてください。

充電のときは

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、microUSB接続端子カバーを開いたりしてください。
- microUSB接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。なお、microUSB接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

各部の名称と機能

① 通知LED
② 近接センサー：通話中に顔の接近を感知し、タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
③ 受話口／スピーカー
④ フロントカメラレンズ
⑤ タッチスクリーン
⑥ スピーカー
⑦ カメラレンズ
⑧ フラッシュ／フォトライト
⑨ FOMA／Xi／GPSアンテナ部※1
⑩ FOMA／Xiアンテナ部※1
⑪ マーク
⑫ ドコモnanoUIMカード
⑬ 銘板プレート※2
⑭ microUSB接続端子／microSDカード挿入口
⑮ 卓上ホルダ用接触端子
⑯ ドコモnanoUIMカード挿入口
⑰ Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※1
⑱ 電源キー／画面ロックキー
⑲ 音量キー／ズームキー
⑳ カメラキー
㉑ ヘッドセット接続端子
㉒ セカンドマイク：通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制します。
㉓ ストラップホール
㉔ 送話口（マイク）

※1 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

※2 CEマーク、FCC ID、IMEI情報などを印刷したシールが貼られていますので、銘板プレートは取り外さないでください。

❖注意

- 近接センサー上にシールなどを貼らないでください。
- リアカバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 電池は本体に内蔵されており、取り外せません。

ドコモnanoUIMカードについて

ドコモnanoUIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードのことです。

- 本端末では、ドコモnanoUIMカードを使用します。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話、パケット通信などの機能を利用することができません。
- ドコモnanoUIMカードについて詳しくは、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書をご覧ください。
- ドコモnanoUIMカードを取り付ける／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください（P.36）。
- ドコモnanoUIMカード挿入口カバーの開閉方法について（P.23）

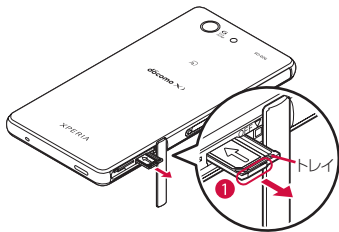
■ ドコモnanoUIMカードの暗証番号について

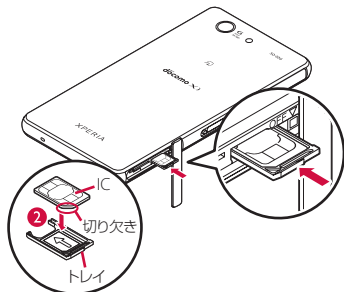
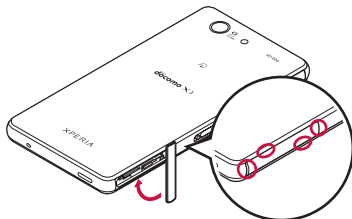
ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.164）。

❖お知らせ

- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。

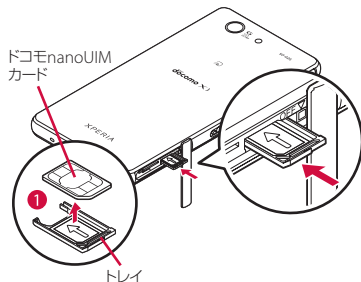
ドコモnanoUIMカードを取り付ける

1 ドコモnanoUIMカード挿入口カバーを開き、トレイの突起部（❶）に指先をかけてまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り外す

2 **ドコモnanoUIMカードのICを上にしてトレイにはめ込み（❷）、トレイごと本端末に差し込んで奥までまっすぐ押し込む**

- 切り欠きの方向やトレイの差し込む方向にご注意ください。

3 **ドコモnanoUIMカード挿入口カバーを閉じて、○部分をしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認**

ドコモnanoUIMカードを取り外す

1 **ドコモnanoUIMカード挿入口カバーを開き、トレイの突起部に指先をかけてまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り外す**

2 **トレイからドコモnanoUIMカードを取り出し（❶）、本端末にトレイを差し込んで奥までまっすぐ押し込む**

- トレイの差し込む方向にご注意ください。

3 **ドコモnanoUIMカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認（P.30）**

充電する

お買い上げ時の内蔵電池は十分に充電された状態ではありません。

- 充電時間の目安について（P.213）

十分に充電したときの使用時間（目安）

使用環境や内蔵電池の状態によって使用時間は異なります。

- 「連続待受時間」「連続通話時間」について（P.214）

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約800時間
	GSM	静止時（自動）：約620時間
	LTE	静止時（自動）：約650時間
連続通話時間	FOMA／3G	約700分
	GSM	約650分
	VoLTE通話（音声）	約990分

内蔵電池の寿命について

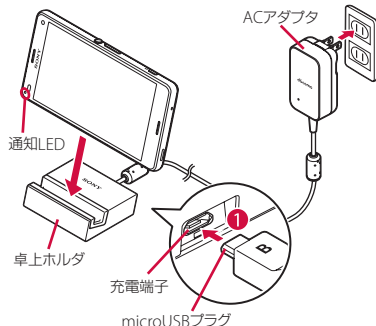
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。
- 充電しながらワンセグの視聴などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 内蔵電池の性能は、ホーム画面で田▶［設定］▶［端末情報］▶［機器の状態］▶［電池性能表示］をタップすると確認できます。

充電について

- 充電にはACアダプタ 04／05（別売品）を使用することをおすすめします。ACアダプタ 04／05について詳しくは、ACアダプタ 04／05の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 03／04／05の対応電圧はAC100Vから240Vです。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電には対応のACアダプタやmicroUSB接続ケーブルをご使用ください。対応充電器以外をご使用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります。
- ACアダプタのケーブルやmicroUSB接続ケーブルは、無理な力がかからないように水平にゆっくり抜き差ししてください。
- 充電を開始すると、本端末の通知LEDが点灯します（P.43）。
- 電池残量は、画面上部のステータスバーで確認するか、ホーム画面で田▶［設定］▶［端末情報］▶［機器の状態］をタップし、「電池残量」で確認できます。
- 電源オフの状態で充電を開始すると、操作はできませんが本端末の電源はオンになります。このため、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。

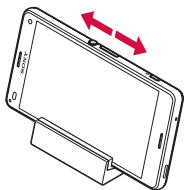
卓上ホルダを使って充電する

付属の卓上ホルダ SO24とACアダプタ 05（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

- 必ず卓上ホルダ付属のアタッチメント（アタッチメント34Aまたはアタッチメント34B）を取り付けて充電してください（P.33）。アタッチメントを取り付けないで本端末を取り付けても充電できません。

1　卓上ホルダの裏側の充電端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグを刻印面（B）を上にして差し込む（❶）

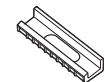
2　ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

3 **本端末を卓上ホルダに取り付け、カチッと音がするまで左右に動かす**

- 正しく接合された場合は、本端末の通知LEDが点灯します（P.43）。

4 **充電が完了したら、卓上ホルダを押さえながら本端末を上方向に持ち上げて取り外す**

5 **ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

6 **ACアダプタのmicroUSBプラグを卓上ホルダから抜く**

アタッチメントを取り付ける／取り外す

■ 取り付ける場合

1 **アタッチメントの前後の形状と卓上ホルダの取り付け部分の形状をよく確認し、アタッチメントを卓上ホルダに合わせる**

2 **アタッチメントをまっすぐしっかりと押し込み、卓上ホルダとすき間がないことを確認**

■ 取り外す場合

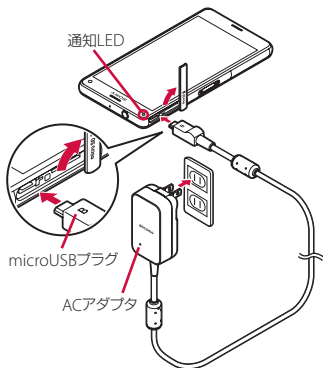
1 **アタッチメントの片側のくぼみに指先をかけ、卓上ホルダを押さえながら斜めに持ち上げて取り外す（❶）**

❖注意

- 卓上ホルダとパソコンを接続して充電することはできません。
- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。
- お買い上げ時はアタッチメント34Aが卓上ホルダに取り付けられています。
- アタッチメント34Bは「純正卓上ホルダ対応」マークのついた端末カバー（市販品）のみ対応し、端末カバーを使用したまま卓上ホルダで充電することができます。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 05（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

- microUSB接続端子カバーの開閉方法について（P.23）

1 本端末のmicroUSB接続端子カバーを開き、ACアダプタのmicroUSBプラグを刻印面（B）を上にして、本端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 本端末の通知LEDが点灯します（P.43）。

3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

4 ACアダプタのmicroUSBプラグを本端末から水平に抜く

5 microUSB接続端子カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認

❖注意

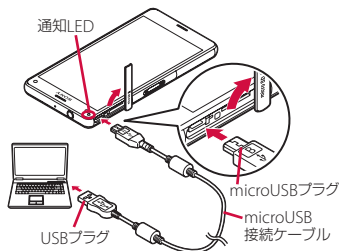
- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

DCアダプタを使って充電する

DCアダプタ 03／04（別売品）は、自動車のシガーライターソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。詳しくは、DCアダプタ 03／04の取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使って充電する

microUSB接続ケーブル 01（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

- microUSB接続端子カバーの開閉方法について（P.23）

1　本端末のmicroUSB接続端子カバーを開き、microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを刻印面（⭠⭢）を上にして、本端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2　microUSB接続ケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

- 本端末の通知LEDが点灯します（P.43）。
- 本端末上に「ソフトウェアをインストール」画面が表示されたら、［スキップ］または［キャンセル］をタップしてください。
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示されたら「キャンセル」を選択してください。

3　充電が完了したら、microUSB接続ケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートから抜く

4　microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを本端末から水平に抜く

5　microUSB接続端子カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認

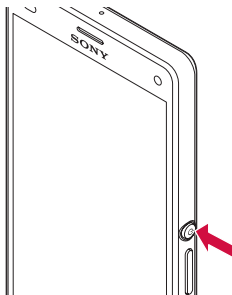
❖注意

- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ⏻ を1秒以上押す

- 本端末が振動し、しばらくするとロック画面が表示されます。
- お買い上げ後に初めて本端末の電源を入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います（P.38）。

2 画面ロックを解除

- 画面ロックの解除方法について（P.37）

❖**お知らせ**

- 電池残量が十分でない場合、本端末の電源を入れるために ⏻ を押すと、通知LEDが赤色で3回点滅したり、電池残量が少ないことを示すアイコンが表示されたりします。本端末を充電してください（P.31）。
- SIMカードロック（P.164）を設定している場合は、PINコード入力画面でPINコードを入力します（P.164）。

電源を切る

1 ⏻ を1秒以上押す

2 ［電源を切る］▶［OK］

スリープモードにする

スリープモードにすると、画面のバックライトが消灯してタッチスクリーンやキーの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。

1 ⏻ を押す

- 再度 ⏻ を押すと、スリープモードが解除されます。

❖**お知らせ**

- 設定した時間が経過して、自動的に画面のバックライトが消灯した場合も、スリープモードになります。画面のバックライトが消灯するまでの時間は変更できます（P.155）。

画面ロックを解除する

ロック画面は電源を入れたとき、または ⏻ を押してスリープモードを解除したときに表示されます。

1 ロック画面で🔒

❖**お知らせ**

- ロック画面で🎤をタップすると、「Google」アプリを起動できます。
- ロック画面で📷をタップすると、カメラを起動できます。
- 画面ロックの解除方法は変更できます（P.164）。
- ホーム画面を「シンプルホーム」に設定している場合（P.51）や、優先アプリを「Xperia™」に設定している場合（P.153）は、画面を上下左右にフリック（スワイプ）して画面ロックを解除します。

ロック画面にウィジェットを追加する

ロック画面に、カレンダーや時計などのウィジェットを追加できます。

- あらかじめロック画面のウィジェットを有効にしておく必要があります（P.161）。

1 ロック画面でデジタル時計のウィジェットを右にドラッグ

2 ＋▶追加したいウィジェットをタップ

- 続けて画面を右にフリック▶＋をタップすると、最大5個のウィジェットを設定できます。

❖**お知らせ**

- ウィジェットを削除するには、ロック画面で削除したいウィジェットをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグします。

初期設定を行う

お買い上げ後に初めて本端末の電源を入れたときは、画面の指示に従って言語や各機能、サービスなどの初期設定を行います。

1 ［日本語］▶［完了］▶➡

- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、➡または［終了］をタップします。
  - Googleアカウントの設定
  - Sonyワールドに参加（Sony Entertainment Networkに接続）
  - オンラインサービスのアカウント設定や自動同期の設定
  - 使用するホームを選択

2 ［OK］▶［OK］

3 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら「すべてのリンク先の内容に同意する」にチェックを入れる▶［設定をはじめる］

- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、［進む］をタップします。
  - docomo IDを設定
  - ドコモクラウドを設定
  - ドコモアプリパスワードを設定
  - 位置情報を提供するかどうかを設定
  - 遠隔初期化を設定※
  - アプリを一括で今すぐインストールするかどうかを選択

※ドコモアプリパスワードを設定していない場合は表示されません。

4 ［使いはじめる］

- ホーム画面の操作ガイドが表示されます。［以後表示しない］／［OK］をタップすると、ホーム画面が表示されます。

❖お知らせ

- 設定した各機能は後から変更できるものもあります（P.160、P.166）。
- オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態（LTE/3G/GPRS）であることをご確認いただくか、Wi-Fiネットワークに接続されていることをご確認ください（P.44）。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

基本操作

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチスクリーンが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

タッチスクリーン上の操作

■ **タップ**

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

- 2回続けてすばやくタップすることを、ダブルタップといいます。

■ **ロングタッチ**

アイコンやメニューなどの項目に指で長く触れます。

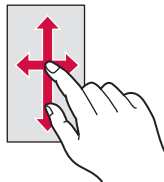
■ **フリック（スワイプ）**

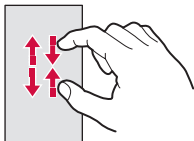
画面に触れて上下左右にはらうように操作します。

■ **ドラッグ**

画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。

■ **スクロール**

画面内に表示しきれないときなどに、表示内容を上下左右に動かして、表示位置をスクロール（移動）します。

■ ピンチ

画面に2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）閉じたり（ピンチイン）します。一部の画面では、ピンチアウトすると表示を拡大、ピンチインすると表示を縮小します。

キーアイコンの基本操作

[バック]	バック	直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルなどを閉じます。
[ホーム]	ホーム	ホーム画面に戻ります。 ロングタッチして、[Google]へドラッグすると「Google」アプリ、[What's New]へドラッグすると「What's New」アプリを起動できます。
[最近使用したアプリ]	最近使用したアプリ	最近使用したアプリをサムネイルで一覧表示し、起動したり、一覧から削除したりできます（P.60）。また、スモールアプリを使用したり、設定したりできます（P.60）。

※ 本書では、各キーアイコンの操作を[バック]、[ホーム]、[最近使用したアプリ]を使って説明しています。

縦または横画面表示を自動で切り替える

本端末の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定できます。

1 **ステータスバーを下にドラッグ**

2 **［クイック設定ツール］▶［画面の自動回転］**

- 設定がオンになると、(白色)になります。

❖お知らせ

- ホーム画面など、表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても横画面表示されない場合があります。
- 卓上ホルダで充電中は、自動回転の設定に関わらず、画面表示が切り替わる場合があります。
- 地面に対して水平に近い状態で本端末の向きを変えても、自動で縦／横画面表示に切り替わりません。
- 画面の自動回転をオンに設定してから、ホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］▶［画面回転］▶［スマート画面回転］をタップすると、本端末の動きによって画面を回転するかどうかを自動的に判断する機能のオン／オフを設定できます。

マナーモードを設定する

1 **を1秒以上押す**

2 **／／のいずれかをタップ**

：ミュート（着信音量0）
：バイブレーション
：マナーモード解除

❖お知らせ

- 音量キーの下を押し続けるとバイブレーションに、バイブレーション設定中に音量キーの下を押すとミュートに設定できます。ロック画面表示中や通話中、カメラやWalkmanなどの一部のアプリでは、音量キーの下を押してマナーモードを設定できません。
- マナーモード設定中でも、シャッター音、動画・音楽などの音声、通話中のダイヤルパッド操作音や［通話終了］をタップしたときの音は消音されません。
- マナーモード設定中に、音設定の「音量」（P.155）で「着信音と通知音」の音量を調節したり、音量キーの上を押して音量を上げたりすると、マナーモードは解除されます。

表示されている画像や動画を撮影する

現在表示されている画面を撮影できます（スクリーンショット／スクリーンレコード）。

静止画を撮影する（スクリーンショット）

1 スクリーンショットを撮影する画面で、⏻と音量キーの下を同時に1秒以上押す

- スクリーンショットが撮影され、ステータスバーにが表示されます。

❖**お知らせ**

- ⏻を1秒以上押す▶［スクリーンショット］をタップしてもスクリーンショットを撮影できます。
- ステータスバーを下にドラッグ▶［スクリーンショットを保存］をタップすると、撮影した画像を「アルバム」または「写真」アプリで確認できます。また、［共有］をタップすると、撮影した画像をアプリに添付して送信したり、共有したりできます。

動画を撮影する（スクリーンレコード）

1 ⏻を1秒以上押す▶［スクリーンレコード］

操作パネルが表示されます。

- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、［同意する］をタップします。

2 をタップして録画を開始

3 録画時間のボタンをタップ▶をタップして撮影を終了

- スクリーンレコードが録画され、ステータスバーにが表示されます。
- 操作パネルを閉じるにはをタップします。

❖**お知らせ**

- 操作パネルでは、次の操作ができます。
  - をタップするとフロントカメラの映像が表示され、表示中の画面と同時に録画できます。
  - をタップすると、動画の画質や向きを変更できます。
- ステータスバーを下にドラッグ▶［スクリーンレコーディング保存］をタップすると、録画した動画を確認できます。また、［共有］をタップして録画した動画をアプリに添付して送信したり、［編集］をタップして動画を編集したりできます。

緊急省電力モードを設定する

災害などの緊急時に機能を制限して消費電力を抑えることができます。

1 **ⓟ を1秒以上押す**

2 **［緊急省電力モード］▶「注意事項」の内容を確認▶「注意事項を確認しました」にチェックを入れる▶［有効にする］**

- 起動中のアプリはすべて終了し、本端末が再起動します。

❖お知らせ

- 緊急省電力モードを解除するには、ⓟ を1秒以上押す▶［緊急省電力モード］▶［解除する］をタップするか、ステータスバーを下にドラッグ▶［緊急省電力モードON］▶［解除する］をタップします。緊急省電力モードが解除され、本端末が再起動します。
- 緊急省電力モード中に利用できるアプリなどの詳細については、ホーム画面で田▶［設定］▶［電源管理］▶［緊急省電力モード］▶［注意事項］▶［利用可能なアプリ］をタップしてご確認ください。
- 緊急省電力モードの設定／解除を行うと、ホーム画面上のウィジェットやスモールアプリ（小画面で表示されるアプリ）の再設定が必要になる場合があります。

通知LEDについて

本端末の状態（ステータス）や着信、受信などの通知情報を表示します。

- STAMINA®モード設定中の通知LEDについて（P.158）

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中に電池残量が14%以下であることを示す
橙の点灯	充電中に電池残量が15%～89%であることを示す
緑の点灯	充電中に電池残量が90%以上であることを示す
赤の点滅	電池残量が14%以下であることを示す
薄紫の点滅※	不在着信、新着メッセージ（SMS）、新着Gmailがあることを示す

※ バックライト消灯中や、ロック画面を表示中に点滅します。

❖お知らせ

- 電池残量が十分でない場合は、本端末の電源を入れるために ⓟ を押すと通知LEDが赤色で3回点滅します。
- 電源オフの状態で充電を開始すると、はじめに通知LEDが赤く点灯します。

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーには本端末の状態（ステータス）と通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー

ステータスアイコン

ステータスバーに表示される主なステータスアイコンは次のとおりです。

アイコン	説明
	電波状態
	国際ローミング使用可能
	国際ローミング通信中
	圏外
	HSPA使用可能
	HSPA通信中
	3G（パケット）使用可能
	3G（パケット）通信中
	LTE使用可能
	LTE通信中
	Wi-Fi接続中
	Wi-Fi通信中
	Auto IP機能でWi-Fi接続中
	Bluetooth機能をオンに設定中
	Bluetoothデバイスに接続中
	機内モード設定中
	マナーモード（バイブレーション）設定中
	マナーモード（ミュート）設定中
	スピーカーフォンがオンの状態
	送話口（マイク）がミュートの状態
	アラーム設定中
	NFCのReader/Writer, P2P機能をオンに設定中
	GPS測位中
100	電池の状態
97%	充電中
4%	電池残量が少ない状態（4%以下）
	PINロック解除コードロック中、またはドコモnanoUIMカードが未挿入
+	STAMINAモード設定中
	低バッテリーモード起動中

❖お知らせ

- ステータスバーに表示されるステータスアイコンは変更できます（P.153）。

通知アイコン

ステータスバーに表示される主な通知アイコンは次のとおりです。

アイコン	説明
	新着Eメールあり
	新着Gmailあり
	新着メッセージ（SMS）あり
	メッセージ（SMS）の配信に問題あり
	新着エリアメールあり
	スクリーンショット／スクリーンレコードあり
	Facebookへデータアップロード中
	Facebookへデータアップロード完了
	Facebook機能の設定要求通知あり
	データを受信／ダウンロード
	データを送信／アップロード
	Bluetooth通信でデータなどの受信通知あり
	microSDカードのマウント解除（読み書き不可）
	microSDカードが取り外されている状態
	microSDカードの準備中
	アップデート通知あり
	インストール完了
	アプリ更新通知あり
	ソフトウェア更新通知あり
	ソフトウェア更新ダウンロード完了
	ソフトウェア更新インストール完了
	ソフトウェア更新中断、中止
	Androidバージョンアップ通知あり
	本端末とドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中
	本端末またはドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中
	本端末とドコモnanoUIMカードにおまかせロックを設定中
	本端末またはドコモnanoUIMカードにおまかせロックを設定中
	着信中
	発信中※／通話中※
	応答保留中※／通話保留中※
	不在着信あり
	伝言メモあり
	留守番電話あり
	スケジュールの予定通知あり
	ストップウォッチ計測中
	タイマー使用中
	アラーム鳴動中
	楽曲をメディアプレイヤーで再生中
	楽曲をWalkmanで再生中
	ワンセグ視聴中※／視聴予約の通知あり
	ワンセグ録画中※／録画予約の通知あり
	FMラジオ使用中※
	USB接続中
	MHL接続中
	TV launcherの起動が可能な状態
	スクリーンミラーリング接続中
	モバイルデータ通信無効
	Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
	VPN接続中

	本端末をメディアサーバーとして設定中／接続要求通知あり
	エラーメッセージ／注意メッセージ
	同期に問題あり
	セットアップガイド未確認
	表示しきれていない通知あり
	docomo LIVE UXからの通知あり
	USBテザリング設定中
	Wi-Fiテザリング設定中
	Bluetoothテザリング設定中
	2つ以上のテザリングを設定中
	オートGPS設定中
	おまかせロック設定中
	本端末のメモリの空き容量低下
	microSDカードへのデータ転送の通知あり（内部ストレージの空き容量低下）
	docomo ID設定の認証失敗

※ ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

通知パネル

ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知アイコンの内容を確認したり、アプリを起動したりできます。また、通知パネルを開いて［クイック設定ツール］をタップすると、マナーモードを設定したり、Wi-Fi機能のオン／オフなどを設定できます。

1 ステータスバーを下にドラッグ

① クイック設定ツール
- 機能のオン／オフなどを設定できます。［編集］をタップすると、ツールの数や並び順を変更できます。
- 2本の指でステータスバーを下にドラッグしても表示できます。

Wi-Fi	Wi-Fi機能のオン／オフを設定できます。
Bluetooth	Bluetooth機能のオン／オフを設定できます。
NFC	NFCのReader/Writer, P2P機能のオン／オフを設定できます。

サウンド	マナーモード（バイブレーション／ミュート）のオン／オフを設定できます。
Wi-Fiテザリング	Wi-Fiテザリング機能のオン／オフを設定できます。
位置情報	位置情報のオン／オフを設定できます。
画面の自動回転	本端末の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定できます。
画面の明るさ	画面の明るさを調整することができます。
機内モード	機内モードのオン／オフを設定できます。
STAMINA	STAMINAモードのオン／オフを設定できます。
手ぶくろモード	手ぶくろモードのオン／オフを設定できます。
設定	設定メニュー（P.143）を表示します。

② すべて削除
- 通知パネル内の表示をすべて削除します。通知内容によっては削除できない場合があります。

❖お知らせ
- 通知パネルを閉じるには、［戻る］をタップします。
- 通知パネル内の通知を左右にフリックすると、一覧から削除できます。
- 通知パネル上でピンチ（P.40）すると、通知内容によっては、「共有」や「発信」などの操作画面を表示／非表示にできます。
- 通知パネル内の通知をロングタッチ▶［アプリ情報］をタップすると、アプリの情報を確認できます。

ホーム画面

本端末のホーム画面は「docomo LIVE UX」「Xperia™ ホーム」「シンプルホーム」に切り替えられます。

- 「docomo LIVE UX」について（P.69）
- 「シンプルホーム」について（P.51）
- ホームアプリの切り替えかたについて（P.61）

Xperia™のホーム画面

初期設定で「ホーム設定」を「Xperia™ホーム」に設定した場合のホーム画面について説明します。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① ウィジェット：Google検索
② ウィジェット：時計
③ マチキャラ
④ ショートカット（アプリ）
⑤ ホーム画面の現在表示位置
- ホーム画面を左右にフリックすると切り替えられます。

⑥ 壁紙
⑦ アプリボタン

❖お知らせ

- 本体操作上の初期画面となるホーム画面を変更するには、変更したいホーム画面に切り替えて、ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ▶をタップします。

ホーム画面を追加する

最大7つのホーム画面を表示できます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

- ホーム画面でピンチインしても表示されます。

2 ホーム画面を左右にフリック▶

❖お知らせ

- ホーム画面に戻るには、［ホーム］または［戻る］をタップするか、任意のホーム画面をタップします。
- ホーム画面を削除するには、削除したいホーム画面に切り替えて、ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ▶をタップします。

ホーム画面にウィジェットを追加する

ウィジェットとは、ホーム画面に追加して利用するアプリのことです。ウィジェットを利用して簡単にアプリを起動できます。

1　ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

- ホーム画面でピンチインしても表示されます。

2　［ウィジェット］▶追加したいウィジェットを選択

- 設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- ホーム画面に戻るには、［⌂］または［⮌］をタップするか、任意のホーム画面をタップします。
- ウィジェットの表示サイズを変更するには、ウィジェットをロングタッチ▶青色の枠をドラッグします。表示サイズを変更できないウィジェットもあります。
- ウィジェットを削除するには、ホーム画面で削除したいウィジェットをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグします。

ホーム画面にショートカットを追加する

ホーム画面にアプリや、ブックマークなどのショートカットを追加できます。

1　ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

- ホーム画面でピンチインしても表示されます。

2　［アプリ］

3　［ショートカット］または追加したいアプリを選択

- ［ショートカット］をタップした場合は、登録されているショートカットから選択します。
- データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- ホーム画面に戻るには、［⌂］または［⮌］をタップするか、任意のホーム画面をタップします。
- ショートカットを削除するには、ホーム画面で削除したいショートカットをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグします。

ホーム画面にフォルダを追加する

ホーム画面に追加したアプリやショートカットなどをフォルダに入れて管理できます。

1　ホーム画面でアイコンをロングタッチ▶別のアイコンの上までドラッグ

❖お知らせ

- フォルダにアイコンを移動するには、ホーム画面で移動したいアイコンをロングタッチ▶フォルダの上までドラッグします。
- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名をタップ▶フォルダ名を入力▶［完了］をタップします。
- フォルダを削除するには、ホーム画面で削除したいフォルダをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグ▶［削除］をタップします。フォルダ内のアプリやショートカットなども削除されます。

壁紙を変更する

ホーム画面の壁紙を変更できます。

1　ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

- ホーム画面でピンチインしても表示されます。

2　［壁紙］

3　［アルバム］／［ライブ壁紙］／［写真］／任意の画像のいずれかをタップ

- ［アルバム］をタップした場合は、画像を選択▶［トリミング］／［写真を切り抜き］▶［常時］／［今回のみ］▶ドラッグなどでトリミング枠を調整▶［トリミング］／［完了］をタップします。
- ［ライブ壁紙］をタップした場合は、コンテンツを選択▶［壁紙を設定］をタップします。
- ［写真］をタップした場合は、写真を選択▶［壁紙を設定］をタップします。

❖お知らせ

- ホーム画面に戻るには、［⌂］または［↩］をタップするか、任意のホーム画面をタップします。

テーマを変更する

ホーム画面やロック画面の壁紙などのテーマを変更できます。

1　ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

- ホーム画面でピンチインしても表示されます。

2　［テーマ］▶任意の画像を選択

3　［テーマを設定］▶［OK］

シンプルホーム画面

シンプルホームを設定すると、基本的な機能に限定したホーム画面や設定メニューを利用できます。

1 **ホーム画面で田▶［設定］▶［ホーム］▶［シンプルホーム］▶［OK］**

2 **［OK］**
- 文字サイズを「特大」にする場合は、「フォントサイズを「特大」にする」にチェックを入れてください。

■ シンプルホーム画面のアプリ

マップ		P.136
Google		P.62
シンプル設定		P.52
マイセレクト		P.53
ツール	連絡先	P.54
	カレンダー	P.55
	アラームと時計	P.138
	電卓	P.56
	おサイフケータイ	P.105
	Gmail	P.98
	Playストア	P.103
	dメニュー	P.103
	dマーケット	P.103
	しゃべってコンシェル	P.57
	ｉコンシェル	P.57
メディア	Walkman	P.54
	アルバム	P.130
	ムービー	P.55
	ワンセグ	P.109
	FMラジオ	P.115
	YouTube	P.132
カメラ		P.116
ドコモメール		P.91
メッセージ		P.91
ダイヤル		P.54
その他アプリ※		―
ブラウザ		P.100
短縮1／短縮2／短縮3		P.51

※「あんしんスキャン」や「ドコモバックアップ」などのアプリ一覧が表示されます。

❖お知らせ

- 標準のホーム画面に切り替えるには、シンプルホーム画面で［シンプル設定］▶［ホーム切替］▶［OK］▶［docomo LIVE UX］／［Xperia™ ホーム］をタップします。

短縮機能を利用する

よく電話やメールをする連絡先を「短縮1」「短縮2」「短縮3」に登録しておくと、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

■ 連絡先を登録する

あらかじめ「連絡先」アプリに電話番号やメールアドレスを登録してください。

1 シンプルホーム画面で［短縮1］／［短縮2］／［短縮3］のいずれかをタップ▶［OK］

2 登録する連絡先を選択

- シンプルホーム画面の「短縮1」などの名称は、「連絡先」アプリに登録されている名前に変更されます。

■ 電話をかける

1 シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択▶［電話をかける］

- 通話中の操作について（P.80）

■ メッセージ（SMS）／メールを送信する

1 シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択▶［メッセージを送る］／［メールを送る］

- メッセージの送信方法について（P.91）
- Eメールの送信方法について（P.95）
- Gmailの送信方法について（P.98）

❖**お知らせ**

- 短縮に登録した連絡先を変更／削除／編集する場合は、短縮の連絡先を選択▶［メニュー］▶［登録先を変更］／［登録先を解除］／［登録先を編集］のいずれかをタップします。

シンプル設定を利用する

1 シンプルホーム画面で［シンプル設定］

プロフィール		自分の電話番号やメールアドレスなどを確認できます。
画面設定	消灯時間変更	画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。
	画面の明るさ	画面の明るさを調整します。
	画面の自動回転	本端末の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定します。
	壁紙変更（待受画面）	シンプルホーム画面の壁紙を設定します。 ・「任意の壁紙」に設定するには、「専用壁紙」のチェックを外して［任意の壁紙］をタップして設定します。
	壁紙変更（ロック画面）	ロック画面の壁紙を設定します。
	フォントサイズ	「連絡先」アプリなどに表示される文字サイズを設定します。
	ロック画面設定	画面ロックの解除方法を設定します。

音設定	**マナーモード切替**	マナーモードを設定します。
	着信音変更	着信音を設定します。
	操作時バイブレーション	特定のソフトキー操作など一部の操作時に、本端末を振動させるかどうかを設定します。
	タッチ操作音	メニューを選択したときの音を鳴らすかどうかを設定します。
	着信時のバイブレーション	着信時に本端末を振動させるかどうかを設定します。
ホームカスタマイズ	**アプリの変更**	P.53
	アプリの並べ替え	
	初期化	
詳細設定		標準のホーム画面で表示される設定メニューを表示します（P.143）。
ホーム切替		標準のホーム画面に切り替えます。

マイセレクトにアプリを登録する

「マイセレクト」フォルダに使用頻度の高いアプリなどを登録しておくと、簡単に起動することができます。

1 シンプルホーム画面で［マイセレクト］▶［編集］▶［OK］

2 登録するアプリにチェックを入れる▶［完了］

❖お知らせ

- 「マイセレクト」フォルダに登録したアプリを削除するには、手順2で削除したいアプリのチェックを外す▶［完了］をタップします。

シンプルホーム画面のアプリを変更する

1 シンプルホーム画面で［シンプル設定］▶［ホームカスタマイズ］

2 ［アプリの変更］／［アプリの並べ替え］

3 変更したいアプリを選択▶表示したいアプリを選択／移動先を選択

- グレー表示されているアプリは変更できません。

4 ［OK］

❖お知らせ

- 手順2で［初期化］▶［OK］をタップすると、お買い上げ時の状態に戻します。ただし、短縮に登録した連絡先や、「マイセレクト」フォルダに登録したアプリは初期化されません。

アプリ画面

初期設定で「ホーム設定」を「Xperia™ホーム」に設定した場合のアプリ画面について説明します。

- ホームアプリの切り替えかたについて（P.61）

1 ホーム画面で ⠿

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① アプリ画面の現在表示位置
  - アプリ画面を左右にフリックすると切り替えられます。

② マチキャラ

③ オプションメニュー
  - アプリ画面の左端を右にフリックするか画面上部の☰をタップすると、「アプリ検索」「アンインストール」（P.59）、アプリ画面に表示されるアプリアイコンを並べ替えるためのメニューや、「Playストア」が表示されます。

④ アプリアイコン一覧
  - 不在着信や未読メールなどの件数が数字で表示されるアイコンがあります。

❖お知らせ

- 一番左のアプリ画面では、画面の左端以外を右にフリックしてもオプションメニューを表示できます。

アプリ一覧

アプリ画面に表示されるアプリは次のとおりです。

- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

連絡先

Xperia™の電話帳アプリを起動し、友人や同僚の連絡先を管理します。

ダイヤル

Xperia™の電話アプリを起動し、電話の発信／着信、通話の切り替えを行います。

メッセージ

メッセージ（SMS）を送受信します。→P.91

ブラウザ

ブラウザでウェブページを閲覧します。→P.100

Walkman

内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。

アルバム

撮影した写真や動画、FacebookやPicasaなどにアップした画像を閲覧できます。→P.130

ムービー
Video Unlimitedで本端末にダウンロードした作品や、PCなどから本端末に転送した動画を再生できます。Wi-Fi機能を利用して、DLNA機器の動画を本端末で再生したり、ワイヤレスおでかけ転送機能に対応したブルーレイディスクレコーダーで録画した番組などを本端末で再生できます。

PlayStation
PlayStation Networkアカウントにログインして、各サービスを利用できます。

カメラ
写真や動画の撮影ができます。→P.116

ワンセグ
ワンセグを視聴します。→P.109

Playストア
Google Playにアクセスして新しいアプリのダウンロード・購入ができます。→P.103

Facebook
Facebookクライアントアプリを起動します。

Twitter
Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

Lifelog
ユーザーの身体的な活動のほか、本端末の利用履歴も記録して時系列で確認できるアプリです。

Eメール
Eメール（複数のアカウントを使用可）を送受信します。→P.94

カレンダー
カレンダーを表示して、予定の管理をします。

マップ
現在地の表示、他の場所の検索や経路検索などGoogleマップのサービスを利用できます。→P.136

ドコモメール
ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができるアプリです。送受信したメールはクラウドに保存されるので、複数のデバイスで同じメールを閲覧したり、機種変更時のメールデータ移行が簡単に行えます。また、絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P.91

おサイフケータイ
おサイフケータイを利用できます。→P.105

設定
本端末の各種設定を行います。→P.143

Sony Entertainment
フォルダ内に「電子書籍 Reader by Sony」「TV SideView」「Video Unlimited」「ニュース from Socialife」「What's New」アプリが格納されています。

Xperia™ Lounge Japan
ソニーモバイルコミュニケーションズの製品やキャンペーン情報などを紹介するスマートフォン向けサイトです。

Sony Select
Sony Selectに接続して、アプリやゲームなどを取得できます。

Chrome
Google Chromeでインターネットに接続します。

Google
キーワードから本端末内やウェブページを対象に検索できます。→P.62

Google+
Googleが提供するSNSのクライアントアプリであるGoogle+を起動します。

Google設定
Googleアプリに関する設定をします。

音声検索
Google音声検索を利用できます。→P.62

YouTube
世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードしたりできます。→P.132

ドライブ
Googleドライブに保存したファイルを閲覧・編集できます。

Gmail
Googleアカウントのメールを送受信できます。→P.98

写真
写真や動画を閲覧できます。Google+にログインして、バックアップすることもできます。

Playムービー＆TV
Google Playの映画レンタルサービスにアクセスして、鑑賞したい映画作品を選択してレンタルできる動画アプリです。

Playブックス
Google Playから新作、ベストセラーなどをダウンロードして読むことができます。

Playゲーム
Google Playからゲームをダウンロードして楽しむことができます。

ハングアウト
写真や絵文字、動画などを使ってチャットができます。

アラームと時計
アラームを設定したり、時計を表示したりします。→P.138

電卓
四則演算をはじめ、いろいろな計算ができます。

取扱説明書
本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

※「はじめに」の「SO-02Gの取扱説明書について」をご参照ください。

ツール
フォルダ内に「スケッチ」「FMラジオ」「File Commander」「OfficeSuite」「Evernote」「TrackID™」「TrackID™ TV」「Movie Creator」アプリが格納されています。

ドコモ電話帳
ドコモが提供する電話帳アプリを利用して、連絡先の管理を行います。→P.86

電話
電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです。→P.76

dメニュー
「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探すことができます。→P.103

dマーケット
音楽、書籍などさまざまな商品を取り扱っており、お客様のニーズに合った商品を購入することができます。→P.103

ｉコンシェル
ｉコンシェルを利用するためのアプリです。ｉコンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。

しゃべってコンシェル
やりたいこと、知りたいことなどを端末に話しかけると、その言葉を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。

iDアプリ
ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。→P.108

トルカ
お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。→P.109

フォトコレクション
写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。

メディアプレイヤー
音楽や動画を再生することができるアプリです。→P.132

ICタグ・バーコードリーダー
ICタグやバーコードに書き込まれた情報を読み取ることができるアプリです。

はなして翻訳
お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。

スケジュール
スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。ｉコンシェルに対応しています。→P.137

メモ
メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。
ｉコンシェルに対応しています。

ドコモバックアップ
「データ保管BOX」もしくは「microSDカード」へのバックアップ・復元を行うためのアプリです。→P.140

データ保管BOX
データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。

あんしんスキャン
端末をウィルス被害から守るアプリです。インストールしたアプリやmicroSDカードなどに潜むウィルスを検出します。

災害用キット
災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。→P.99

遠隔サポート
「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P.202

マイマガジン
選択したジャンルの記事が表示される検索サービスです。→P.74

❖お知らせ

- プリインストールされているアプリには、一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」（P.103）などから再度ダウンロードできる場合があります。
- アプリによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。アプリをダウンロードできない場合は、ダウンロードを許可するように設定します（P.162）。
- 複数のアプリを起動していると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあるため、使用しないアプリは終了することをおすすめします。アプリを終了するには、使用中のアプリの画面で［戻る］をタップしてホーム画面を表示させるか、［履歴］▶［全アプリ終了］をタップします。

アプリをホーム画面に追加する

アプリのショートカットをホーム画面に追加できます。

1 アプリ画面で、ホーム画面に追加したいアプリアイコンをロングタッチ

- フォルダ内のアプリアイコンは、フォルダの外までドラッグします。

2 画面上部に表示される「ホーム画面に追加」までドラッグ

- ホーム画面が表示されたら、ドラッグしたままショートカットを置く場所まで移動できます。

アプリを削除する

- アンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリによっては、アンインストールできない場合があります。

1 **アプリ画面で画面の左端を右にフリック▶［アンインストール］**

2 **☒のついたアプリアイコンをタップ**

3 **［アンインストール］**

アプリ画面にフォルダを追加する

オプションメニュー（P.54）でアプリアイコンの並び順を「カスタム並べ替え」に設定しているときに、アプリ画面に表示されるアプリアイコンをフォルダに入れて管理できます。

1 **アプリ画面でアプリアイコンをロングタッチ▶別のアイコンの上までドラッグ**

❖お知らせ

- フォルダにアプリアイコンを移動するには、アプリ画面で移動したいアイコンをロングタッチ▶フォルダの上までドラッグします。
- フォルダ内のアプリアイコンをフォルダから出すには、フォルダをタップ▶アプリアイコンをロングタッチ▶アプリアイコンを置く場所までドラッグします。
- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名をタップ▶フォルダ名を入力▶［完了］をタップします。

アプリアイコンを並べ替える

オプションメニュー（P.54）でアプリアイコンの並び順を「カスタム並べ替え」に設定しているときに、アプリアイコンを任意の場所に並べ替えることができます。

1 **アプリ画面でアプリアイコンをロングタッチ▶任意の場所までドラッグ**

❖お知らせ

- アプリアイコンの並べ替え中に一番右のアプリ画面の右端までアイコンをドラッグすると、アプリ画面を追加できます。
- 「アルファベット順」「よく使うアプリ順」「インストール済み」を設定すると自動的に並べ替えられます。

タスクマネージャ

最近使用したアプリを確認し、終了できます。また、任意のアプリを使用しながら利用できるスモールアプリ（小画面で表示されるアプリ）を起動できます。

最近使用したアプリのウィンドウを開く

最近使用したアプリをサムネイルで一覧表示し、起動できます。

1 [□]

❖**お知らせ**

- アプリを起動するには、サムネイル表示されたアプリをタップします。
- アプリをサムネイルの一覧から削除するには、サムネイル表示されたアプリを左右にフリックします。
- アプリをすべて終了し、サムネイルの一覧から削除するには、［全アプリ終了］をタップします。
- アプリの情報を確認するには、サムネイル表示されたアプリをロングタッチ▶［アプリ情報］をタップします。

スモールアプリ

任意のアプリを使用しながらブラウザなどのスモールアプリ（小画面で表示されるアプリ）を利用できます。
スモールアプリは、Google Playからダウンロードしたり、ウィジェットから追加したりできます。

スモールアプリを利用する

1 [□]

- 設定されているスモールアプリが画面下部のスモールアプリバー（お気に入り）に表示されます。

2 **利用したいスモールアプリを選択**

❖**お知らせ**

- スモールアプリを複数設定している場合は、スモールアプリバー（お気に入り）を左右にフリックすると表示されます。
- 起動中のスモールアプリを閉じるには✕をタップします。

スモールアプリを追加する

1 [□]▶[^]
- スモールアプリリストが表示されます。

2 **追加したいスモールアプリまたはウィジェットをロングタッチ▶スモールアプリバー（お気に入り）までドラッグ**

❖**お知らせ**
- スモールアプリリストでアプリ／ウィジェットを選択しても、スモールアプリを起動できます。
- スモールアプリリストで[+]▶［Playストア］／［ウィジェット］をタップすると、Google Playから新しいスモールアプリをインストールしたり、ウィジェットをスモールアプリとして追加したりできます。
- スモールアプリバー（お気に入り）からスモールアプリを削除するには、削除したいスモールアプリをロングタッチ▶スモールアプリバー（お気に入り）の枠外に表示される[削除]までドラッグ▶［OK］をタップします。
- ウィジェットやスモールアプリを削除するには、スモールアプリリストで[⋮]▶［ウィジェットを削除］／［スモールアプリをアンインストール］▶削除したいウィジェットやスモールアプリを選択▶［OK］をタップします。

ホームアプリの切り替えかた

本端末ではホームアプリを「ドコモ」または「Xperia™」に切り替えられます。

1 **ホーム画面で[田]▶［設定］▶［個人設定］▶［優先アプリ設定］**

2 **［一括設定］／［ホームアプリ］**
- 「一括設定」を選択すると、ホームアプリ、ロック画面、電話帳アプリ、動画や音楽を再生するアプリを一度に設定できます。

3 **［ドコモ］／［Xperia™］**

4 **［OK］**

❖**お知らせ**
- ホームアプリを切り替えると、ホーム画面のレイアウトなどによっては、画面上のウィジェットやアプリのショートカットなどが正しく表示されない場合があります。

本端末内やウェブページの情報を検索する

検索ボックスに文字を入力すると、本端末内やウェブ上の情報を検索できます。

1 **ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ**

2 **検索する語句を入力**
- 文字入力について（P.63）
- 検索候補が一覧表示されます。

3 **項目またはソフトウェアキーボードの**

❖**お知らせ**
- ホーム画面で▶［Google］をタップしても［Google］アプリを起動できます。
- 手順1でGoogle Nowの説明画面が表示される場合があります。画面の指示に従って操作してください。
- 手順2でアプリが表示された場合は、選択するとアプリが起動します。

Google音声検索を利用する

検索する語句を音声で入力できます。

1 **ホーム画面でGoogle検索ウィジェットの**

2 **送話口（マイク）に向かって検索したい語句を話す**

❖**お知らせ**
- ホーム画面で▶［音声検索］をタップしても［音声検索］アプリを起動できます。

検索設定

検索ボックスで使用する設定や、本端末内での検索対象を設定できます。

1 **ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ**

2 **画面左下の▶▶［設定］**

3 **項目を選択**

❖**お知らせ**
- ホーム画面で▶［Google］をタップしても［Google］アプリを起動できます。

文字入力

文字入力は、メールの作成や電話帳の登録などで文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボードを使用します。

❖お知らせ

- ソフトウェアキーボードが表示されると、ステータスバーに が表示されます。
- ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面左下に表示される をタップします。
- 文字入力画面でテキストをロングタッチすると、拡大されたテキストが表示されます。

POBox Plus 使い方ガイド

本端末の文字入力方法は、あらかじめ日本語入力の「POBox Plus」に設定されています。「POBox Plus 使い方ガイド」では、POBox Plusを詳しく解説しています。

1 文字入力画面でクイックツールバーの …

- クイックツールバーが表示されていない場合は、ツール をタップします（文字種が「英字」「数字」の場合は、あA1／あA1 をタップして「ひらがな漢字」に切り替えると ツール が表示されます）。

2 ［使い方ガイド］

入力方法の選択

1 ホーム画面で ▶［設定］

2 ［言語と入力］▶［現在の入力方法］

3 ［日本語（POBox Plus）］／［中国語キーボード（中国語キーボード）］／［インターナショナルキーボード（外国語キーボード）］のいずれかをタップ

❖お知らせ

- 文字入力中にステータスバーを下にドラッグ▶［入力方法の選択］をタップしても、入力方法を選択できます。

ソフトウェアキーボード

POBox Plusでは、次のソフトウェアキーボードを使用できます。

- 文字入力のしかたについて（P.64）

テンキー	携帯電話と同じ配列のキーボードです。キーを繰り返しタップして文字を選択するトグル入力に加えて、フリック入力もできます。
PCキーボード	一般的なパソコンと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。

❖お知らせ

- ソフトウェアキーボードを使用するほかに、手書き入力や音声入力などで文字を入力することもできます。

ソフトウェアキーボードの切り替えや設定の変更

ツール一覧を表示すると、ソフトウェアキーボードや手書き入力・音声入力の切り替え、プラグインアプリ（拡張機能）の利用、設定の変更などができます。

1 文字入力画面でクイックツールバーの ⋯

- クイックツールバーが表示されていない場合は、ツール をタップします（文字種が「英字」「数字」の場合は、あA1／あA1 をタップして「ひらがな漢字」に切り替えると ツール が表示されます）。

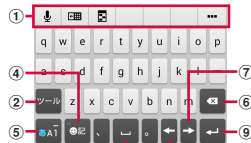
キーボード一覧設定	ソフトウェアキーボード（テンキー／PCキーボード）を文字種ごとに設定します。
PCキーに切り替え／テンキーに切り替え	PCキーボード／テンキーに切り替えます。
片手キーボード	片手で入力できるキーボードサイズに変更します。
ユーザー辞書	P.68
設定	POBox Plusの設定を変更できます。
キセカエ	ソフトウェアキーボードの外観を変更できます。
使い方ガイド	P.63
手書き入力	手書き入力に切り替えます。
ドコモ音声入力	ドコモ音声入力に切り替えます。
Google音声入力	Google音声入力に切り替えます。
Webからアプリ追加	ウェブサイトからプラグインアプリ（拡張機能）をダウンロードできます。
連絡先引用2.3	P.67

文字入力のしかた

ソフトウェアキーボードでキーをタップすると、入力した文字に対して候補リストが表示されます。候補リストから入力したい語句をタップすると、次々に文章を入力できます。

テンキー

PCキーボード

手書き入力

① クイックツールバー
よく使う機能のショートカットが表示されます。
… をタップすると、ツール一覧を表示します
(P.64)。

② ツール
クイックツールバーの表示／非表示を切り替えます。
逆順
同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。
全角／全角
数字入力時に表示され、半角／全角を切り替えます。
⇧／⇧／⇧
英字入力時に表示され、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。

③ ←
カーソルを左へ移動します。

④ ☻記／☻記
記号、顔文字などの一覧の表示／非表示を切り替えます。
変換／英数カナ／予測
ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、予測候補リスト／変換候補リスト／英数字・カタカナの変換候補リストを切り替えます。

⑤ あA1／あA1／あA1
「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に文字種を切り替えます。
あA1／あA1／あA1 ロングタッチ
ツール一覧を表示します(P.64)。

⑥ ⌫
カーソル位置の前の文字を削除します。

⑦ →
カーソルを右へ移動します。
未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します(手書き入力を除く)。

⑧ ␣
スペースを入力します。
候補
ひらがな漢字入力時に、候補リスト内の語句をハイライト表示して選択します。

⑨ ↵
改行します。
確定 ※
変換確定前に表示され、文字を確定します。
※ 一部の画面では、🔍 や「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

⑩ 戻る
テンキー／PCキーボードに戻ります。

❖お知らせ

- 変換確定後に変換前の表示に戻すには、つながり予測候補などに表示される 取消 をタップします(手書き入力を除く)。
- 候補リスト内の ▼ をタップすると、表示領域が拡大されます。ソフトウェアキーボードを表示させるには、▲ または[閉じる]をタップします。
- 手書き入力では、入力した文字の左上のアイコンをタップすると、入力文字に対する候補が表示されます。水色の文字が認識されている文字になり、候補リストの下に文字の種類別に色分けで表示されます。

- 手書き入力では、次の操作ができます。
  - 2文字以上を入力した後に左上のアイコンをタップすると、⊕が表示されます。⊕をタップすると、入力した2文字を1つの文字に結合できます。
  - 文字入力時に☒をタップすると、入力した文字を削除できます。
- 手書き入力では、次の点に注意してください。
  - 濁点や半濁点は入力画面の中央より上側に入力
  - 句読点や小文字は入力画面の中央より下側に入力

テンキーの入力方法

■ フリック入力

上下左右にフリックして各行の文字を入力します。

- **例：「な」行を入力する場合**

  「な」はタップするだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。

■ トグル入力

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。

同じキーに配列された文字を続けて入力する場合は、タップしたキーの色が戻るのを待ってから（約1秒）、次の文字を入力します（すぐに次の文字を入力したい場合は、→をタップするとカーソルを移動できます）。キーの色が戻っている状態で→をタップすると、直前に入力した文字と同じ文字が入力されます。

- **例：「あお」と入力する場合**

  ①「あ」を1回タップ▶（キーの色が戻るまで）約1秒待つ

  ②「あ」を5回タップ

  または

  ①「あ」を1回タップ▶（すぐに）→

  ②「あ」を5回タップ

テキストの編集

文字入力画面で編集したい文字をダブルタップしたり、ウェブページなどでコピーしたいテキストをロングタッチすると、画面上部にテキストの編集メニューが表示されます。
またはをドラッグすると、選択する文字列を変更できます。

（すべて選択）	テキストをすべて選択します。
（切り取り）	選択した文字列を切り取ります。
（コピー）	選択した文字列をコピーします。
（貼り付け）	コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。
（終了）	編集メニューを終了します。

❖お知らせ

- コピーまたは切り取った文字列を貼り付けるには、挿入したい位置でロングタッチ▶［貼り付け］をタップします。テキストが入力されている場合は、挿入したい位置でタップ▶ ▶［貼り付け］をタップします。
- 編集メニューのアイコンはアプリにより異なります。
- 横画面ではテキストの編集メニューが表示されない場合があります。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合があります。

連絡先の引用

電話帳に連絡先が登録されていると、文字入力時に「連絡先引用2.3」を使って連絡先の情報を引用できます。

1 文字入力画面でクイックツールバーの
- クイックツールバーが表示されていない場合は、をタップします（文字種が「英字」「数字」の場合は、／をタップして「ひらがな漢字」に切り替えるとが表示されます）。

2 ［連絡先引用2.3］▶「連絡先」タブをタップ

3 引用したい連絡先を選択

4 引用したい項目にチェックを入れる▶［OK］

❖お知らせ

- 「引用履歴」タブには、文字入力時に引用した連絡先が表示されます。

ユーザー辞書

あらかじめ辞書の登録をしておくと、文字入力時の候補リストに優先的に表示されます。

1 文字入力画面でクイックツールバーの ･･･

- クイックツールバーが表示されていない場合は、ツール をタップします（文字種が「英字」「数字」の場合は、あAı／あAıをタップして「ひらがな漢字」に切り替えると ツール が表示されます）。

2 ［ユーザー辞書］

3 ＋

4 「読み」の文字入力欄をタップ▶入力

5 「語句」の文字入力欄をタップ▶入力

6 ［OK］

❖**お知らせ**

- 削除するには、手順3で削除したいユーザー辞書にチェックを入れる▶🗑▶［削除］をタップします。

文字入力の設定

入力方法ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［言語と入力］

2 「外国語キーボード」／「中国語キーボード」／「POBox Plus」／「ドコモ文字編集」／「Google音声入力」の🛠

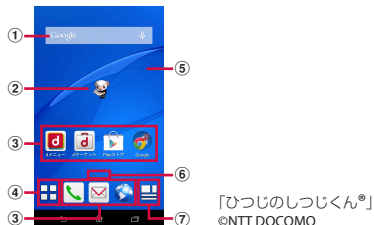
- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

❖**お知らせ**

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。
- 文字入力中にステータスバーを下にドラッグ▶［入力方法の選択］▶［入力方法の設定］▶各入力方法の🛠をタップしても設定画面が表示されます。
- POBox Plusで文字を入力している場合は、文字入力画面でクイックツールバーの ･･･ ▶［設定］をタップしても、POBox Plusの設定画面が表示されます。

ホーム画面の見かた

⌂ をタップすると表示され、最大7個のホーム画面を左右にフリックして使用できます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① ウィジェット：Google検索
② マチキャラ
③ アプリアイコン
④ アプリボタン
- アプリ画面を表示します（P.72）。

⑤ 壁紙
⑥ ホーム画面の現在表示位置
- ホーム画面を左右にフリックすると切り替えられます。

⑦ マイマガジンボタン
- マイマガジンを表示します（P.74）。

ホーム画面の管理

ホーム画面にアプリなどを移動／追加する

ホーム画面にアプリアイコンを移動したり、ウィジェット、フォルダなどを追加したりできます。

1 **ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ**

2 **［アプリを表示］／［ウィジェットを表示］／［フォルダを作成］／［マチキャラ表示設定］のいずれかをタップ**

- アプリやウィジェットを移動／追加する場合は、アイコンをロングタッチ▶画面下部のホーム画面表示域までドラッグします。
- ［マチキャラ表示設定］をタップした場合は、基本設定／マチキャラ設定を行います。

❖お知らせ

- フォルダの中にアプリアイコンを移動するには、アイコンをロングタッチ▶任意のフォルダの上までドラッグします。
- フォルダをタップ▶フォルダ名をタップすると、フォルダ名を変更できます。

ホーム画面のアイコンを移動する

1 ホーム画面で、移動したいアイコンをロングタッチ

2 任意の場所までドラッグ

- ロングタッチしたままホーム画面の左右にドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。

ホーム画面のアイコンを削除する

1 ホーム画面で、削除したいアイコンをロングタッチ

2 「アプリ一覧に戻す」／「ホーム画面から削除」までドラッグ

ホーム画面のアプリやウィジェットをアンインストールする

- アンインストールする前に、アプリやウィジェット内に保存されているデータも含めて、そのアプリやウィジェットに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリやウィジェットによっては、アンインストールできない場合があります。

1 ホーム画面で、アンインストールしたいアイコンをロングタッチ

2 「アンインストール」までドラッグ▶［OK］

❖お知らせ

- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットは、手順2で「アプリ無効化」までドラッグすると無効化（P.159）することができます。

きせかえを変更する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 ［きせかえを変更］

3 変更したいきせかえをタップ▶［設定］

❖お知らせ

- ホーム画面で田▶⋮▶［きせかえ］をタップしても変更できます。
- きせかえのコンテンツは、［サイトから探す］をタップして、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。追加したきせかえのコンテンツを削除するには、削除したいきせかえを選択▶［削除］▶［削除する］をタップします。

壁紙を変更する

1 **ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ**

2 **［壁紙を変更］**

3 **変更したい壁紙をタップ**

- ［他の壁紙を見る］をタップすると、「アルバム」「写真」「ライブ壁紙」「Xperia™の壁紙」から選択できます。

4 **［すべての画面］／［この画面のみ］▶［OK］**

ホーム画面を追加する

1 **ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ**

2 **［ホーム画面一覧］**

3 ＋

- ホーム画面を削除するには、削除したいホーム画面のサムネイルの⊗をタップします。
- ホーム画面を並べ替えるには、並べ替えたいホーム画面のサムネイルをロングタッチ▶任意の場所までドラッグします。

❖お知らせ

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧を表示できます。
- 最大7個のホーム画面を設定できます。
- ホーム画面に戻るには、［⌂］または［↩］をタップするか、ピンチアウトします。

アプリ画面の見かた

1 ホーム画面で田

- ホーム画面を下にフリックしてもアプリ画面を表示できます。

① アプリ／ウィジェット／壁紙タブ
- アプリアイコン／ウィジェット／壁紙一覧を表示します。

② アプリアイコン一覧
- ホーム画面上のアプリは一覧に表示されません。

③ ホーム画面表示域
- 左右にフリックすると切り替えられます。

④ オプションメニュー
- 本体設定などのオプションメニューを表示します。

⑤ おすすめボタン
- ドコモがおすすめするアプリをインストールできます（P.73）。

⑥ 一覧画面の現在表示位置
- アプリアイコン／ウィジェット一覧ごとに表示されます。

❖お知らせ

- アプリ画面を閉じるには、［⮌］または［⌂］をタップするか、画面下部のホーム画面表示域を上にフリックします。

アプリ画面をカスタマイズする

アプリやウィジェットをホーム画面に移動／追加する

1 アプリ画面で、ホーム画面に追加したいアイコンをロングタッチ

2 画面下部のホーム画面表示域までドラッグ

アプリやウィジェットをアンインストールする

アプリ画面から一部のアプリやウィジェットを削除できます。

- アプリやウィジェットをアンインストールする前に、「ホーム画面のアプリやウィジェットをアンインストールする」（P.70）をご確認ください。

1 アプリ画面で、アンインストールしたいアプリアイコンをロングタッチ

2 「アンインストール」までドラッグ▶［OK］

❖お知らせ

- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットは、手順2で「アプリ無効化」までドラッグすると無効化（P.159）することができます。

アプリアイコン一覧でアプリを移動する

1 アプリ画面で、移動したいアプリアイコンをロングタッチ

2 任意の場所までドラッグ

「おすすめ」アプリをインストールする

ドコモがおすすめするアプリをインストールします。

1 アプリ画面で［おすすめ］

2 ［おすすめアプリを見る］

3 利用したいアプリを選択

- ダウンロード画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。復元すると、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- バックアップと復元を利用するには、「docomo ID」の設定が必要です（P.160）。

ホーム画面をバックアップする

1 ホーム画面で田▶︙▶［配置のバックアップと復元］

- 初めて使用するときは、アプリケーション・プライバシーポリシーとご注意事項およびソフトウェア使用許諾規約をご確認の上、［同意する］をタップします。

2 ▶［バックアップ］

ホーム画面を復元する

1 ホーム画面で田▶︙▶［配置のバックアップと復元］

2 ［最新のバックアップデータを復元］／［バックアップデータ一覧から復元］

- 「バックアップデータ一覧から復元」を選択したときは、復元するデータを選択▶［復元］をタップします。

3 ［復元する］

バックアップ設定

1 ホーム画面で田▶︙▶［配置のバックアップと復元］

2

自動バックアップ	docomo LIVE UXのホーム画面の設定情報を定期的にバックアップするかどうかを設定します。
マルチデバイス同期	アプリがインストールされた際に、ご利用中の別の端末にもアプリ情報を通知するかどうかを設定します。
Wi-Fi通信設定	Wi-Fi接続時のみバックアップや同期を行うかどうかを設定します。
海外ローミング設定	国際ローミング時にバックアップや同期を行うかどうかを設定します。
バックアップデータの削除	バックアップ済みの情報をサーバーから削除します。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。
利用規約	利用規約を表示します。
ヘルプ	使い方ガイドを表示します。
アプリケーション情報	アプリのバージョンなどを表示します。

マイマガジンを利用する

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって検索ワードの設定をお手伝いし、お客様の好みに近づいていきます。

1 ホーム画面で

- 初めて使用するときは、表示したいジャンルの選択画面でジャンルを選択し、［OK］をタップします。
- 記事一覧画面を左右にフリックするとジャンルが切り替わります。
- ［もっと見る］をタップすると、ジャンル内の他の記事が表示されます。

2 読みたい記事をタップ

❖**お知らせ**

- ホーム画面を上にフリックしても記事一覧画面が表示されます。

ジャンルを設定する

1 ホーム画面で▶︙▶［表示ジャンル設定］

2 表示したいジャンルにチェックを入れる▶［OK］

マイマガジンの利用設定を変更する

1 **ホーム画面で▶▶［マイマガジン設定］▶［マイマガジン利用設定］**

2 **［利用する］／［利用しない］▶［OK］**

❖**お知らせ**

- アプリ画面で▶［マイマガジン利用設定］をタップしても設定できます。

ホームアプリの情報を確認する

1 **アプリ画面で▶［アプリケーション情報］**

電話をかける／受ける

電話／ビデオコールをかける

1　ホーム画面で▶「ダイヤル」タブをタップ

2　電話番号を入力▶

- ビデオコールをかける場合は、電話番号を入力▶▶［ビデオコール］をタップします。
- をタップすると、番号を削除できます。

3　通話が終了したら［通話終了］

- ビデオコールを終了する場合は、画面をタップ▶［通話終了］をタップします。

❖お知らせ

- 手順2で、電話番号が未入力の状態でをタップすると、発信履歴の最新の電話番号が入力されます。
- ホーム画面で▶［ダイヤル］をタップすると、Xperia™の電話アプリを起動できます。
- 通話終了画面から連絡先に追加／表示したり、メッセージ（SMS）を作成したり、再度電話をかけたりすることができます。
- VoLTEは、音声通話やビデオコールを高品質でご利用いただけます。音声通話とビデオコールを切り替えることもできます。
  VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種同士であること
  - Xiエリア在圏中であること（Xiエリア外、国際ローミング中はVoLTEを利用できません）
  - 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」が「LTE/3G/GSM（自動）」または「LTE/3G」に設定（P.189）され、「通話モード設定」が「VoLTE/3G」に設定（P.85）されていること
- ビデオコールは、お互いの映像を見ながら通話ができます。
  - ビデオコールの発信時は音声通話料およびパケット通信料がかかり、着信時にもパケット通信料がかかります。
  - ビデオコールの映像は、ベストエフォート通信（通信の混雑具合に応じた最適速度となる）のため、通信環境により品質は異なります。
  - 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、画面上にビデオコール切替失敗した旨が表示され、音声通話が継続されます。
  - ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

❖注意

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
  お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

❖お知らせ

- 日本国内では、ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- ロック画面などで［緊急通報］をタップして、緊急通報をかけることができます。ただし、日本国内では、PINコード入力画面、PINコードロック中、PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 着信拒否設定がオンの状態で緊急通報をかけると、着信拒否設定は自動的にオフになります。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。

ポーズ（,）（;）を入力して発信する

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を入力する必要があるサービスを利用する場合は、あらかじめ電話番号のほかに追加する番号を入力して発信します。

■ 2秒間の停止（,）を利用する

電話がつながって約2秒後に追加した番号が自動的に送信されます。

1 ホーム画面で▶「ダイヤル」タブをタップ

2 **電話番号を入力▶︙▶［2秒間の停止を追加］▶追加する番号を入力▶📞**

3 **通話が終了したら［通話終了］**

■ 待機（;）を利用する

電話がつながったら自動的に待機し、追加した番号を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

1 **ホーム画面で📞▶「ダイヤル」タブをタップ**

2 **電話番号を入力▶︙▶［待機を追加］▶追加する番号を入力▶📞**

3 **確認画面で［はい］**

4 **通話が終了したら［通話終了］**

国際電話をかける（WORLD CALL）

WORLD CALLについて詳しくは、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- 「+」を国際電話アクセス番号に置き換えて発信します。

1 **ホーム画面で📞▶「ダイヤル」タブをタップ**

2 **+（［0］をロングタッチ）▶国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力▶📞**

- 国際ダイヤルアシストの「自動変換機能」にチェックが入っている場合（P.193）は、発信時に「国際ダイヤルアシスト」画面が表示されます。［元の番号で発信］または［通話］をタップします。

3 **通話が終了したら［通話終了］**

❖お知らせ

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話／ビデオコールを受ける

- 着信中の各操作は、画面ロック設定中でも操作できます。

1 **着信時に●（左）を●（右）にドラッグ**

- ビデオコールを受ける場合は、●（左）を●（右）にドラッグします。音声で応答する場合は、「音声のみ」の●（左）を●（右）にドラッグします。

2 **通話が終了したら［通話終了］**

- ビデオコールを終了する場合は、画面をタップ▶［通話終了］をタップします。

着信に保留で応答する

着信時にすぐに電話に出られないときは応答保留にします。

1 **音声電話着信時に 着信オプション を上にドラッグ**

2 **[応答保留]**

相手に応答保留ガイダンスが流れます。

3 **電話に出られるようになったら（左）を（右）にドラッグ**

- （右）を（左）にドラッグするか、相手が通話を終了するまで保留が続きます。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で伝言メモを起動できます。

1 **音声電話着信時に 着信オプション を上にドラッグ**

2 **[伝言メモを起動]**

❖お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶［伝言メモ］をタップすると、伝言メモリスト画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。

着信音を聞こえないようにする

1 **着信時に音量キーまたは ⏻ を押す**

❖お知らせ

- マナーモード（バイブレーション）設定中の着信時に音量キーまたは ⏻ を押すと、着信バイブレータの振動を止めることができます。
- ホーム画面などで音量キーを押すと、着信音量を調節できます。

着信を拒否する

1 **着信時に（右）を（左）にドラッグ**

着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信する

電話に出られない場合などに、着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信できます。あらかじめ送信するメッセージは登録されており、必要に応じて編集することもできます。

1 **音声電話着信時に 着信オプション を上にドラッグ**

- ビデオコールの場合は、拒否してメッセージ送信 を上にドラッグし、手順3に進みます。

2 **[拒否してメッセージ送信]**

3 **送信したいメッセージをタップ**

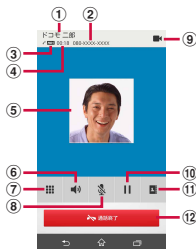
- ［新規メッセージ作成］をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

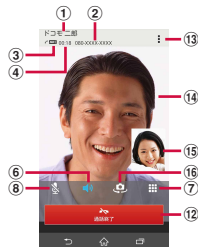
❖**お知らせ**

- 既存のメッセージを編集する場合は、あらかじめホーム画面で📞▶ ⋮ ▶［通話設定］▶［応答拒否メッセージ］▶既存のメッセージを選択して編集▶［OK］をタップします。

通話中の操作

通話中画面でスピーカーやミュートを設定したり、電話番号を入力して別の相手に電話をかけたりすることができます。

■ 音声通話中画面

■ ビデオコール通話中画面

ビデオコール通話中は、相手の映像が親画面に、自分の映像が子画面に表示され、操作エリアは非表示となります。画面をタップすると操作エリアが表示されます。

① 通話相手の名前
② 通話相手の電話番号
③ 高音質通話中
- VoLTE通話中に表示されます。
- VoLTE通話の場合は、発信中、着信中にも表示されます。

④ 通話時間
⑤ 電話帳に設定された写真／画像
⑥ スピーカー：スピーカーフォンのオン／オフを設定
- 通話相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
- ビデオコールでは、スピーカーフォンがオンの状態で発着信されます。

⑦ ダイヤルキー：通話中にプッシュ信号を送信
⑧ ミュート：通話中の送話口（マイク）の消音のオン／オフを設定

⑨ ビデオコール切り替え：音声通話からビデオコールに切り替える
  - タップすると、ビデオコールへの切り替え確認のメッセージが相手に表示されます。相手がビデオコール切り替えを許可すると、ビデオコール通話ができます。
  - 相手がビデオコール切り替えを拒否したり、相手がXiエリア外の場合やVoLTE非対応端末の場合には、切り替えできない旨のメッセージが表示され、［OK］をタップすると音声通話が継続されます。

⑩ 保留：音声通話の保留／保留解除を設定

⑪ 電話帳：音声通話中にダイヤル画面を表示
  - 電話番号を入力したり、通話履歴や電話帳から電話番号を選択したりして発信すると、音声通話を追加できます。
  - 通話を追加するには「キャッチホン」の契約が必要です（P.84）。

⑫ 通話終了
  - 横画面表示中は をタップします。

⑬ オプションメニュー：ビデオコールから音声通話に切り替える
  - ⋮ ▶［音声通話へ切り替える］をタップすると、音声通話に切り替えられます。横画面表示中は をタップします。

⑭ ビデオコール親画面（相手側の映像）
  - 相手側の映像が受信できない場合は が表示されます。

⑮ ビデオコール子画面（自分側の映像）

⑯ 送信映像カメラ切り替え
  - タップするたびに、自分側の映像を撮影するカメラを切り替えます。

❖注意

- 聴力を損わないために、スピーカーフォンがオンになっている状態で本端末を耳に当てないでください。

❖お知らせ

- 通話中／発信中／保留中にホーム画面など別の画面に切り替えると、ステータスバーの色が変わります。ステータスバーを下にドラッグして通知をタップすると、電話アプリ画面に戻ります。
- ビデオコール通話中にホーム画面など別の画面に切り替えると、カメラOFFになります。

通話音量を調節する

1 **通話中に音量キーを押す**

発着信履歴

発着信履歴画面には、着信履歴や発信履歴などが時系列で一覧表示されます。最大500件まで表示が可能です。

発着信履歴を表示する

1 ホーム画面で▶「履歴」タブをタップ

■ 発着信履歴画面

① 電話帳
- 電話帳一覧画面が表示されます。

② すべてタブ
③ 電話番号／名前
④ 着信タブ
⑤ 発信タブ
⑥ 音声電話発信ボタン
- タップすると、履歴の電話番号に音声電話で発信されます。

⑦ 発着信日時
⑧ 履歴内容
- 発着信の内容（発信／着信／不在着信）が表示されます。

発着信履歴の電話番号を電話帳に登録する

1 ホーム画面で▶「履歴」タブをタップ▶電話番号をタップ▶［電話帳登録］
- 発着信履歴画面で電話番号をロングタッチ▶［発信前に番号を編集］▶［電話帳登録］をタップしても登録できます。

2 ［新規連絡先として登録］／［既存の連絡先に追加］
- 「既存の連絡先に追加」を選択した場合は、追加登録する連絡先を選択してください。

3 プロフィール編集画面で名前などの必要な項目を入力
- 項目を追加する場合は、［その他項目を追加］をタップします。

4 ［登録完了］

発着信履歴を削除する

1 **ホーム画面で▶「履歴」タブをタップ▶削除したい発信履歴／着信履歴をロングタッチ**

2 **［通話履歴から削除］▶［OK］**

❖お知らせ

- 発着信履歴をすべて削除するには、発着信履歴画面で「すべて」タブをタップ▶ ▶［履歴削除］▶「全選択」にチェックを入れる▶［削除］▶［削除］をタップします。
- 発着信履歴に音声電話／ビデオコールの違いはありません。

不在着信を表示する

不在着信がある場合は、ステータスバーにが表示されます。

1 **ステータスバーを下にドラッグ**

2 **［不在着信］**

❖お知らせ

- 不在着信が1件の場合は、通知パネルの「不在着信」の下の「発信」／「メッセージ」から、不在着信の相手に電話をかけたり、メッセージ（SMS）を送信したりできます。
  不在着信が複数件ある場合は、「不在着信」の下に件数が表示されます。
- ロック画面のアプリを「ドコモ」にして、ロック解除方法を「スワイプ／タッチ」に設定した場合、ロック画面には不在着信と件数を示すアイコンが表示されます。

伝言メモ

伝言メモを設定すると、留守番電話サービスを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。1件あたりの最大録音秒数は約60秒です。

- 伝言メモは、ビデオコールではご利用いただけません。

1 **ホーム画面で▶**

2 **［通話設定］▶［伝言メモ］**

伝言メモ	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答時間設定	応答するまでの時間を設定します。
ローミング時の使用	海外渡航時に伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答メッセージ	応答メッセージを日本語や英語に切り替えたり、録音をします。 録音する場合は［応答メッセージの新規作成］をタップして、表示される画面の指示に従って操作してください。
伝言メモリスト	録音された伝言メモを確認できます。

❖お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶［伝言メモ］をタップすると、伝言メモリスト画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。
- 録音された伝言メモを削除するには、伝言メモリスト画面で伝言メモをロングタッチ▶［削除］／［すべて削除］▶［OK］をタップします。

通話設定

ネットワークサービスを設定したり、着信拒否を登録したり、応答拒否メッセージを編集したりできます。

1 **ホーム画面で ▶ **

2 **［通話設定］**

ネットワークサービス	**声の宅配便**※1	お客様に代わって音声メッセージをお預かりするサービスです。
	留守番電話サービス※1	かかってきた電話に応答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。
	転送でんわサービス※1	かかってきた電話に応答できなかったときに、電話を転送するサービスです。
	キャッチホン※1	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけたりすることができるサービスです。
	発信者番号通知	電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を通知します。
	迷惑電話ストップサービス	迷惑電話の番号を着信拒否登録します。

ネットワークサービス	番号通知お願いサービス	電話番号非表示の電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
	通話中着信設定※1	通話中に別の電話がかかってきたことをお知らせします。
	着信通知	電源オフ時や圏外時などの着信ができない場合に、メッセージ（SMS）で着信をお知らせするサービスです。
	英語ガイダンス	音声ガイダンスを英語や日本語に切り替えます。
	遠隔操作設定	留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
	公共モード（電源OFF）設定	電源オフ時や機内モード設定中の着信時に、電話をかけてきた相手に電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
海外設定		海外での着信を規制したり、ローミングガイダンスの利用を設定したりします（P.192）。
着信音		着信音を設定します（P.155）。
着信時バイブレーション		着信中に着信音と着信バイブレータが鳴動するかどうかを設定します。
ダイヤルパッド操作音		ダイヤルパッドを操作したときの音を鳴らすかどうかを設定します。
伝言メモ		P.83

着信拒否設定	電話帳に登録していない電話番号、非通知の電話番号、公衆電話、通知不可の電話番号からの着信を拒否するかどうかを設定します。
応答拒否メッセージ	着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信するときのメッセージを編集・設定します（P.79）。
サブアドレス設定	電話番号に含まれる「*」をサブアドレスの区切りにするかどうかを設定します。
プレフィックス設定	電話をかけるときに電話番号の先頭に付加できるプレフィックス番号を登録します。
マイクのノイズ抑制	通話中に通話相手が会話の内容を聞き取りやすくなります。
通話音質設定	通話中の音質を調整します。
スピーカー音拡張設定	通話中の音声を聞き取りやすくします。
ゆっくりモード	相手の通話速度を下げて、ゆっくり聞こえるようにします。
通話モード設定	VoLTE通話サービスの通話モードを設定します。
ドコモへのお問合せ※2	総合お問い合わせ先や、故障した場合、海外で紛失・盗難等された場合、海外で故障した場合のお問い合わせ先へ電話をかけます。
アカウント	インターネット通話（SIP）アカウントの設定をします。

通話方法	インターネット通話（SIP）の通話方法を設定します。

※1 ビデオコールではご利用いただけません。
※2 ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。

電話帳

電話帳では、電話番号、メールアドレス、各種サービスのアカウントなど、連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。

電話帳を表示する

1 ホーム画面で田▶［ドコモ電話帳］▶「連絡先」タブをタップ

- 電話帳一覧画面が表示されます。

❖お知らせ

- 電話帳にてクラウドサービスをご利用になるには、「ドコモ電話帳」アプリが必要です。「ドコモ電話帳」アプリを初めて使用する（アプリの初期化後を含む）ときや「ドコモ電話帳」アプリでクラウドにログインするときには、「クラウドの利用について」画面が表示され、クラウドの利用を開始できます。
- ホーム画面で📞▶［電話帳］をタップしても電話帳一覧画面が表示されます。
- 「ドコモバックアップ」アプリを利用すると、電話帳のデータをmicroSDカードにバックアップ・復元できます（P.141）。
- ホーム画面で田▶［連絡先］をタップすると、Xperia™の電話帳アプリを起動できます。

■ 電話帳一覧画面

電話帳一覧画面では、連絡先の各種情報が表示されます。電話帳に写真や画像を追加したり、グループごとの電話帳を表示したりすることもできます。

① グループタブ
- 電話帳グループを表示します。

② タイムライン
- SNS・ブログのつぶやきやメッセージなどが表示されます。表示するにはクラウドへのログインおよび「マイSNS」機能を設定する必要があります。

③ クラウド
- クラウドへのログイン（「クラウドの利用について」画面の表示）／クラウドからのログアウト（「同期の停止」画面の表示）ができます。

④ オプションメニュー
⑤ 連絡先タブ
⑥ 電話帳に登録された名前
⑦ 電話帳に設定された写真／画像
- 写真／画像をタップすると、電話／ビデオコールをかけたり、メッセージ（SMS）やメールを送信したりできます。

⑧ 検索

⑨ 登録
⑩ マイプロフィールタブ
- 自分の電話番号を確認できます。

⑪ インデックス文字表示域
- インデックス文字をタップすると、インデックス文字に振り分けられている電話帳を表示します。

⑫ インデックス
- インデックス文字を表示し、五十音順、アルファベット順などで検索できます。

電話帳を管理する

電話帳を登録する

1 **ホーム画面で田▶［ドコモ電話帳］▶「連絡先」タブをタップ▶［登録］**

2 **プロフィール編集画面で名前などの必要な項目を入力**
- 項目を追加する場合は［その他項目を追加］をタップします。

3 **［登録完了］**

❖**お知らせ**
- 「ふりがな（姓／名）」を登録した場合、電話帳一覧画面には「ふりがな」の五十音順、アルファベット順で表示されます。「ふりがな」を入力しなかった場合は、姓／名に日本語入力の「ひらがな漢字」で漢字を入力した場合のみ電話帳一覧画面の「他」欄に表示されます。
- 電話帳登録時に保存先としてdocomoアカウントを選択すると、SNSやブログのアカウントを設定できます。

電話帳から電話をかける

1 **ホーム画面で田▶［ドコモ電話帳］▶「連絡先」タブをタップ▶電話をかけたい電話帳を選択**

2 **プロフィール画面で電話番号をタップ**

3 **［電話をかける］／［ビデオコール］**

電話帳を編集する

1 **ホーム画面で田▶［ドコモ電話帳］▶「連絡先」タブをタップ▶編集する電話帳を選択**

2 **プロフィール画面で［編集］**

3 **必要な項目を選択して編集**

4 **［登録完了］**

❖**お知らせ**
- Facebookアカウントの連絡先は編集できません。

電話帳をお気に入り登録する

1 ホーム画面で田▶［ドコモ電話帳］▶「連絡先」タブをタップ▶お気に入り登録する電話帳を選択

2 プロフィール画面で☆

❖**お知らせ**

- お気に入りに登録した電話帳を表示するには、電話帳一覧画面で「グループ」タブをタップ▶［お気に入り］をタップします。

オプションメニューを利用する

1 ホーム画面で田▶［ドコモ電話帳］▶「連絡先」タブをタップ▶電話帳一覧画面／プロフィール画面▶⋮

■ 電話帳一覧画面

削除	電話帳を複数／全選択して削除します。
クラウドメニュー	クラウドメニューを表示します。
インポート／エクスポート	P.90
設定 ドコモ電話帳の海外利用設定	ドコモ電話帳を海外で利用する場合に設定します。
設定 docomo ID情報／Wi-Fi利用設定	ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合に設定します。
設定 連絡先の表示順	電話帳の表示順を設定します。
設定 表示するアカウント	電話帳一覧画面に表示させる電話帳を設定します。
ヘルプ	ドコモ電話帳のヘルプを表示します。
アプリケーション情報	ドコモ電話帳のバージョンなどを表示します。

■ プロフィール画面

共有	表示している電話帳をBluetooth機能やEメールなどを使って送信します。
削除	表示している電話帳を1件削除します。
着信音を設定	表示している電話帳の着信音を設定します。
統合／分割	表示している電話帳を統合／分割します。
SNS電話帳連携設定	マイSNSを設定している場合に、SNS上の友人と表示している電話帳を連携します。

電話帳をグループに設定する

1 ホーム画面で田▶［ドコモ電話帳］▶「グループ」タブをタップ

2 任意のグループをタップ

3 ［メンバー追加］▶追加したい電話帳にチェックを入れる▶［決定］▶［OK］

❖お知らせ

- グループ設定を解除する場合は、手順3で［メンバー削除］▶解除したい電話帳にチェックを入れる▶［決定］▶［OK］をタップします。
- Googleアカウントなどを設定している場合は、アカウントごとにグループが表示され、同じアカウント内でグループを設定／解除できます。

電話帳のグループを新規作成する

1 ホーム画面で田▶［ドコモ電話帳］▶「グループ」タブをタップ

2 ［グループ追加］

3 グループ追加画面でアカウント、グループ名、アイコン、色を入力▶［OK］

- 設定項目は、アカウントの種類により異なります。

❖お知らせ

- ドコモアカウントのグループは並べ替えができます。手順2で［並べ替え］をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- ドコモアカウントのグループは編集／削除できます。グループを編集／削除する場合は、グループをロングタッチ▶［グループ編集］／［グループ削除］をタップします。

マイプロフィールを確認して情報を編集する

1 ホーム画面で田▶［ドコモ電話帳］▶「マイプロフィール」タブをタップ▶［編集］

2 マイプロフィール画面で名前などの必要な項目を入力

3 ［登録完了］

電話帳をエクスポート／インポートする

microSDカードやドコモnanoUIMカードへ電話帳をエクスポート／インポートできます。エクスポートした情報は、別の電話に移行する場合などに役立ちます。

- オンラインの同期サービスでも電話帳などを同期できます（P.169）。
- あらかじめmicroSDカードを本端末に取り付けておきます（P.173）。

1　ホーム画面で田▶［ドコモ電話帳］▶「連絡先」タブをタップ▶ ⋮ ▶［インポート／エクスポート］

2　項目を選択

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- ［表示可能な電話帳を共有］をタップした場合は、送信するアプリを選択します。

❖お知らせ

- 電話帳をドコモnanoUIMカードにエクスポートする場合は、Xperia™の「連絡先」アプリをご利用ください。ただし、ドコモnanoUIMカードのメモリ容量が限られているため、名前と1つ目の電話番号のみが保存されます。電話帳によっては、データの一部がエクスポートされない場合があります。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。
また、送受信したメールがドコモメールサーバに保存されるため、端末紛失や機種変更時にも簡単にメールが移行できます。さらにdocomo IDを利用すれば、パソコンやタブレットなどでメールが利用できます。
ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- 「ドコモバックアップ」アプリを利用すると、ドコモメール（ローカルメール）のデータをmicroSDカードにバックアップできます（P.141）。

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。
送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス（SMS）」をご覧ください。

メッセージ（SMS）を送信する

1 ホーム画面で▶［メッセージ］

2 （新規作成）

3 送信相手の電話番号を入力

- ▶［宛先を編集］をタップすると、登録されている連絡先から選択できます。画面上部の検索ボックスに入力して連絡先をリスト表示できます。

4 ［メッセージを作成］▶本文を入力

- ▶［テンプレート選択］をタップすると、定型文（P.93）を選択して入力できます。
- 入力した文字数が制限文字数に近づくと、入力できる残り文字数がテキストボックスの右側に表示されます。

5 ［送信］

❖お知らせ

- 標準のメッセージアプリをハングアウトに切り替えることができます。
  ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［標準のメッセージアプリ］▶［ハングアウト］をタップします。
- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者について詳しくは、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」「国番号」「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」「国番号」「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
  受信した海外からのメッセージ（SMS）に返信する場合は、新規でメッセージ（SMS）を作成する必要があります。手順3で「010」「国番号」「受信した相手先携帯電話番号」の順に入力してメッセージを送信します。

メッセージ（SMS）を読む

送受信したメッセージ（SMS）は、宛先／送信者ごとにスレッド表示されます。

1 ホーム画面で田▶［メッセージ］
- 未読のメッセージ（SMS）がある送信者は太字で表示されます。

2 読みたいメッセージ（SMS）の送信者を選択

❖お知らせ

- メッセージ（SMS）を受信すると、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にドラッグすると、受信したメッセージ（SMS）を確認できます。
- メッセージ（SMS）下部の☆をタップすると★のスターが付きます。スターを付けたメッセージ（SMS）を一覧で確認するには、ホーム画面で田▶［メッセージ］▶⋮▶［スター付きメッセージ］をタップします。

メッセージ（SMS）の電話番号を電話帳に保存する

1 ホーム画面で田▶［メッセージ］

2 保存する電話番号のを▶［保存］

3 ［新規連絡先として登録］／［既存の連絡先に追加］
- 「既存の連絡先に追加」を選択したときは、連絡先を選択します。

4 プロフィール編集画面で名前などの必要な項目を入力▶［登録完了］

❖お知らせ

- すでに電話帳に登録されている送信者の場合は、手順2でや写真（画像）部分をタップすると、電話をかけたり、電話帳を表示したりできます。

メッセージ（SMS）本文を削除する

1 **ホーム画面で田▶［メッセージ］**

2 **削除するメッセージ（SMS）の送受信者を選択**

3 **削除するメッセージ（SMS）本文をロングタッチ**

4 **［メッセージを削除］▶［削除］**

❖**お知らせ**

- 複数のメッセージ（SMS）を削除するには、手順3で⋮▶［メッセージを削除］▶削除したいメッセージ（SMS）にチェックを入れる▶🗑▶［削除］をタップします。

メッセージ（SMS）を送受信者ごとに削除する

1 **ホーム画面で田▶［メッセージ］**

2 **削除する送受信者をロングタッチ**

3 **🗑▶［削除］**

❖**お知らせ**

- 複数の送受信者のメッセージ（SMS）を削除するには、手順3で削除したい送受信者にチェックを入れる▶🗑▶［削除］をタップします。

メッセージ（SMS）の設定を変更する

1 **ホーム画面で田▶［メッセージ］**

2 **⋮▶［設定］**

通知音	受信時の通知音を設定します。
通知	新着メッセージ（SMS）の通知をステータスバーに表示するかどうかを設定します。
通知バイブレーション※	受信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
通知ライト	バックライト消灯時に受信した際、通知LEDでお知らせするかどうかを設定します。
配信確認レポート	送信相手が受信した際に、自分の送ったメッセージ（SMS）にチェックを付けるかどうかを設定します。
メッセージテンプレート	本文入力時に挿入できる定型文を登録・編集します。
SIMメッセージ	ドコモnanoUIMカードに保存したメッセージ（SMS）を管理します。
プッシュ設定	プロバイダから送信されるメッセージ（SMS）を設定します。
ジオタグ	ジオタグが付加されたメディアを送信するときに、ジオタグを含めるかどうかを設定します。
SMSセンター番号	SMSセンターの番号を確認します。

※ マナーモード（ミュート）に設定中は、メッセージ（SMS）を受信しても振動しません。

Eメール

一般のISP（プロバイダ）が提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウント、Exchange ActiveSyncアカウントなどを設定して、Eメールを送受信できます。
複数のEメールアカウントを設定することもできます。

Eメールの初期設定をする

Eメールアカウントを画面の指示に従って設定します。

1 ホーム画面で田▶［Eメール］

- 2件目以降のEメールアカウントを設定する場合は、ホーム画面で田▶［Eメール］▶⋮▶［設定］▶［アカウントを追加］をタップします。

2 Eメールアドレスとパスワードを入力

3 ［次へ］

- Eメールを手動で設定する場合は、［手動セットアップ］をタップし、画面の指示に従って設定してください。

4 確認頻度を設定▶必要な項目にチェックを入れる▶［次へ］

- アカウントのタイプを選択する画面が表示された場合は、設定するEメールアカウントの種類をタップし、画面の指示に従って設定してください。

5 アカウントの名前と送信Eメールに表示される名前を入力▶［次へ］

- 設定したEメールアカウントの受信トレイが表示されます。

❖お知らせ

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。
- EメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプを設定していると、本端末内のデータが消去されることがあります。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で田▶［Eメール］

2 （作成）

3 送信相手のEメールアドレスを入力

- をタップすると、登録されている連絡先から選択できます。画面上部の検索ボックスに入力して連絡先をリスト表示できます。
- 複数のEメールアドレスを文字で直接入力する場合は、カンマ（,）で区切って次のEメールアドレスを入力します。
- CcまたはBccを追加する場合は、▶［Cc/Bccを表示］をタップします。

4 件名や本文を入力

5 ［送信］

❖お知らせ

- ファイルを添付する場合は、Eメール作成中にをタップし、ファイルを選択します。
- Eメールを下書き保存するには、Eメール作成中に▶［下書き保存］をタップするか、他の画面を表示します。
- Eメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末でパソコンからのEメール受信を拒否する設定を行っていると、Eメールを受信できません。

Eメールを受信して読む

1 ホーム画面で田▶［Eメール］

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、［受信トレイ］▶受信するEメールアカウントをタップします。

2 受信トレイで画面を下にフリック

3 読みたいEメールをタップ

❖お知らせ

- 受信したEメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。
- Eメールアカウントの設定（P.97）で「通知」を設定し、「確認頻度」を「手動」以外に設定している場合、新しいEメールの受信をお知らせするがステータスバーに表示されます。ステータスバーを下にドラッグすると、受信したEメールを確認できます。
- 受信したEメールのアドレスをタップすると、電話帳に登録できます。すでに登録されているアドレスの場合は、電話帳の表示やメールの作成などができます。
- 受信トレイやEメール本文の画面で☆をタップすると、★のスターが付き、Eメールが「スター付き」フォルダに追加されます。スターを付けたEメールを一覧で確認するには、受信トレイで［受信トレイ］▶Eメールアカウントをタップ▶［受信トレイ］▶［スター付き］をタップします。

受信トレイのプレビュー表示を設定する

1 **ホーム画面で田▶［Eメール］**

2 **⋮▶［設定］▶［プレビュー表示］**

3 **プレビュー表示する画面にチェックを入れる**

4 **［OK］**

❖**お知らせ**

- 複数のアカウントを登録している場合、いずれかのアカウントで変更するとすべてのアカウントが同じ表示方法に変更されます。
- 横画面表示に切り替えるには、あらかじめ画面の自動回転をオンに設定する必要があります（P.41）。

Eメールの添付ファイルを保存する

1 **ホーム画面で田▶［Eメール］**

2 **添付ファイル付きのEメールをタップ**
- 添付ファイルがダウンロードされていない場合は、［読込］をタップします。

3 **保存したいファイルの［保存］**
- 添付ファイルは内部ストレージに保存されます。

Eメールを返信／転送する

1 **ホーム画面で田▶［Eメール］**

2 **返信または転送するEメールをタップ▶［返信］／［全員に返信］／［転送］のいずれかをタップ**
- ［転送］をタップした場合は、転送先のEメールアドレスを入力します。

3 **本文を入力**

4 **［送信］**

❖**お知らせ**

- 元のEメールの内容を引用するには、［引用して返信］をタップします。
- Eメールを転送すると、元のEメールの添付ファイルが添付されます。添付ファイルを削除するには、✕をタップします。

Eメールを削除する

1 **ホーム画面で田▶［Eメール］**

2 **削除するEメールをタップ**

3 **🗑▶［削除］**

❖**お知らせ**

- 複数のEメールを削除するには、手順2で削除したいEメールをロングタッチ▶削除したいEメールにチェックを入れる▶🗑▶［削除］をタップします。

Eメールアカウントの設定を変更する

1 **ホーム画面で田▶［Eメール］**

2 **⋮▶［設定］**

3 **設定を変更するEメールアカウントをタップ**

通知		新着Eメールの通知や通知音、バイブレーション※1、通知ライトの設定をします。
同期設定	確認頻度	新着Eメールの確認頻度を設定します。
	同期するEメールの期間	自動確認の間隔を設定します。
	自動ダウンロード※2	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
	Eメールのプリダウンロード	Eメールを開く前に、本文を含め全体をダウンロードするかどうかを設定します。
全般設定	アカウント名	アカウント名を変更します。
	名前	あなたの名前（差出人名）を変更します。
	受信サーバー設定	ユーザー名やパスワードなど受信サーバーの設定をします。
	送信サーバー設定	ユーザー名やパスワードなど送信サーバーの設定をします。
	署名	署名の変更や挿入の設定をします。
	クイック返信	Eメール作成時に挿入できる定型文を登録します。
	セキュリティ	証明書の選択や、デジタル署名、暗号化の設定をします。
	アカウントの削除	Eメールアカウントを削除します。

※1 マナーモード（ミュート）に設定中は、Eメールを受信しても振動しません。

※2 GmailなどIMAPに対応したメールアカウントを設定した場合に表示されます。

❖お知らせ

- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。
- 「確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着Eメールを確認するたびにパケット通信料が発生する場合があります。
- 手順3でアカウントの下部に表示される設定項目は、「Eメール」アプリ全体の設定を変更できます。

Gmail

Googleアカウントを設定すると、Gmailを使用してEメールを送受信できます。

- Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定します（P.168）。
- Googleアカウントを設定した後、Gmailを同期していない場合は、「アカウントが同期していません」画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

❖お知らせ

- Gmailについて詳しくは、ホーム画面で［Google］▶［Gmail］▶画面左上の▶［ヘルプ］をタップしてGmailのヘルプをご覧ください。

Gmailを送信する

1　ホーム画面で［Google］▶［Gmail］

2　（新規作成）

3　送信相手のEメールアドレスを入力

- Eメールアドレス入力欄に名前またはEメールアドレスを入力すると、電話帳で一致する連絡先がリスト表示されます。
- CcまたはBccを追加する場合は、▶［Cc/Bccを追加］をタップします。

4　件名や本文を入力

5　（送信）

❖お知らせ

- ファイルを添付する場合は、▶［ファイルを添付］▶添付するファイルを選択します。

Gmailを更新する

1　ホーム画面で［Google］▶［Gmail］

2　▶［更新］

- 本端末の「Gmail」アプリとGmailアカウントを同期させ、受信トレイを更新します。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）
  - 圏外時
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェア更新中
  - Androidバージョンアップ中
  - 他社のSIMカードをご利用時
  - メッセージ（SMS）送受信中
- テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールは再度受信できません。

緊急速報「エリアメール」を受信する

内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- ブザー音および着信音の着信音量は変更できません。
- 通知LEDは画面のバックライト消灯中にのみ点滅します。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴り通知LEDが点滅する

3 エリアメールの本文が自動で表示される

受信したエリアメールを後で閲覧する

1 ホーム画面で田▶［災害用キット］

- 初めて使用するときは、「ご利用にあたって」画面で［同意して利用する］をタップします。

2 ［緊急速報「エリアメール」］

3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

❖**お知らせ**

- 最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。

エリアメールを削除する

1 ホーム画面で田▶［災害用キット］

2 ［緊急速報「エリアメール」］

3 削除したいエリアメールにチェックを入れる▶［削除］▶［OK］

緊急速報「エリアメール」を設定する

1 ホーム画面で田▶［災害用キット］

2 ［緊急速報「エリアメール」］

3 ⋮▶［設定］

受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	エリアメール受信時の鳴動時間と、マナーモード中でも専用の着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面と着信音を確認できます。

❖お知らせ

- ホーム画面で田▶［災害用キット］▶をタップすると、緊急省電力モードを設定できます（P.43）。

ブラウザ

「ブラウザ」アプリを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続で「ブラウザ」アプリを利用できます。

ウェブページを表示する

1 ホーム画面で

2 画面上部のウェブページのアドレス入力欄をタップ

- アドレス入力欄が表示されていない場合は、画面を下にフリックすると表示されます。

3 ウェブページのアドレスまたは検索する語句を入力

- アドレス入力欄のをタップすると、検索する語句を音声で入力できます。
- アドレスや文字の入力に従って、一致するウェブページの候補が表示されます。

4 候補を選択するか、ソフトウェアキーボードの［実行］

- ウェブページを拡大／縮小するには、画面をピンチアウト／インするか、ダブルタップします。
- 前のページに戻るには、 をタップします。

❖お知らせ

- ウェブページでテキストをコピーするには、コピーしたいテキストをロングタッチ▶ またはをドラッグしてコピーするテキストの範囲を選択▶（コピー）をタップします。

新しいタブを追加する

複数のタブを開き、ウェブページの閲覧ができます。

1 ホーム画面で▶▶＋

タブを切り替える

1 ホーム画面で▶▶表示したいタブをタップ

タブを閉じる

1 ホーム画面で▶▶閉じるタブの×

- タブを左右にフリックしても閉じることができます。

ウェブページでテキストを検索する

1 ホーム画面で▶▶［ページ内を検索］

2 検索する語句を入力

- ／をタップすると、前後の一致項目に移動します。

❖お知らせ

- 検索バーを閉じるには、をタップします。

ブラウザの設定を変更する

ホームページ、プライバシーとセキュリティなどの設定ができます。

1 ホーム画面で▶▶［設定］

2 変更する項目を選択

リンクを操作する

ウェブページ内のリンクや画像をロングタッチすると、URLをコピーしたり、画像を保存したりできます。

❖お知らせ

- ウェブサイトによってはファイルなどのダウンロードができない場合があります。

ブックマークと履歴を管理する

履歴の確認やブックマークの保存などができます。

ウェブページをブックマークする

1 **ホーム画面で▶ブックマークするウェブページを表示**

2 **▶［ブックマークに保存］**

3 **ラベルなどを設定▶［OK］**

ブックマークを開く

1 **ホーム画面で▶▶［ブックマーク］**

2 **開くブックマークをタップ**

❖**お知らせ**

- ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などができます。

履歴を確認する

1 **ホーム画面で▶▶［ブックマーク］▶「履歴」タブをタップ**

2 **［今日］［昨日］など閲覧した時期をタップするか、［よくアクセスするサイト］**

❖**お知らせ**

- ウェブページ表示画面でをロングタッチしても、履歴を確認できます。
- 履歴を削除するには、履歴をロングタッチ▶［履歴から削除］をタップします。
- 履歴をすべて削除するには、ホーム画面で▶▶［設定］▶［プライバシーとセキュリティ］▶［履歴削除］▶［OK］をタップします。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスできます。

1 **ホーム画面で［dメニュー］**

- アプリケーションを選択する画面が表示された場合は、利用したいアプリを選択し、［常時］／［1回のみ］をタップします。
- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

❖お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G/GPRS）またはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、書籍などさまざまな商品を取り扱っており、お客様のニーズに合った商品を購入することができます。

1 **ホーム画面で［dマーケット］**

- 初めて使用するときは、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約をご確認の上、同意する旨の項目にチェックを入れる▶［利用開始］をタップし、お知らせ情報等の受信確認画面で画面の指示に従って設定してください。

❖お知らせ

- dマーケットについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

Playストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームに直接アクセスでき、本端末にダウンロード、インストールできます。

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要となります（P.168）。
- 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくは、ホーム画面で［Playストア］▶画面の左端を右にフリック▶［ヘルプ］をタップしてGoogle Playのヘルプをご覧ください。

アプリをインストールする

1 ホーム画面で［Playストア］

2 アプリを検索▶インストールしたいアプリをタップ

- 表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。

❖お知らせ

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶「モバイルデータ通信」のチェックを外す▶［OK］をタップします。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

アプリを削除する

1 ホーム画面で［Playストア］

2 画面の左端を右にフリック▶［マイアプリ］

3 削除したいアプリをタップ▶［アンインストール］▶［OK］

- 有料アプリをアンインストールする場合は、払い戻し画面が表示されることがあります。詳しくは、ホーム画面で［Playストア］▶画面の左端を右にフリック▶［ヘルプ］をタップしてGoogle Playのヘルプをご覧ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントなどをICカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存できます。
また、電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができ、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時の対策になります。
おサイフケータイについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ※1およびドコモnanoUIMカード内データ※2が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりできませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモnanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ
※2 ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

1　ホーム画面で田▶［おサイフケータイ］

- 初めて使用するときは、初期設定画面で「ご利用規則に同意する」にチェックを入れる▶［はい］をタップします。

2　サービス一覧から利用したいサービスを選択

- サービスのサイト、またはサービスに対応したアプリをダウンロードしてから設定してください。

3　マークを読み取り機にかざす

❖**お知らせ**

- おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本体の電源を切っていても利用できますが、本端末の電源を長期間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- おサイフケータイ対応サービスは、ドコモnanoUIMカードのPINコード解除ができない場合またはPINロック状態となった場合においても利用できます。
- spモードを契約していない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能が利用できなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

「かざしてリンク対応サービス」を利用する

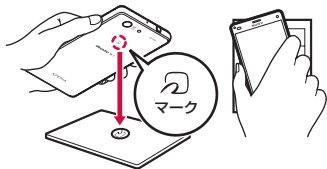
1　ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］

2　［NFC／おサイフケータイ 設定］▶「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる▶［OK］

- NFCのReader/Writer, P2P機能がオンになり、ステータスバーにNが表示されます。

3　NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどにマークをかざす

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。

- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」設定を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- NFC／おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 **ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］**

2 **［NFC／おサイフケータイ 設定］▶［NFC／おサイフケータイ ロック］**

3 **パスワードを入力▶［次へ］**

- 初めて「NFC／おサイフケータイ ロック」をご利用になる場合は、任意のパスワードを入力すると設定されます。
- おサイフケータイの機能がロックされ、ステータスバーに または が表示されます。

❖ **お知らせ**

- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除できなくなります。電池残量にご注意ください。「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除する場合は、充電後に解除してください。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、ロックの解除が必要になります。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」のパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」の解除は、「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定した際に本端末に挿入していたドコモnanoUIMカードを取り付けた状態で行ってください。

■ NFC

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能（R/W）、機器間通信機能（P2P）などがご利用いただけます。

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は2種類まで登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報について詳しくは、iDのホームページをご覧ください。
http://id-credit.com/

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。サイトや読み取り機から取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。
トルカについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

❖お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- コンテンツ提供者の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  - 更新／トルカの共有／地図表示※／読み取り機からの取得

  ※トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでも、トルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- 「重複チェック設定」を有効に設定している場合、同じトルカを重複して取得できません。同じトルカを重複して取得したいときは、無効に設定してください。ただし、サイトからの取得は除きます。
- メールを利用してトルカを共有する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信できます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。
「ワンセグ」サービスについて詳しくは、次のホームページをご覧ください。
一般社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
ワンセグの視聴中に自動的にトルカを保存する場合があります。保存したトルカから詳細情報を取得する場合は、パケット通信料がかかります。

放送波について

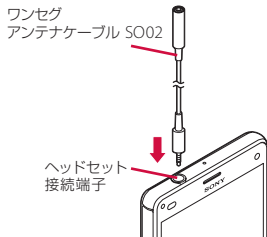
ワンセグは、放送サービスの1つであり、XiサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

ワンセグアンテナケーブルの向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

ワンセグアンテナケーブルについて

本端末でワンセグを視聴するには、付属のワンセグアンテナケーブル SO02をご使用ください。

1 **ワンセグアンテナケーブル SO02の接続プラグを、本端末のヘッドセット接続端子に接続**

❖お知らせ

- 音声を市販のイヤホンやヘッドホンから出力する場合は、ワンセグアンテナケーブル SO02にイヤホンやヘッドホンを接続してください。

ワンセグを見る

1 **ホーム画面で田▶［ワンセグ］**

- 初めて使用するときは、画面の指示に従ってチャンネル設定を行ってください（P.113）。

■ ワンセグ視聴画面

ワンセグ視聴画面（全画面）

ワンセグ視聴画面（データ放送あり）

① 字幕
② 映像
③ チャンネル、放送局名、番組情報
④ 受信レベル
⑤ オプションメニュー
⑥ 録画アイコン

⑦ チャンネル選局キー
- 〈／〉をロングタッチすると、受信可能なチャンネルを検索します。

⑧ データ放送
- 縦画面でのみ表示されます。

⑨ データ放送用リモコン
- 縦画面でのみ表示されます。

❖お知らせ

- オプションメニューなどのアイコンを表示／非表示にするには、ワンセグ視聴画面で映像をタップします。
- ワンセグ視聴中に音量キーを押すと、音量を調節できます。
- ワンセグは本端末を縦向き／横向きにして視聴できます（P.41）。
- 視聴するチャンネルを切り替えるには、次のいずれかの操作を行います。
  - チャンネル選局キーをタップ
  - ワンセグ視聴画面の映像を左右にフリック
  - ワンセグ視聴画面の映像をロングタッチ▶表示されるチャンネルリストからチャンネルを選択
- ワンセグを起動したりチャンネルを変更したりすると、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
- ワンセグ視聴中に着信があったときは、ワンセグは中止され、通話終了後再開します。
- データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、パケット通信を使用してデータ放送の付加サービスなどを利用する場合は、パケット通信料がかかります。

ワンセグを終了する

1 ワンセグ視聴画面で［↩］

❖お知らせ

- ［⌂］をタップしてホーム画面に戻っても、ワンセグは終了しません。ワンセグを起動したままだと電池の消耗が早くなる場合があります。

ワンセグの設定をする

ワンセグ視聴画面、データ放送の設定やチャンネルの設定などができます。

オプションメニューを利用する

ワンセグの録画／視聴予約や各種設定などができます。

1 ホーム画面で田▶［ワンセグ］

2 ⋮

番組	番組表	番組表を表示します（P.115）。
	番組詳細情報	視聴中の番組の詳細情報を表示します。
	番組情報	視聴中のチャンネルの番組情報を表示します。

録画ファイルリスト		録画した番組の一覧を表示します（P.114）。
録画／視聴予約		録画／視聴の予約をしたり、予約失敗一覧を表示したりします（P.115）。
テレビリンク		テレビリンクのリスト画面を表示します（P.114）。
エリア切替		放送エリアの登録や変更をします（P.113）。
字幕／音声設定		字幕表示のオン／オフや表示位置※、主／副音声の設定をします。
設定	データ放送設定	位置情報の利用や端末情報の利用の有無を設定したり、放送局メモリーを削除したりします。
	オフタイマー	ワンセグ視聴を終了するタイマーの設定をします。
	ご利用にあたって	ご利用にあたっての情報を表示します。
	ソフトウェアライセンス	ソフトウェアライセンスを表示します。

※ 字幕表示位置は横画面でのみ設定できます。

現在地のチャンネルを登録する

お使いの地域（放送エリア）によって視聴できるチャンネルは異なります。

1 ホーム画面で田▶［ワンセグ］

2 ▶［エリア切替］

3 未登録の項目をロングタッチ

4 ［エリア情報設定］▶地方、都道府県、地域を選択

5 ［OK］

❖お知らせ

- 手順3で登録されているエリアをロングタッチすると、詳細表示やエリア情報設定、チャンネル更新、エリア名変更、設定削除ができます。

リモコン番号を変更する

各放送局に割り当てられたリモコン番号を変更します。各放送局はリモコン番号に対応した番号で呼び出すことができます。

1 ホーム画面で田▶［ワンセグ］

2 映像をロングタッチ

3 リモコン番号を変更したい放送局をタップ▶映像をロングタッチ

4 設定したいリモコン番号をロングタッチ

5 ［はい］

- 別の放送局が設定されているリモコン番号を選択した場合は、［チャンネル上書き登録］▶［はい］をタップします。

❖お知らせ

- 設定した放送局を削除するには、手順3で削除したい放送局をロングタッチ▶［チャンネル削除］▶［はい］をタップします。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、後で関連サイトに接続できます。

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

1 ホーム画面で田▶［ワンセグ］

2 ⋮▶［テレビリンク］

3 テレビリンクを選択

- リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合は［はい］をタップします。

❖お知らせ

- テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。有効期限が過ぎたテレビリンクは利用できません。
- テレビリンクを削除するには、手順3で削除したいテレビリンクをロングタッチ▶［削除］▶［はい］をタップします。

ワンセグを録画する

表示中の映像・音声・字幕・データ放送を録画します。

1 ホーム画面で田▶［ワンセグ］

2 ●

- 録画を終了するには、■をタップします。

❖お知らせ

- 録画保存できる最大ファイルサイズは2GB、連続録画可能時間は約640分です。
  保存できる保存件数は99件までです。
- 録画データはmicroSDカードに保存されます。microSDカードを取り付けていない場合は録画できません。
- 録画中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、録画が失敗することがあります。

録画した番組を再生する

1 ホーム画面で田▶［ワンセグ］

2 ⋮▶［録画ファイルリスト］

3 再生したい番組をタップ

❖お知らせ

- 録画した番組を削除するには、手順3で削除したい番組をロングタッチ▶🗑▶［はい］をタップします。
- タイトルを変更するには、手順3で変更したい番組をロングタッチ▶✎▶タイトル名を入力▶［OK］をタップします。

- 手順3で⋮をタップすると、再生モードの設定やメモリー残量表示ができます。

テレビ番組を録画予約／視聴予約する

テレビ番組の録画や視聴の予約ができます。

1 ホーム画面で田▶［ワンセグ］

2 ⋮▶［録画／視聴予約］▶⋮

3 ［新規予約］

4 ［視聴予約］／［録画予約］

5 タイトル、放送局名、開始日時、終了日時などを設定▶［保存］▶［はい］

❖**お知らせ**

- 手順4で［番組表から］をタップしても、録画予約／視聴予約ができます。

番組表を利用する

1 ホーム画面で田▶［ワンセグ］

2 ⋮▶［番組］▶［番組表］

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

FMラジオ

本端末でFM放送を聴くことができます。
FMラジオをご利用になる場合は、市販のイヤホンやヘッドホンをご使用ください。受信アンテナとして機能します。

FMラジオを聴く

1 市販のイヤホンやヘッドホンの接続プラグを、本端末のヘッドセット接続端子に接続

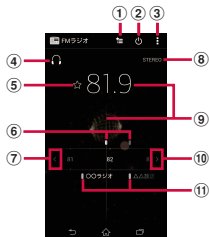
2 ホーム画面で田▶［FMラジオ］

3 ＜／＞をタップして選局

- 画面中央を左右にフリックして選局することもできます。

❖**お知らせ**

- ホーム画面に戻って、他の操作をしながらFMラジオをバックグラウンドで聴くことができます。FMラジオ画面に戻るには、ホーム画面で田▶［FMラジオ］をタップするか、ステータスバーを下にドラッグ▶［FMラジオ］をタップします。
- ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合などで日本国内のFMラジオを聴取できないときは、ホーム画面で田▶［FMラジオ］▶⋮▶［ラジオの地域を設定］▶［日本］をタップしてください。FMラジオを使用する際は、ご利用の地域をご確認ください。

FMラジオ画面

① お気に入りリストを表示
② FMラジオのオン／オフ
③ オプションメニュー
④ ハンズフリー機器で再生／スピーカーで再生
⑤ お気に入りの登録／編集
⑥ 受信状態が良い場合に表示される帯域ポイント
⑦ 左方向にチャンネルを選局
⑧ モノラル／ステレオ効果
⑨ 現在聴いている放送局
⑩ 右方向にチャンネルを選局
⑪ お気に入りに登録した放送局

FMラジオを終了する

1 **FMラジオ画面で⏻**

カメラ

写真や動画の撮影ができます。縦画面と横画面のどちらでも撮影できます。スイングパノラマ®は横画面で撮影します。

始める前に

- 本端末で撮影した写真または動画は、すべて内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。microSDカードに保存する場合は、カメラを使用する前にmicroSDカードを取り付けてください。
- 本端末の温度が上昇すると、カメラが起動しない場合や、停止する場合があります。

■ 著作権・肖像権について

お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権に関わる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

撮影／画像送信について

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラを起動する

本端末は、カメラキー（[カメラキー]）でカメラを起動できます（クイック起動）。

- クイック起動の設定について（P.128）

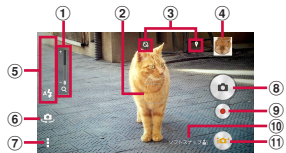
1 **[カメラキー]を1秒以上押す**

- 撮影画面が表示されます。

❖お知らせ

- ホーム画面で[アプリ]▶［カメラ］をタップしても、カメラを起動できます。

撮影画面とキー操作

■ 撮影画面

① ズームインジケーター
- インジケーターの薄いグレーの領域（下半分）までは、画像の劣化が少なく解像感を保ったまま撮影できます（全画素超解像ズーム）。それ以降の領域（上半分）はデジタルズームとなります。

② オートフォーカス枠

③ ステータスアイコンの表示エリア
- セルフタイマーやジオタグなど、設定した項目のアイコンが表示されます。

④ サムネイル
- サムネイルをタップすると、撮影した写真や動画の再生画面が表示されます（P.130）。

⑤ 設定項目アイコンの表示エリア
⑥ フロントカメラ切り替えアイコン
⑦ オプションメニュー
⑧ シャッターアイコン（写真）／一時停止アイコン（動画）
⑨ 撮影開始／停止アイコン（動画）
⑩ シーン認識アイコン
- 撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合、カメラが判断したシーンのアイコンが表示されます。
- カメラが移動している状態、カメラが固定されている状態、被写体が動いている状態を検出すると、アイコンが表示されます。

⑪ 撮影モードアイコン（P.118）

■ キー操作

音量キー：ズーム／音量／シャッター※

[カメラキー]：シャッター

[戻るキー]：カメラを終了

※音量キー設定（P.126）により異なります。お買い上げ時は「ズーム」に設定されています。

❖お知らせ

- 撮影画面でピンチアウト／インしても、ズームイン／アウトできます。
- 撮影モードを「ARファン」「背景ぼかし」「ARエフェクト」「Social live by Bambuser」「スイングパノラマ」に設定している場合やフロントカメラでの撮影時は、ズームを使用できません。

撮影モードを変更する

1 **[カメラキー]を1秒以上押す**

2 **撮影モードアイコンをタップ▶撮影モードを選択**

プレミアムおまかせオート

自動的に最適化された設定で写真や動画を撮影できます。

カメラが移動している状態（[アイコン]）、カメラが固定されている状態（[アイコン]）、被写体が動いている状態（[アイコン]）を検出し、最適なシーンを判断します。

「ソフトスナップ」「風景」「逆光」「逆光＆人物」「夜景」「夜景＆人物」「ドキュメント」「マクロ」「低照度」「赤ちゃん」「スポットライト」からシーンが認識され、アイコンが表示されます。

マニュアル

写真や動画の撮影設定を手動で変更できます。

サウンドフォト

撮影時の自然な会話や音を、写真とともに残すことができます。

ARファン

仮想の物体と一緒に撮影することで、写真や動画をさらに楽しく撮影できます。

マルチカメラ

友達のカメラとつないでマルチビューの写真や動画を撮影できます。

フェイスインピクチャー
メインカメラ、フロントカメラで自分の顔と一緒に写真や動画を撮影できます。

4Kビデオ
高解像度4Kビデオを撮影できます。

タイムシフトビデオ
120fpsで撮影した動画からベストな動きを選んでスローモーションにできます。

Live on YouTube
YouTubeに動画をライブでブロードキャストします。

背景ぼかし
デジタル一眼レフカメラのように美しく背景をぼかして撮影します。

ARエフェクト
恐竜時代や海の中など、仮想世界に入って写真や動画を撮影できます。

クリエイティブエフェクト
さまざまな撮影効果をかけて印象的な写真や動画を撮影できます。

Info-eye™
写真を撮影すると、対象物の情報を取得できます。

タイムシフト連写
シャッター前後の連写画像から、ベストな瞬間を選択できます。
シャッター前後の1秒間の写真が合計61枚連続撮影され、写真はすべて保存されます。撮影後のプレビュー画面でサムネイルから選択した写真は、「アルバム」アプリで表示されるカバー画像になります。

Social live by Bambuser
Facebook上で友達とリアルタイムで体験を共有できます。

スイングパノラマ
本端末を動かしてパノラマ写真を撮影できます。
撮影画面に表示される白い枠の中心線に矢印を合わせながら本端末をゆっくり動かして撮影します。

Evernote
複数の写真を撮影して、Evernoteアカウントに直接保存できます。

❖**お知らせ**
- [📷]を1秒以上押す▶撮影モードアイコンをタップ▶「＋アプリ」または「ダウンロード」タブをタップすると、カメラアプリをダウンロードして撮影モードに追加できます。
- 「マルチカメラ」で他の機器に接続すると、他のWi-Fi Direct接続は切断されますのでご注意ください。

- 「マルチカメラ」で接続可能な台数は、自分のXperia™を含めXperia™3台までです。また、ソニー製のWi-Fi／NFC搭載のカメラと接続する場合は、自分のXperia™とソニー製のカメラ1台のみです。なお、状況によっては、他の機器との接続や接続後の撮影ができない場合があります。
- 「4Kビデオ」「タイムシフトビデオ」の撮影データをmicroSDカードに保存する場合は、高速書き込みが可能なmicroSDカード（スピードクラス10）をお使いいただくことをおすすめします。

スイングパノラマ撮影のご注意

- スイングパノラマを撮影する場合は、横画面で撮影します。
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影に適していません。
  - 動きのある被写体がある場合
  - 主要被写体とカメラの距離が近すぎる場合
  - 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体がある場合
  - 大きな被写体がある場合
  - 波や滝など、常に模様が変化する被写体がある場合
- 一定時間内にスイングパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。
  この場合はカメラを速く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目がなめらかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がブレる場合や、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定でなくなり、うまく撮影できないことがあります。
- スイングパノラマ撮影される画角全体と、ピントを合わせたときの画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できないことがあります。
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  - カメラを動かす速度が速すぎる場合／遅すぎる場合
  - ブレすぎた場合
  - カメラを撮影方向と逆に動かした場合

写真を撮影する

■ シャッターアイコンで撮影する

1 **[カメラキー] を1秒以上押す**

2 [シャッターアイコン]

■「タッチ撮影」で撮影する

撮影モードを「プレミアムおまかせオート」「マニュアル」「サウンドフォト」「タイムシフト連写」「スイングパノラマ」に設定しているときに操作できます。

「タッチ撮影」をオンに設定してから撮影します。

1 [カメラキー]を1秒以上押す

2 撮影モードアイコンをタップして撮影モードを選択

3 [メニュー]▶「[設定]」タブをタップ▶「タッチ撮影」の[スイッチ]をタップまたは右にドラッグ▶[戻る]

4 撮影画面をタップ

■ カメラキーで撮影する

1 [カメラキー]を1秒以上押す

2 [カメラキー]を押す

- オートフォーカス機能で撮影するときは、[カメラキー]を半押しし、オートフォーカス枠が青色に変わってピピッと音が鳴ったら、そのまま[カメラキー]を止まるまでしっかり押してください。

❖お知らせ

- 撮影した写真は自動的に内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。
- オートフォーカス枠が表示されない場合は、オートフォーカスが失敗しています。
- 市販のイヤホン、または他のBluetoothデバイスなどと接続しているときは、シャッター音が通常より小さくなることがあります。

動画を撮影する

■ 撮影開始／停止アイコンで撮影する

1 [カメラキー]を1秒以上押す

2 [録画]／[停止]をタップして撮影を開始／停止

- 撮影モードを「マニュアル」に設定している場合は、[動画切替]をタップして動画撮影画面を表示してから[録画]をタップします。
- [一時停止]／[録画]をタップすると録画を一時停止／再開できます。

■「タッチ撮影」で撮影する

撮影モードを「マニュアル」「4Kビデオ」「タイムシフトビデオ」に設定しているときに操作できます。「タッチ撮影」をオンに設定してから撮影を開始します。

1 [カメラキー]を1秒以上押す

2 撮影モードアイコンをタップして撮影モードを選択

- 撮影モードを「マニュアル」に設定している場合は、[動画切替]をタップして動画撮影画面を表示します。

3 ▶「」タブをタップ▶「タッチ撮影」の をタップまたは右にドラッグ▶

4 撮影画面をタップして撮影を開始／停止

■ カメラキーで撮影する

撮影モードを「マニュアル」「4Kビデオ」「タイムシフトビデオ」「Live on YouTube」「Social live by Bambuser」に設定しているときに操作できます。

1 を1秒以上押す

2 撮影モードアイコンをタップして撮影モードを選択

- 撮影モードを「マニュアル」に設定している場合は、をタップして動画撮影画面を表示します。

3 を押して撮影を開始／停止

❖お知らせ

- 撮影した動画は自動的に内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。
- 動画撮影時は、送話口（マイク）を指などでふさがないようにしてください。
- 市販のイヤホン、または他のBluetoothデバイスなどと接続しているときは、撮影開始／停止音が通常より小さくなることがあります。
- 動画撮影中にをタップすると写真を撮影できます。撮影される画像サイズは、ビデオ解像度の設定により異なります。
  フルHD：2メガピクセル（1920×1080）、縦横比16:9
  HD：1メガピクセル（1280×720）、縦横比16:9
  VGA：640×480ピクセル、縦横比4:3
- 「4Kビデオ」で動画を撮影する場合は、映像のゆがみを避けるため「電子式手ブレ補正」を「スタンダード」に設定してください。お買い上げ時はオフに設定されています（P.125）。

撮影時の設定を変更する

オプションメニューから設定を変更する

- 撮影モードによって表示される設定項目は異なります。

1 を1秒以上押す

2 ▶「」タブ／「」タブ／「」タブのいずれかをタップ▶設定項目を選択

3 設定を変更

■ 縦横比（写真撮影時のみ）

撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合に、写真の縦横比を16:9または4:3に設定します。

■ 解像度（写真撮影時のみ）

写真の解像度を設定します。解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリ容量が必要になります。

- 「20.7MP」「15.5MP」に設定すると、「HDR」「シーンセレクション」を設定できません。
- 撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合は「8MP」（16:9／4:3）で撮影されます。
- 撮影モードを「サウンドフォト」に設定している場合は「8MP」（16:9）で撮影されます。
- 撮影モードを「ARファン」「マルチカメラ」「フェイスインピクチャー」「ARエフェクト」「クリエイティブエフェクト」「タイムシフト連写」に設定している場合は「2MP」（16:9）で撮影されます。

■ ビデオ解像度（動画撮影時のみ）

動画の解像度を設定します。解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリ容量が必要になります。

- 撮影モードを「プレミアムおまかせオート」「マルチカメラ」「フェイスインピクチャー」「クリエイティブエフェクト」に設定している場合は「フルHD」で撮影されます。
- 撮影モードを「ARファン」「タイムシフトビデオ」「ARエフェクト」に設定している場合は「HD」で撮影されます。

■ セルフタイマー

設定した秒数が経過した後に撮影します。写真撮影時は、手ブレを防止するためにセルフタイマーを使用することをおすすめします。

■ スマイルシャッター／スマイルシャッター（録画中）

スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを設定します（P.129）。

■ フォーカスモード

ピントの合わせかたを設定します。

シングルオートフォーカス

撮影画面の中央に自動的にピントを合わせます。

マルチオートフォーカス（写真撮影時のみ）

撮影画面の複数箇所にカメラが自動的にピントを合わせます。や撮影画面をタップ、またはを押してピントが合った箇所は、オートフォーカス枠が白色から青色に変わります。

顔検出

複数の顔を検出して、顔にピントを合わせます（P.129）。

タッチフォーカス（写真撮影時のみ）

撮影画面でタップした箇所にオートフォーカス枠が移動し、ピントを合わせます。

追尾フォーカス

被写体を追尾してピントを合わせます。

■ HDR／HDRビデオ

ハイダイナミックレンジ機能を使用し、逆光などの明暗に差のある状況でも見た目に近い自然な印象で撮影できるようにするかどうかを設定します。

■ ISO（写真撮影時のみ）

ISO感度を設定します。

- ISO感度を上げると、光量の少ない場所でも明るく、手ブレを軽減して撮影できます。ただし、ノイズが目立ちます。
- ISO感度を下げると、ノイズが目立たなく撮影できます。ただし、光量の少ない場所では暗く、手ブレしやすくなることがあります。

■ 測光

撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。

顔

顔を検出して測光し、適度な明るさになるように露出を調整します。

マルチ

画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって露出を調整します。

中央

撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。

スポット

撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。

■ 手ブレ補正／電子式手ブレ補正

撮影時の手ブレを軽減するかどうかを設定します。

インテリジェントアクティブ（動画撮影時のみ）

ズームや、歩きながらの撮影時などの手ブレを軽減できます。

スタンダード（動画撮影時のみ）

通常撮影時の手ブレを軽減できます。

■ 美肌効果（フロントカメラでの写真撮影時のみ）

人物の肌をなめらかに補正して撮影するかどうかを設定します。

■ プレビュー

撮影した直後にプレビューを表示する時間を設定します。

- 「編集」に設定すると、撮影直後に編集画面が表示されます。

■ 長押し連写（写真撮影時のみ）

をロングタッチ、または［ ］を1秒以上押し続けて連写撮影をするかどうかを設定します。

撮影モードが「プレミアムおまかせオート」、または「マニュアル」のフロントカメラ利用時に設定できます。

撮影モードが「プレミアムおまかせオート」でメインカメラの場合は、被写体の動く速さに応じて「速度優先連写」または「画質優先連写」を選択します。

- 「タッチ撮影」がオンの場合は、撮影画面をロングタッチしても長押し連写ができます。

■ 個人顔登録（写真撮影時のみ）

「アルバム」アプリでタグ付けされた顔に名前を表示し、優先してピントを合わせるかどうかを設定します。

■ マイク（動画撮影時のみ）

動画撮影時に周囲の音を録音するかどうかを設定します。

■ クイック起動

クイック起動利用時の動作を設定します（P.128）。

■ ジオタグ

写真／動画に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ（ジオタグ）を付けるかどうかを設定します。

- オンに設定すると、撮影画面に が表示されているときに位置情報が付加されます。
- 位置情報取得中は が表示されます。位置情報取得中に撮影をしても、ジオタグは付加されません。

■ **タッチ撮影**

撮影画面をタップして撮影できるようにするかどうかを設定します。

■ **音量キー設定**

音量キーに割り当てる機能を設定します。

■ **保存先**

撮影した写真／動画の保存先を設定します。

■ Touch Block

Touch Block（タッチブロック）機能を設定します。撮影画面を表示した状態で触っても、タッチパネルが反応しないようにすることができます。

❖**お知らせ**

- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

画面のアイコンから設定を変更する

撮影画面に表示されるアイコンをタップして設定を変更します。

- 撮影モードによって表示されるアイコンは異なります。

■ **フラッシュ**

暗い場所や逆光での撮影時に、フラッシュを点灯させるかどうかを設定します。

自動

明るさに応じて自動的にフラッシュが点灯します。

強制発光

明るさに関係なく常にフラッシュが点灯します。

赤目軽減

フラッシュによる赤目現象を軽減します。

OFF

フラッシュは点灯しません。

- フラッシュを点灯しないほうが写真をきれいに撮影できる場合があります。フラッシュを点灯させないときは、セルフタイマーを使用すると、手ブレを防止できます。

照明

フォトライトを点灯します。

- 十分な明るさがなくても、フォトライトなしできれいに撮影できる場合もあります。フォトライトなしできれいに撮影するには、カメラを安定させる必要があります。

■ シーンセレクション

撮影シーンを選択します。選択したシーンに最適な撮影条件が設定されます。

OFF

シーン設定をしないで撮影します。

美肌

人物の肌をなめらかに補正して撮影します。

ソフトスナップ

人物の肌を明るくきれいに撮影します。

人物ブレ軽減

室内の人物撮影でブレを軽減します。

風景

青空や草木の色を鮮やかに表現し、遠景にピントを合わせて撮影します。

逆光補正HDR

ハイダイナミックレンジ機能で逆光を補正します。

夜景＆人物

夜景を背景にした人物の撮影に適しています。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。

夜景

夜景をきれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。

手持ち夜景

手ブレを抑えて夜景をきれいに撮影します。

高感度

暗いところでも、フラッシュを使わずに明るく撮影します。

料理

料理を明るく美味しそうに撮影します。

ペット

ペットの撮影に適しています。

ビーチ

ビーチを明るく鮮やかに再現します。

スノー

雪景色を明るく鮮やかに再現します。

パーティー

室内の照明の雰囲気を活かしながら、きれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。

スポーツ

動きの速い被写体の撮影で、露出時間を短くして動きのブレを最小限に抑えます。

ドキュメント

文字や図の撮影に使用します。文字をくっきりと明るく、読みやすく撮影します。

打ち上げ花火

打ち上げ花火をきれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。

■ 明るさ（EV補正）・ホワイトバランス

明るさ（露出補正）は、バーをタップまたはドラッグして調整します。
ホワイトバランスは、周囲の光源に合わせて設定を変更します。

自動
周囲の光源に合わせて自動的に調整します。

電球
電球のような照明に合わせて調整します。

蛍光灯
蛍光灯のような照明に合わせて調整します。

太陽光
日なたでの撮影に合わせて調整します。

曇り
曇り空や日陰に合わせて調整します。

■ 撮影方向

スイングパノラマの撮影方向を設定します。

右
左から右へ撮影します。

左
右から左へ撮影します。

下
上から下へ撮影します。

上
下から上へ撮影します。

クイック起動を利用する

を1秒以上押すか、ロック画面でをロングタッチしてまでドラッグしてカメラを起動したときの動作を設定できます（クイック起動）。

- ロック画面の設定が「ドコモ」で画面ロックの解除方法が「スワイプ／タッチ」の場合、は表示されず、が表示されます。をタップした場合、「起動のみ」の動作となります。

1　を1秒以上押す
- お買い上げ時は「起動のみ」に設定されており、カメラが起動します。

2　▶「」タブをタップ▶［クイック起動］

3　［起動のみ］／［起動＆静止画撮影］／［起動＆動画撮影］のいずれかをタップ
- クイック起動を解除するには、［OFF］をタップします。

❖お知らせ
- を1秒以上押したときや、をロングタッチしてまでドラッグしたときは、自動的に撮影モードが「プレミアムおまかせオート」になります。

顔検出を使用して撮影する

中心から外れた位置の顔にピントを合わせることができます。
撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合は、自動で顔検出を行います。

1 **[カメラキー]を1秒以上押す**

2 **撮影モードアイコンをタップ▶［マニュアル］**
- 動画を撮影する場合は、[アイコン]をタップして動画撮影画面を表示します。

3 **[メニュー]▶「[カメラ]」タブ／「[動画]」タブをタップ▶［フォーカスモード］▶［顔検出］▶[戻る]**

4 **カメラを被写体に向ける**
- 検出した顔にオートフォーカス枠が表示されます（最大で5つ）。

5 **ピントを合わせるオートフォーカス枠をタップするか、タップせずにピントを合わせる顔をカメラに選ばせる**
- ピントを合わせる顔のオートフォーカス枠が黄色に変わります。

6 **写真／動画を撮影**

スマイルシャッターを使用して撮影する

笑った瞬間の顔を撮影できます。

1 **[カメラキー]を1秒以上押す**

2 **[メニュー]▶「[カメラ]」タブ／「[動画]」タブをタップ▶［スマイルシャッター］／［スマイルシャッター（録画中）］**

3 **スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを選択▶[戻る]**

4 **カメラを被写体に向ける**
- 検出した顔にオートフォーカス枠が表示されます（最大で5つ）。
- カメラがピントを合わせる顔を選択します。ピントを合わせる顔のオートフォーカス枠が黄色（写真撮影時）／青色（動画撮影時）に変わります。

5 **ピントを合わせる顔が笑うと、カメラが自動的に写真を撮影**
- 笑顔を検出できなくても、「写真を撮影する」（P.120）の操作で撮影できます。

❖お知らせ
- 「スマイルシャッター（録画中）」に設定した場合、動画撮影中に笑顔を検出してもシャッター音は鳴りません。

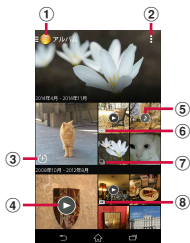
アルバム

写真や動画を閲覧・再生できます。

写真／動画を表示する

1 ホーム画面で［アルバム］

- 画像が時系列で一覧表示されます。
- 初めて使用するときは、カテゴリー一覧から表示するカテゴリーを選択します。

■ 画像一覧画面

① カテゴリー一覧を表示
② オプションメニュー
③ タイムシフト連写ファイル
④ 動画ファイル
⑤ サウンドフォト
⑥ タイムシフトビデオ
- スローモーションを含んで保存したファイルの場合は、が表示されます。

⑦ 長押し連写ファイル
⑧ 4Kビデオ

❖**お知らせ**

- 保存されている画像の枚数により、画面の読み込みに時間がかかる場合があります。
- 画像の表示を拡大／縮小するには、画像一覧画面でピンチアウト／インします。

写真／動画を再生する

1 ホーム画面で［アルバム］▶写真／動画をタップ

- 長押し連写ファイルの場合は、続けて写真をタップします。
- サウンドフォトファイルの場合は、音声が再生されます。
- タイムシフト連写ファイルの場合は、続けて画面をタップ▶をタップすると、保存されたすべての写真を確認できます。
- 動画ファイルの場合は、続けてをタップします。
- 画面をタップすると、撮影日時などの情報やオプションメニューのアイコンなどが表示されます。

■ 写真再生画面

- 動画再生画面について（P.133）

① 画像一覧画面に戻る
② 共有メニュー（P.131）
③ オプションメニュー（P.131）
④ 位置情報
- タップするとジオタグを付加できます。ジオタグが付加された写真の場合は国名や地名が表示され、タップすると地図上に写真が表示されます。

⑤ 撮影日時
⑥ お気に入りに登録／解除
⑦ 写真を操作
：写真を編集
：長押し連写ファイルをスライドショー再生
：タイムシフト連写ファイルを確認
⑧ 削除

❖お知らせ

- 画像の表示を拡大／縮小するには、写真再生画面でピンチアウト／インします。
- 選択したファイルにより表示される項目は異なります。

画像ファイルを操作する

1 **ホーム画面で［アルバム］▶写真／動画をタップ**

2 **画面をタップ**

(共有アイコン)	画像ファイルをオンラインサービスにアップロードしたり、Bluetooth通信やメールなどで送信したり、microSDカードにコピー／移動します。
(メニューアイコン)	スライドショー再生や画像ファイルの編集、登録、詳細情報の確認などができます。「Throw」を使うとワイヤレスで写真や動画を他の機器で再生できます。

❖お知らせ

- 選択した画像ファイルによっては、表示されるメニューが異なる場合や、操作できない場合があります。
- 複数の画像ファイルを操作するには、ホーム画面で［アルバム］▶ ▶［アイテムを選択］▶操作する画像ファイルを選択します。
- DRM管理コンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードができます。

- モバイルネットワーク接続を使用して動画コンテンツをダウンロード・アップロードする際に、パケット通信料が発生します。

YouTube動画を再生する

1 ホーム画面で［Google］▶［YouTube］

- Googleアカウントを設定していない場合は、Googleアカウント設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 動画をタップ

- 🔍をタップすると動画を検索できます。

❖お知らせ

- 検索履歴を消去するには、手順2で⋮▶［設定］▶［検索］▶［検索履歴を消去］▶［OK］をタップします。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽や動画を再生します。

- 再生可能なデータのファイル形式について（P.215）

❖お知らせ

- メディアプレイヤーについて詳しくは、ホーム画面で田▶［メディアプレイヤー］▶⋮▶［ヘルプ］をタップしてメディアプレイヤー取扱説明書をご覧ください。

楽曲／動画を再生する

1 ホーム画面で田▶［メディアプレイヤー］

- 初めて使用するときは、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約をご確認の上、同意する旨の項目にチェックを入れる▶［利用開始］をタップし、メディアプレイヤーの紹介画面で、画面の指示に従って操作してください。

2 画面下部のタブをタップ

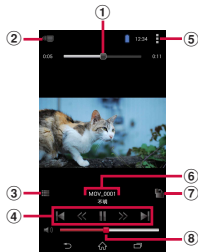
3 楽曲／動画をタップ

■ 楽曲再生画面

① 再生位置
② 楽曲一覧に戻る
③ 楽曲を操作
　⏮：楽曲の先頭に戻る、または前の楽曲へスキップ
　⏪：早戻し
　⏸：一時停止
　▶：再生
　⏩：早送り
　⏭：次の楽曲へスキップ
④ オプションメニュー
⑤ アルバムアート
⑥ 楽曲情報
⑦ リピートオフ／リピートオン／1曲リピート
⑧ シャッフルオフ／シャッフルオン
⑨ 音量調節
- 楽曲再生画面で音量キーを押しても音量を調節できます。

❖お知らせ

- ホーム画面に戻って、他の操作をしながらバックグラウンドで楽曲を聴くことができます。楽曲再生画面に戻るには、ホーム画面で ▶［メディアプレイヤー］をタップするか、ステータスバーを下にドラッグ▶再生中の楽曲名をタップします。

■ 動画再生画面

① 再生位置
② スクリーンミラーリング対応機器と本端末との間で動画を共有
③ 動画一覧に戻る
④ 動画を操作
　⏮：動画の先頭に戻る、または前の動画へスキップ
　⏪：早戻し
　⏸：一時停止
　▶：再生
　⏩：早送り
　⏭：次の動画へスキップ
⑤ オプションメニュー
⑥ 動画情報

⑦ 画面の自動回転オン／オフ
- をタップすると赤くなり、画面の自動回転がオフになります。

⑧ 音量調節
- 動画再生画面で音量キーを押しても音量を調節できます。

❖お知らせ

- 画面をタップするとオプションメニューのアイコンなどが表示されます。

メディアプレイヤーを終了する

1 **メディアプレイヤー画面／楽曲再生画面／動画再生画面で ／ ▶［アプリ終了］**

位置情報サービスについて

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワークを使用して現在地を測位できます。

GPS機能

本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。
現在地の測位にGPS機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分たっても現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ部（P.28）を覆わないようにしてください。
GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

- 本端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出ることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- 本端末の周囲に障害物（人やもの）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

❖注意

- 一部、または全部のGPS機能を使用できない場合は、契約内容にインターネットの利用が含まれていることをご確認の上、「無線とネットワーク」（P.143）をご参照ください。
- 当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

GPS機能／位置情報サービスをオンにする

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワーク基地局からの情報を元にした現在地の特定などができます。

1 **ホーム画面で田▶［設定］**

2 **［位置情報］▶「位置情報」のOFFをタップまたは右にドラッグ**

3 **位置情報の注意文を読んで［同意する］▶位置情報についての同意文を読んで［同意する］**

❖お知らせ

- Google位置情報サービスにより、個人を特定しない形で位置情報が収集されます。なお、アプリが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

Googleマップを使用する

Googleマップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索、経路の検索などができます。

- Googleマップを利用するには、データ通信可能な状態（LTE/3G/GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

地図上で現在地を検出する

位置情報サービスを利用して現在地を検出できます。

- 現在地を検出するには、あらかじめ位置情報をオンに設定する必要があります（P.136）。

1 **ホーム画面で［Google］▶［マップ］**

- メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 ◎

- 現在地が青い印で表示されます。
- ◎をタップすると、アイコンが⊘に変わり、本端末の地磁気コンパスと地図上で表示される方角が連動します。
- 地図を拡大／縮小するには、マップ画面でピンチアウト／インするか、画面をダブルタップ／2本の指でタップします。

ストリートビューを見る

1 **ホーム画面で［Google］▶［マップ］**

2 **ストリートビューで表示したい地点をロングタッチ▶画面下部に表示された情報をタップ**

3 **［ストリートビュー］**

場所を検索する

1　ホーム画面で［Google］▶［マップ］

2　検索バーに検索する場所を入力

3　ソフトウェアキーボードの

4　目的の場所をタップ

情報を表示する

地図上に交通情報などの情報を表示できます。

1　ホーム画面で［Google］▶［マップ］

2　▶表示する情報を選択

ナビゲーションをする

目的地への詳しい道案内を取得できます。

1　ホーム画面で［Google］▶［マップ］

2　▶移動の方法を選択

3　上の入力欄に出発地を入力▶下の入力欄に目的地を入力

スケジュール

スケジュールを表示する

1　ホーム画面で▶［スケジュール］

- 初めて使用するときは、「スケジュール＆メモアプリ」ソフトウェア使用許諾規約画面で［同意する］をタップし、クラウドサービスの利用確認画面で画面の指示に従って設定してください。

2　［表示切替］▶［月］／［週］／［日タイムライン］／［日］のいずれかをタップ

- カレンダー部分を左右にフリックすると、前後の月や週、日を表示します。

❖お知らせ

- 現在の日付または表示したい日付にカーソルを移動するには、手順2で［日付移動］▶［今日］／数字をドラッグして日付を合わせる▶［移動］をタップします。
- 手順2で［表示切替］▶［メモ一覧］をタップすると、「メモ」アプリの表示に切り替えられます。

スケジュールの予定を作成する

1 **ホーム画面で田▶［スケジュール］**

2 **［新規作成］▶項目を入力**

3 **［保存］**

❖お知らせ

- スケジュールのアラームを設定している場合は、設定時間になるとステータスバーに🔔が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶［お知らせ時間になりました］をタップすると、予定の詳細を表示することができます。

スケジュールの予定を表示する

1 **ホーム画面で田▶［スケジュール］▶予定のある日付／時間を表示**

- 表示が月と週の場合は、予定のある日付をタップします。

2 **詳細を表示する予定をタップ**

- 予定を編集するには、［編集］をタップします。

❖お知らせ

- 予定を削除するには、手順2で削除したい予定をロングタッチ▶［1件削除］▶［削除する］をタップします。
- すべての予定を削除するには、ホーム画面で田▶［スケジュール］▶⋮▶［全件削除］▶［削除する］をタップします。

スケジュールの表示条件を設定する

表示条件を設定すると、特定のデータのみ表示することができます。

1 **ホーム画面で田▶［スケジュール］**

2 **［表示条件］**

3 **検索条件選択画面で表示したい項目をタップ**

❖お知らせ

- 手順3で［フリーワード検索］▶検索する語句を入力▶［OK］をタップすると、「タイトル」「本文」「どこで？」で入力した内容を検索して表示することができます。

アラームと時計

アラームや世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

アラームを設定する

1 **ホーム画面で田▶［アラームと時計］**

2 **＋▶時間などを設定**

3 **［完了］**

❖お知らせ

- アラームを削除するには、手順2で ⋮ ▶［アラームを削除］▶削除したいアラームにチェックを入れる▶［削除］※▶［はい］をタップします。
  ※「削除」の右側にはチェックを入れたアラームの数が表示されます。

アラームのオン／オフを切り替える

1 ホーム画面で田▶［アラームと時計］

2 オン／オフを切り替えたいアラームの OFF ／ ON をタップまたは右／左にドラッグ

アラーム音を止める

1 アラームが鳴っているときに⏰を右にドラッグ

❖お知らせ

- ［スヌーズ］をタップすると、設定した時間の経過後に、再度アラームが鳴ります。

世界時計を利用する

世界各地の都市の日時などを表示できます。

1 ホーム画面で田▶［アラームと時計］▶「🌐」タブをタップ

2 ＋▶都市を選択

❖お知らせ

- サマータイム期間中の時刻表示は、手順2の都市を選択する画面で表示される時差表示とは異なる場合があります。
- 都市を並べ替えるには、手順2で ⋮ ▶［並べ替え］▶都市の日時の横にある ⁞⁞ を上下にドラッグ▶［完了］をタップします。
- 都市を削除するには、手順2で ⋮ ▶［削除］▶削除したい都市にチェックを入れる▶［削除］※▶［はい］をタップします。
  ※「削除」の右側にはチェックを入れた都市の数が表示されます。

ストップウォッチを利用する

1 ホーム画面で田▶［アラームと時計］▶「⏱」タブをタップ

2 ［開始］

3 ［停止］

タイマーを利用する

1 ホーム画面で田▶［アラームと時計］▶「⌛」タブをタップ

2 ［時間設定］

3 数字を上下にドラッグして時間を合わせる▶［OK］

4 ［開始］

5 ［停止］

ドコモバックアップ

ドコモバックアップでは、「データ保管BOX」または「microSDカード」にデータをバックアップしたり、復元したりできます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外さないでください。本端末内のデータが破損する場合があります。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- バックアップや復元には、ドコモアプリパスワードが必要です（P.160）。
- データ保管BOXへのバックアップ・復元には、ドコモクラウドへのログインが必要です。なお、ログインするためにはデータ保管BOXアプリをダウンロードし、クラウド設定をオンにする必要があります（P.140）。

❖お知らせ

- 初めて使用するときは、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約をご確認の上、「同意する」にチェックを入れる▶［利用開始］をタップします。
- ドコモバックアップについて詳しくは、ホーム画面で田▶［ドコモバックアップ］▶［データ保管BOXへ保存・復元］／［microSDカードへ保存・復元］▶ ⋮ ▶［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

データ保管BOXにバックアップ・復元する

通話履歴や音楽などのデータをデータ保管BOXにバックアップ・復元できます。

バックアップする

1 **ホーム画面で田▶［ドコモバックアップ］▶［データ保管BOXへ保存・復元］**

2 **［バックアップ］**

- ドコモクラウドへログインしていない場合は、確認画面で［ログイン］をタップし、画面の指示に従ってログインしてください。「データ保管BOX」アプリをダウンロードしていない場合は、確認画面で［ダウンロードする］をタップし、画面の指示に従ってダウンロードしてください。

3 **バックアップしたいデータにチェックを入れる**

4 **［バックアップ開始］▶［開始する］**

5 **ドコモアプリパスワードを入力▶［OK］**

❖**お知らせ**
- 定期バックアップ設定は、あらかじめ選択したバックアップ対象データを、毎月自動でデータ保管BOXへバックアップできます。
- 定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

復元する

1. **ホーム画面で田▶［ドコモバックアップ］▶［データ保管BOXへ保存・復元］**
2. **［復元］**
3. **復元したいデータ種別の［選択］▶復元したいデータにチェックを入れる▶［選択］**
   - ［最新データを選択］をタップすると、データ種別ごとの最新のバックアップデータを選択します。
4. **［追加］／［上書き］▶［復元開始］▶［開始する］**
5. **ドコモアプリパスワードを入力▶［OK］**

❖**お知らせ**
- データ保管BOXから復元する場合、データはバックアップ時と同じ保存先に復元されます。機種変更の際など、バックアップ時と異なる保存先に復元される場合があります。

microSDカードにバックアップ・復元する

電話帳やドコモメール、画像・動画などのデータをmicroSDカードなどの外部記録媒体にバックアップ・復元できます。

バックアップする

本端末のメモリ構成上、microSDカードを取り付けていない場合、画像・動画などのデータは内部ストレージに保存されます。本アプリでは画像・動画などのデータのうち内部ストレージに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

1. **ホーム画面で田▶［ドコモバックアップ］▶［microSDカードへ保存・復元］**
2. **［バックアップ］**
3. **バックアップしたいデータにチェックを入れる**
4. **［バックアップ開始］▶［開始する］**
5. **ドコモアプリパスワードを入力▶［OK］**

❖**お知らせ**

- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。

復元する

1 **ホーム画面で田▶［ドコモバックアップ］▶［microSDカードへ保存・復元］**

2 **［復元］**

3 **復元したいデータ種別の［選択］▶復元したいデータにチェックを入れる▶［選択］**

- ［最新データを選択］をタップすると、データ種別ごとの最新のバックアップデータを選択します。

4 **［追加］／［上書き］▶［復元開始］▶［開始する］**

5 **ドコモアプリパスワードを入力▶［OK］**

Googleアカウントの電話帳をdocomoアカウントにコピーする

Googleアカウントに登録された連絡先データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 **ホーム画面で田▶［ドコモバックアップ］▶［microSDカードへ保存・復元］**

2 **［電話帳アカウントコピー］**

3 **コピーしたいGoogleアカウントの電話帳の［選択］▶［上書き］／［追加］**

- メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖**お知らせ**

- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。

設定メニューを表示する

1 ホーム画面で田▶［設定］

無線とネットワーク	P.143
機器	P.153
ユーザー設定	P.160
アカウント	P.167
システム	P.169

無線とネットワーク

Wi-Fi		P.143
Bluetooth		P.176
データ使用		P.146
Xperia™接続設定		P.147
その他の設定	機内モード	P.148
	標準のメッセージアプリ	P.92
	テザリング	P.150
	VPN	P.152
	モバイルネットワーク	P.149、P.188
	NFC／おサイフケータイ 設定	P.105、P.178

Wi-Fi

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声が乱れたりすることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと約10m以上離してください。
- 約10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-Fiをオンにする

1 ホーム画面で田▶［設定］▶Wi-Fiの OFF をタップまたは右にドラッグ

- Wi-Fi接続がオンになるまで、数秒かかる場合があります。

❖**お知らせ**

- Wi-Fiがオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。
- Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にLTE/3G/GSMネットワークモードでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生する場合がございますのでご注意ください。
- Wi-Fi機能を使用しないときは、オフにすることで電池の消費を抑制できます。
- Wi-Fi機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［Wi-Fi］

2 接続したいWi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、Wi-Fiネットワークのパスワードを入力▶［接続］をタップします。
- WPS対応機器でWi-Fiネットワークに接続する場合は、をタップするか、⋮▶［WPS PIN入力］をタップします。画面の指示に従って操作してください。
- Wi-Fiネットワークを手動でスキャンする場合は、⋮▶［スキャン］をタップします。

❖**お知らせ**

- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。
- Wi-Fiネットワークへの接続が成功すると、「接続されました」と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。
  なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても「接続されました」と表示されない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。［接続］をタップしてからメッセージが表示されるまでに5分以上かかる場合があります。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「docomo ID」の設定が必要です。ホーム画面で田▶［設定］▶［ドコモのサービス／クラウド］▶［docomo ID設定］をタップして設定します。

接続中のWi-Fiネットワークの設定を削除する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［Wi-Fi］

2 現在接続中のWi-Fiネットワークをタップ

3 ［設定を削除］

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

- あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります（P.143）。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［Wi-Fi］

2 ＋▶追加するWi-Fiネットワークのネットワーク SSIDを入力

3 「セキュリティ」の設定項目をタップ▶追加するWi-Fiネットワークのセキュリティタイプをタップ

- 「設定しない」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類が表示されます。

4 必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力

5 ［保存］

オプションメニューを利用する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［Wi-Fi］▶⋮

スキャン	P.144
WPS PIN入力	P.144
Wi-Fi Direct	P.146
詳細設定	

詳細設定	ネットワークの通知	Wi-Fiオープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。 ・あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります（P.143）。
	スリープ時のWi-Fi接続	画面のバックライトが消灯したときに本端末のWi-Fi機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することもできます。
	スキャンを常に実行する	Wi-Fiがオフのときに、Googleの位置情報サービスと他のアプリでネットワークをスキャンするかどうかを設定します。
	接続不良のとき無効にする	Wi-Fiの電波が弱い場合や通信品質が悪い場合に、LTE/3G/GSMネットワークモードを使用するかどうかを設定します。
	証明書のインストール	証明書をインストールします。

詳細設定	Wi-Fi最適化	Wi-Fiがオンのときに電池消費を抑えるかどうかを設定します。
	Auto IPの使用	Auto IP機能のオン／オフを切り替えることができます。
	Passpoint	利用可能なPasspointネットワークに自動接続するかどうかを設定します。
	Passpointネットワーク	Passpointネットワークを設定します。
	MACアドレス	MACアドレスを確認できます。
	IPアドレス	IPアドレスを確認できます。

Wi-Fi Direct対応機器を利用する

アクセスポイントを設定しなくても、Wi-Fi Direct機能に対応したデバイス間で直接Wi-Fi接続ができます。

- あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります（P.143）。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［Wi-Fi］

2 ⋮▶［Wi-Fi Direct］

3 接続するWi-Fi Direct対応機器名を選択

- ［機器の検索］をタップすると、検出一覧を更新できます。
- 検出されたWi-Fi Direct対応機器側で表示される本端末の名前を変更するには、［機器名を変更］をタップします。

❖お知らせ

- Wi-Fi Direct機能は、対応したアプリをインストールすることで利用可能となります。

データ使用

モバイルデータ通信を有効／無効に設定したり、データ使用量の上限を設定したりできます。

モバイルデータ通信を有効にする

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［データ使用］

2 モバイルデータ通信の OFF をタップまたは右にドラッグ

3 注意文を読んで［OK］

データ使用量の上限を設定する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［データ使用］

2 ［モバイルデータの制限を設定］▶注意文を読んで［OK］

❖**お知らせ**

- データ使用量が指定の上限に達した場合は、モバイルデータ通信が無効となります。ご注意ください。
- データ使用量の上限の設定値と、警告用の設定値は、グラフ内のそれぞれのバーの右端を上下にドラッグして変更します。

データの測定期間を設定する

1 **ホーム画面で田▶［設定］▶［データ使用］**

2 **「データ使用周期」の設定項目をタップ▶設定されている期間／［データ使用周期を変更］**

- ［データ使用周期を変更］をタップした場合は、毎月のリセット日を選択▶［設定］をタップします。

オプションメニューを利用する

1 **ホーム画面で田▶［設定］▶［データ使用］▶⋮**

データローミング	データローミングを許可するかどうかを設定します。
バックグラウンドデータ制限	バックグラウンドデータを制限するかどうかを設定します。
データの自動同期	P.169
Wi-Fiの使用状況を表示	Wi-Fiの使用状況を表示するかどうかを設定します。
モバイルアクセスポイント	特定のWi-Fiネットワークの利用を制限するように設定できます。

Xperia™接続設定

ワンタッチ設定	本端末とXperia™タブレット（Android4.4以降）の2台を一緒に使うときに便利な設定をワンタッチで行います。
スマートコネクト	外部機器接続時やアプリの起動／停止時などの動作を設定します。
Throw設定	本端末のコンテンツを他の機器で再生できます。
スクリーンミラーリング※	スクリーンミラーリングに対応したテレビやタブレットに接続し、本端末の画面を表示します。
画面のキャスト	Google Cast対応機器に本端末の画面を表示します。
メディアサーバー設定	P.184

Windowsテザリング接続	Windowsテザリング接続に関する説明を表示します。 Windowsテザリング接続を行うには、あらかじめ次の設定をしてください。 • 本端末とパソコンのBluetooth機能をオンにしておいてください（P.176）。 • Wi-Fiテザリング設定のセキュリティを「WPA2 PSK」に設定してください（P.151）。 • 本端末とWindows 8.1以降のパソコンをBluetoothでペア設定してください（P.177）。
ワイヤレスコントローラー（DUALSHOCK®シリーズ）	DUALSHOCK®シリーズワイヤレスコントローラーを本端末に接続できます。
MirrorLink™	microUSB接続ケーブルを使用して、MirrorLink™認定の車載機器から本端末を操作できるように設定します。 著作権保護されたデータは表示できません。
USB接続設定	P.181

※ Wi-Fi CERTIFIED Miracast™準拠
使用環境によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部付近を手で覆うと、転送する映像の品質に影響を及ぼす場合があります。

機内モード

電話、インターネット接続（メールの送受信を含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］

2 「機内モード」にチェックを入れる

• 機内モードをオンに設定すると、ステータスバーに✈が表示されます。

❖**お知らせ**

• ⓞを1秒以上押す▶［機内モード］をタップしても、機内モードのオン／オフを設定できます。
• 機内モードがオンの場合でもWi-FiやBluetooth機能、NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにすることができます。電波の使用を禁止された区域ではこれらの機能は使用しないでください。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用する際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］
- 表示されるアクセスポイント（APN）は編集せずにそのままお使いいただくことをおすすめします。

❖お知らせ
- 現在使用されているアクセスポイントには、右側のラジオボタンにチェックが付いています。

アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］

2 ＋

3 ［名前］▶任意の名前を入力▶［OK］

4 ［APN］▶アクセスポイント名を入力▶［OK］

5 通信事業者によって要求されているその他すべての情報をタップして入力

6 ⋮▶［保存］

❖お知らせ
- APN設定の際に、MCC/MNCを初期値（440/10）以外に変更すると、APN画面上に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面上に表示されなくなった場合には、⋮▶［初期設定にリセット］または＋をタップして再度APNの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］

2 ⋮▶［初期設定にリセット］

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

テザリング機能を利用する

テザリング機能を利用すると、本端末をモデムとしてUSB対応機器や、無線LAN対応機器、Bluetoothデバイスをインターネットに接続させることができます。

❖**お知らせ**

- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳しくは、次のホームページをご覧ください。
  https://www.nttdocomo.co.jp/
- ドコモnanoUIMカード未挿入時やモバイルデータ通信を無効にしている場合、または圏外の場合、モバイルネットワークを使用したUSBテザリングやWi-Fiテザリング、Bluetoothテザリングは利用できません。

USBテザリングを設定する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［テザリング］

2 本端末をmicroUSB接続ケーブル01（別売品）などでパソコンに接続（P.35）

- 初めてmicroUSB接続ケーブルなどを接続したときは、パソコンに本端末のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。
- 本端末上に「ソフトウェアをインストール」画面が表示されたら、［スキップ］または［キャンセル］をタップしてください。

3 ［USBテザリング］

4 「注意事項の詳細」の内容を確認▶［OK］

❖**お知らせ**

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は次のとおりです。
  - Microsoft Windows 8／8.1
  - Microsoft Windows 7
  - Microsoft Windows Vista
  - Linux
- USBテザリング中は、パソコンで本端末のストレージをマウントすることはできません。
- USBテザリングは、Wi-Fiテザリング、Bluetoothテザリングと同時に利用できます。

Wi-Fiテザリングを設定する

1 **ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［テザリング］**

2 **［Wi-Fiテザリング］**

3 **「注意事項の詳細」の内容を確認▶［OK］**

❖お知らせ

- Wi-Fiネットワーク接続中やWi-Fi機器を利用してDLNA機器と接続中に、Wi-Fiテザリングを開始するとWi-Fi接続は切断されます。Wi-Fiテザリングを終了すると自動的に接続されます。
- Wi-Fiテザリングは、USBテザリング、Bluetoothテザリングと同時に利用できます。

ポータブルWi-Fiアクセスポイントを設定する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時に接続できます。

1 **ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［テザリング］**

2 **［Wi-Fiテザリング設定］▶［Wi-Fiテザリング設定］**

3 **設定するWi-FiアクセスポイントのネットワークSSIDを入力**

- お買い上げ時は「Xperia Z3 Compact_XXXX」が設定されています。

4 **「セキュリティ」の設定項目をタップ▶設定するWi-Fiアクセスポイントのセキュリティタイプをタップ**

5 **必要に応じて、設定するWi-Fiアクセスポイントのパスワードを入力**

6 **［保存］**

❖お知らせ

- お買い上げ時はパスワードがランダムに設定されています。

Bluetoothテザリングを設定する

Bluetoothデバイスをインターネットに5台まで同時に接続できます。

1 **ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［テザリング］**

2 **［Bluetoothテザリング］**

3 **「注意事項の詳細」の内容を確認▶［OK］**

❖お知らせ

- BluetoothデバイスからBluetoothテザリングを利用するには、本端末とのペア設定が必要です。Bluetooth機能について詳しくは、「Bluetooth機能」（P.176）をご参照ください。
- Bluetoothテザリングは、USBテザリング、Wi-Fiテザリングと同時に利用できます。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）を使うと、企業や学校などの保護されたローカルネットワーク内の情報に外部からアクセスできます。

❖お知らせ

- 本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。詳しくは、次のホームページをご覧ください。
  http://www.sonymobile.co.jp/support/

VPNを追加する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［VPN］

- 注意文が表示された場合は、画面の指示に従って画面ロックの解除方法を設定してください（P.164）。

2 ＋

3 編集画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を入力／設定

4 ［保存］

❖お知らせ

- VPNを編集／削除するには、VPNをロングタッチ▶［プロフィールを編集］／［プロフィールを削除］をタップします。

VPNに接続する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［VPN］

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力▶［接続］

- VPNに接続すると、接続中を示す🔑がステータスバーに表示されます。

VPNを切断する

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 VPN接続中を示す通知をタップ

3 ［切断］

機器

個人設定	P.153
ホーム	P.153
通話設定	P.84、P.192
音設定	P.154
画面設定	P.155
ストレージ	P.156
電源管理	P.158
アプリ	P.158
タップ&支払い	P.159

個人設定

モーション	着信中に画面をタッチせずに応答や拒否などの操作をするかどうかを設定します。
テーマ	ホーム画面やロック画面の壁紙などのテーマを変更できます。
壁紙	P.71
優先アプリ設定	本端末で利用するアプリ（ホームアプリ、ロック画面、電話帳アプリ、動画や音楽を再生するアプリ）を一括または個別で設定できます。
ロック画面	優先アプリ設定（P.153）で「一括設定」または「ロック画面」を「Xperia™」に設定した場合の壁紙を設定します。
表示された通知を削除	通知パネルを開いたときに、ステータスバーから通知アイコンを削除するかどうかを設定します。
通知の管理	通知パネル内の通知を表示するアプリを選択します。
ステータスバーアイコン	ステータスバーに表示するステータスアイコンを選択できます。

ホーム

本端末のホームアプリを変更できます。

- ホームアプリを変更すると、ロック画面や電話帳アプリ、動画や音楽を再生するアプリも変更されます。

シンプルホーム	P.51
docomo LIVE UX	P.69
Xperia™ ホーム	P.48

音設定

オーディオ設定	ClearAudio＋	ソニーが推奨する音楽のためのサウンド設定で、デジタル信号処理技術の設定をワンタッチで最適化します。
	サウンドエフェクト	サウンドエフェクトの設定をします。
	ダイナミックノーマライザー	音量レベルの異なる複数の楽曲を再生しても、同程度の音量で再生されるように設定します。
	ヘッドホン	選択したヘッドホンに最適な音質に設定されます。
	ノイズキャンセル	ノイズキャンセル機能を有効にして周囲の騒音を減らすことができます。ノイズキャンセリングヘッドホンを接続すると有効になります。
	ハイレゾオーディオ(USB)	ハイレゾ音源対応のUSB DAC／DACアンプを使用して高音質オーディオを再生するよう設定します。
	マイク感度	マイク感度を設定します。
音量		P.155
着信音		P.155

ステップアップ音量※	着信音量を次第に大きく鳴るようにするかどうかを設定します。
着信時バイブレーション	着信時に本端末を振動させるかどうかを設定します。
通知音	P.155
ダイヤルパッド操作音	ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作音	メニューを選択したときに音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロック解除時の音	画面ロックの解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
操作時バイブレーション	特定のソフトキー操作など一部の操作時に、本端末を振動させるかどうかを設定します。
起動音	電源を入れたときに音を鳴らすかどうかを設定します。

※ マナーモードをオンにしている場合、着信音量は大きくなりません。

❖お知らせ

- マナーモードについては、「マナーモードを設定する」（P.41）をご参照ください。

各種音量を調節する

メディア再生音、着信音と通知音、アラームの音量を調節します。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［音設定］▶［音量］

2 スライダを左右にドラッグ

3 ［OK］

❖**お知らせ**

- 音設定でアラームの音量を設定していても、「アラームと時計」アプリで設定している「アラームの音量」が優先されます（P.138）。
- 着信音の音量を音量キーで調節する場合は、ホーム画面で音量キーを押します。着信時に音量キーを押すと、着信音を消音にすることができます。

着信音／通知音を設定する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［音設定］▶［着信音］／［通知音］

2 着信音または通知音を選択▶［完了］

❖**お知らせ**

- お買い上げ時に登録されている着信音や通知音以外の音を設定する場合は、♫をタップします。
- 「音楽、動画、ゲーム、その他のメディア」の音量をミュート（音量0）に設定している場合は、着信音や通知音を聴くことができません。

画面設定

項目	説明
高画質モード	写真やムービーを鮮明に高画質で表示するよう設定します。なお、静止画の画質改善処理は「アルバム」アプリでの表示に限ります。 •「X-Reality for mobile」を選択した場合は、模様や輪郭を強調し、きめ細やかな質感や鮮鋭感を再現します。 •「ダイナミックモード」を選択した場合は、色を強調することで、めりはりのある鮮やかな画像になります。
手ぶくろモード	タッチ感度を上げて、手袋をしている状態でもタッチ操作ができるように設定します。 • 手ぶくろモードをオンにして手袋で画面に触れると、触れた箇所にリングが表示されます。 • 手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
画面の明るさ	P.156
ホワイトバランス	P.156
画面回転	P.41
スリープ	画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。
スマートバックライト	本端末を手に持って使用している間、タッチ操作をしていない状態でもバックライトが消灯しないように設定します。

スクリーンセーバー	スクリーンセーバーを設定します。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
タップして起動	バックライト消灯時に画面をダブルタップして、バックライトを点灯するかどうかを設定します。
通知LEDでお知らせ	不在着信などを通知LEDの点滅でお知らせするかどうかを設定します。

画面の明るさを調整する

1 **ホーム画面で田▶［設定］▶［画面設定］▶［画面の明るさ］**

2 **スライダを左右にドラッグ**

❖**お知らせ**

- 「明るさを自動調整」にチェックを入れると、手動で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調整します。

ホワイトバランスを調整する

1 **ホーム画面で田▶［設定］▶［画面設定］▶［ホワイトバランス］**

2 **スライダを設定したい位置でタップまたは左右にドラッグ**

- 「ここを長押しすると以前の設定が確認できます」と表示された部分をロングタッチすると、調整前の設定を確認することができます。

3 **［完了］**

❖**お知らせ**

- 手順2で ⋮ ▶［初期値に戻す］▶［完了］をタップすると、お買い上げ時の設定に戻ります。

ストレージ

機器メモリー（内部ストレージ）、microSDカード、USBストレージの容量を確認したり、初期化したりすることができます。

機器メモリー	合計容量	内部ストレージの空き容量などを確認します。
SDカード	合計容量	microSDカードの空き容量などを確認します。
	SDカードのマウント解除※1	microSDカードの認識を解除して安全に取り外します。
	SDカードをマウント※1	microSDカードを認識させます。
	SDカード内データ削除※1	microSDカードをフォーマットします。

外部USBストレージ	合計容量	USBストレージの空き容量などを確認します。
	USBストレージのマウント解除※1	USBストレージの認識を解除して安全に取り外します。
	USBストレージをマウント※1	USBストレージを認識させます。
	USBストレージ内データ削除※1	USBストレージをフォーマットします。
その他	SDカードへデータ転送※2	機器メモリー（内部ストレージ）のデータをmicroSDカードへ転送します。
	リモートシェア	自宅のNASなどのリモートサーバーにあるファイルを、本端末にあるファイルと同様に扱うことができるように設定します。

※1 microSDカードやUSBストレージの認識状態により表示される項目は異なります。

※2 機器メモリー（内部ストレージ）内の特定のフォルダに格納されているファイルのみがmicroSDカードに転送されます。

❖お知らせ

- microSDカード／USBストレージのフォーマットを行うと、microSDカード／USBストレージ（microSDカードなどの外部記録媒体）の内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- 端末内部の空き容量が少ない場合、次の操作を行うことで空き容量を増やすことができます。
  - ブラウザで、履歴を削除します（P.102）。
  - 使用しないアプリをアンインストールします（P.159）。

電源管理

STAMINAモード	特定のアプリでスリープ時の機能を制限し、電池の消費を抑えることができます。
低バッテリーモード	電池残量が設定値を下回ったときに、画面のスリープまでの時間や明るさ、端末の各動作をオフにするかどうかなどを設定します。
エリア連動Wi-Fi	登録されたWi-Fiネットワーク圏内に入ると、自動的にWi-Fiネットワークに接続し、電池消費を抑えることができます。
緊急省電力モード	P.43
アプリの電力消費について	使用していないアプリの動作を管理して、電池の消費を抑えることができます。
電池使用量	電池残量、電池使用量などを表示します。

❖お知らせ

- STAMINAモードがオンの場合、スリープ時の通知LED表示はすべてのアプリで同一の点滅周期と色（薄紫色）になります。
- 「残り待ち受け時間（見込み）」に表示される数値は、STAMINAモードの設定にのみ連動しています。
  その他のモードとは連動していません。

アプリ

インストールされたアプリの管理や削除、メモリの使用状況などを表示したり、設定を変更したりできます。

アプリを管理する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［アプリ］

2 管理したいアプリをタップ

- アプリのデータを削除する場合は、［データを削除］▶注意文を読んで［OK］をタップします。
- ［キャッシュを削除］をタップしてキャッシュを削除したり、［標準設定をクリア］をタップしてアプリの起動時の設定を削除してお買い上げ時の状態に戻したりすることもできます。

アプリを強制終了する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［アプリ］

2 強制終了したいアプリをタップ

3 ［強制終了］▶注意文を読んで［OK］

アプリを削除する

- 削除する前にアプリに保存されているデータも含めて、保存しておきたいコンテンツはすべてバックアップしてください。

1　ホーム画面で田▶［設定］▶［アプリ］

2　削除したいアプリをタップ

3　［アンインストール］▶［OK］

❖お知らせ

- プリインストールされているアプリは削除（アンインストール）できない場合があります。アンインストールできない一部のアプリは無効化（P.159）することができます。
- Playストアから入手したアプリはGoogle Playの画面から削除（P.104）することをおすすめします。

アプリを無効化する

アンインストールできないアプリやサービスを無効化することができます。

- 無効化したアプリはホーム画面やアプリ画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

1　ホーム画面で田▶［設定］▶［アプリ］

2　画面を左にフリック▶「すべて」タブを表示

3　無効化したいアプリをタップ

4　［無効にする］▶注意文を読んで［OK］

❖お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効化することで正しく動作します。

アプリの設定をリセットする

「すべて」タブのアプリの無効化（P.159）や、起動時の設定（P.158）、バックグラウンドデータの制限（P.147）をリセットできます。

1　ホーム画面で田▶［設定］▶［アプリ］

2　⋮▶［アプリの設定をリセット］

3　［設定をリセット］

タップ&支払い

対応したアプリをインストールすると、クラウドや端末の支払い情報をアプリから管理できます。

ユーザー設定

ドコモのサービス／クラウド

docomo ID設定	ドコモアプリで利用するdocomo IDを設定します。
ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定をします。
ドコモアプリ管理	ドコモが提供するアプリのインストールを管理したり、定期的にアプリの更新を確認したりするための設定をします。
ドコモアプリパスワード	ドコモが提供するアプリのパスワードを設定します。ドコモアプリパスワードの初期値は「0000」に設定されています。
オートGPS	オートGPS対応のサービスを利用するための設定をします。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定をします。
端末エラー情報送信	エラー情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定をします。
遠隔初期化	遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
プロフィール設定	ドコモの各種サービスで利用するプロフィール情報の確認や変更ができます。
USBデバッグ切替	ドコモショップなどで専用端末を利用するための設定をします。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

❖お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

位置情報

位置情報	P.136
モード	位置情報を特定するモードを設定します。
最近の位置情報リクエスト	最近の位置情報データを使用したアプリと、電池使用量が表示されます。
位置情報サービス	アプリに位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。

セキュリティ

画面のロック	P.164
ロック解除感度※1	Bluetoothロック解除が可能になる距離を設定します。
顔認識の精度を改善※1	フェイスアンロックの精度を改善します。
生体検知※1	フェイスアンロックでの解除時に、まばたきが必要かどうかを設定します。
パターンを表示する※1	パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。
自動ロック※1	画面のバックライトが消灯してから自動でロックがかかるまでの時間を設定します。
電源キーですぐにロック※1	⏻ を押すと、すぐに画面ロックがかかるようにするかどうかを設定します。
ロック画面でウィジェット有効	ロック画面のウィジェットを有効にするかどうかを設定します。
所有者情報	ロック画面に表示する所有者の情報を入力します。 「ロック画面に所有者情報を表示」にチェックを入れると、ロック画面に所有者の情報が表示されます。
携帯電話の暗号化	内部ストレージを暗号化します。暗号化を行うと、電源を入れるたびにPINまたはパスワードの入力が必要になります。
SIMカードロック設定※2	P.164

パスワードの表示	PIN／パスワードの入力画面で、「●」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
機器管理機能	デバイス管理機能を有効にするかどうかを設定します。
提供元不明のアプリ	提供元不明アプリをダウンロードする前にインストールを許可するかどうかを設定します。アプリによっては発行元が不明な場合もあります。 本端末と個人データを保護するため、信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。
アプリの確認	損害をもたらす可能性のあるアプリのインストールを禁止したり、インストール前に警告したりするかどうかを設定します。
通知へのアクセス	連絡先やメールの本文など、システムやインストール済みアプリからの通知を表示させるかどうかを設定します。
ストレージのタイプ	認証情報ストレージのタイプを表示します。
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
機器メモリーかSDカードからインストール	暗号化された証明書をインストールします。
認証ストレージのデータ削除	認証情報ストレージ※3からすべての証明書や認証情報を削除します。※4

※1「画面のロック」の設定により表示される項目は異なります。
※2 ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。
※3 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。
※4 VPNの設定も削除されます。

❖お知らせ

- 携帯電話の暗号化には時間がかかります。フル充電状態で充電しながら開始し、暗号化が完了するまで本端末の充電を継続してください。
- 携帯電話の暗号化を解除するには、本端末をリセットし、お買い上げ時の状態に戻す必要があります（P.167）。

本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを本端末に差し込むたびに、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード（PUKコード）」（P.164）でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

SIMカードロックを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［セキュリティ］▶［SIMカードロック設定］▶［SIMカードをロック］

2 PINコードを入力▶［OK］

電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面で、PINコードを入力

2 ⏎

PINコードを変更する

- SIMカードロックを設定しているときのみ変更できます。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［セキュリティ］▶［SIMカードロック設定］▶［SIM PINの変更］

2 現在のPINコードを入力▶［OK］

3 新しいPINコードを入力▶［OK］

4 もう一度新しいPINコードを入力▶［OK］

PINロックを解除する

1 PINロック解除コード（PUKコード）を入力▶⏎

2 新しいPINコードを入力▶⏎

3 もう一度新しいPINコードを入力▶⏎

画面ロックの解除方法を設定する

本端末の電源を入れたり、スリープモードから復帰したりするたびに画面ロックの解除が必要になることで、セキュリティを強化できます。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［セキュリティ］▶［画面のロック］

2 設定したい解除方法をタップ

- ［PIN］をタップした場合は、画面の指示に従って、4～16桁の数字を入力します。この「PIN」は、ドコモnanoUIMカードに設定されるPINコード（P.163）とは別のものです。
- ［Bluetoothロック解除］をタップした場合は、画面の指示に従って、ロック解除に利用するBluetooth機器を設定します。あらかじめ、本端末とBluetooth機器をペア設定しておく必要があります。

❖お知らせ

- 画面ロックの解除方法を「Bluetoothロック解除」に設定した場合、本端末の近くにBluetooth接続した機器を置いた状態で ⓟ を押すと、スリープモードからロック画面を表示せず直接ロック前の画面が表示され、操作が可能となります。意図せず操作が行われる場合がありますのでご注意ください。

画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定（P.164）した後に、ⓟ を押してスリープモードにする、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、画面ロックがかかります。

■ 画面ロックを解除する場合

1 画面ロック中に ⓟ を押して画面のバックライトを点灯▶画面ロックの解除方法を入力

■ 画面ロックを無効にする場合

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［セキュリティ］▶［画面のロック］▶現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力▶［設定しない］

ロック解除方法を忘れた場合

■「パターン」を設定している場合

画面ロック解除パターンを5回続けて間違えると、「ロック解除パターンの入力を5回間違えました。30秒後にもう一度お試しください。」と表示されます。

- Googleアカウントを設定している場合、［パターンを忘れた場合］▶Googleアカウントとパスワードを入力▶［ログイン］をタップして画面ロックを解除し、新しくロック解除方法を設定し直してください。

❖お知らせ

- 本体に複数のGoogleアカウントを設定している場合、そのいずれかのGoogleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除できます。

■「PIN」または「パスワード」を設定している場合

ドコモショップにお問い合わせください。

言語と入力

地域／言語	使用する言語を変更します。
現在の入力方法	入力方法を選択します。
外国語キーボード	P.68
中国語キーボード	
POBox Plus	
ドコモ文字編集	
Google音声入力	
スペルチェッカー※	スペルチェックを行うかどうかを設定します。
ユーザー辞書	任意の単語を辞書に登録します。
音声検索	P.166
テキスト読み上げ	P.166
ポインターの速度	マウスやトラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

※ Androidキーボードをダウンロードする必要があります。

❖お知らせ

- 間違った言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、次のホームページのFAQをご覧ください。
  http://www.sonymobile.co.jp/so-02g/faq.html

音声検索を設定する

言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
音声出力	音声出力について設定します。
不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
オフラインの音声認識	オフライン時に利用するための音声認識データをダウンロード・管理します。
Bluetoothヘッドセット	Bluetoothヘッドセットで音声を録音するかどうかを設定します。

テキスト読み上げを設定する

Googleテキスト読み上げエンジン※	テキストを読み上げる言語を設定し、Googleテキストを読み上げるための音声合成エンジンを設定します。
Pico TTS※	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。
音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
標準言語のステータス	テキスト読み上げに対応している言語が表示されます。

※ 日本語には対応しておりません。

バックアップとリセット

データのバックアップ	アプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。
データの初期化	P.167

本端末をリセットする

本端末をリセットすると、ダウンロードしたアプリを含むすべてのデータ、およびアカウントなどが削除され、本端末は初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。

- 必ず本端末の重要なデータをバックアップしてから、本端末をリセットしてください。
- データの初期化は、充電しながら行うか、電池が十分に充電された状態で行ってください。
- 初期設定について（P.38）

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［バックアップとリセット］▶［データの初期化］▶［携帯電話をリセット］

- 「内部ストレージ内データの削除」にチェックを入れると、内部ストレージの内容（音楽、写真など）がすべて削除されます。「アルバム」「ムービー」などのアプリにプリインストールされているコンテンツも削除されますが、コンテンツによっては、Sony Selectから再度ダウンロードできます。

2 ［すべて削除］

アカウント

アカウントを設定する

オンラインサービスのアカウント管理（追加または削除）や、オンラインサービス上の連絡先やカレンダーなどの情報を本端末と同期させる設定をします。

- 自動同期について（P.169）

Googleアカウントを設定する

Googleアカウントを本端末に設定し、GmailやGoogle PlayなどのGoogleサービスを利用できます。
なお、本端末には複数のGoogleアカウントを設定できます。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［アカウントを追加］▶［Google］

2 登録ウィザードの説明に従ってGoogleアカウントを設定

❖お知らせ

- 「Googleサービス」画面で「Googleアカウントへのデータのバックアップ」にチェックを入れて登録したGoogleアカウントは、バックアップアカウントとして登録されています。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- 設定したGoogleアカウントをタップして、各項目のデータを手動で同期できます。

その他のアカウントを設定する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［アカウントを追加］

2 アカウントの種類をタップ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- docomoアカウントは、ドコモが提供する「ドコモバックアップ」アプリ（P.140）を利用する際に使用します。お買い上げ時から設定されています。

アカウントを削除する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶アカウントの種類を選択▶削除したいアカウントを選択

2 ⋮▶［アカウントを削除］▶［アカウントを削除］

❖お知らせ

- docomoアカウントは削除できません。

アカウントの同期を設定する

■ 自動同期する

本端末にオンラインサービス上の情報を同期できます。本端末およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

- 自動同期を設定すると、同期するときに通信が発生し、パケット通信料がかかる場合があります。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶自動同期の OFF をタップまたは右にドラッグ▶［OK］

■ 手動同期する

自動同期がオフのとき、登録されたアカウントを同期します。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶アカウントの種類を選択▶変更するアカウントを選択▶同期する項目にチェックを入れる

❖お知らせ

- アカウントによっては、同期する項目を選択することができます。

システム

日付と時刻	P.169
ユーザー補助	P.170
印刷	P.171
端末情報	P.171

日付と時刻

- 日付、時刻、タイムゾーンを手動で設定する場合は、あらかじめ「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」のチェックを外してネットワーク自動設定を解除する必要があります。

日付と時刻を自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正します。
日付設定	日付を手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示	チェックを入れると24時間表示、チェックを外すと12時間表示となります。
日付形式	日付の表示形式を選択します。

❖お知らせ

- 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。

ユーザー補助

TalkBack※1	ユーザー補助サービス（TalkBack）を設定します。
字幕	字幕を表示するかどうかを設定したり、字幕の言語や文字サイズなどを設定します。
拡大操作	画面を3回タップして拡大／縮小するかどうかを設定します。
大きい文字サイズ	文字サイズを大きくするかどうかを設定します。
電源ボタンで通話を終了※2	ⓞを押して通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	P.41
パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するかどうかを設定します。
満充電時に音を鳴らす	充電完了時に音で通知するかどうかを設定します。
ショートカット※3	ユーザー補助機能を起動するかどうかを設定します。
テキスト読み上げ	P.166
長押し感知までの時間	画面をロングタッチして操作するときの反応速度を設定します。

※1 日本語には対応しておりません。

※2「電源ボタンで通話を終了」がオンの状態で、通話中にスリープモードになった場合、音量キーを押すとスリープモードから復帰できます。

※3 ⓞを1秒以上押す▶2本の指で画面をロングタッチするとユーザー補助機能を起動できます。

❖お知らせ

- TalkBackのタッチガイド機能について
  TalkBackをオンにするとタッチガイド機能もオンになります。
  タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示したりすることができる機能です。
- タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本端末の操作ができます。項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップします。ドラッグする場合は、一度タップしてからダブルタップして、そのまま指を離さないで目的の方向へなぞります。
- タッチガイド機能のみをオフにする場合は、ホーム画面で⊞▶［設定］▶［ユーザー補助］▶［TalkBack］▶［設定］▶「タッチガイド」のチェックを外す▶［OK］をタップします。

印刷

クラウド プリント	Googleクラウド プリントを使用して、本端末から自宅や職場のプリンタに印刷できるように設定します。 • あらかじめGoogleアカウントを設定する必要があります（P.168）。

端末情報

ソフトウェア更新	P.206
Androidバージョンアップ	P.209
アプリケーション更新	新規アプリのダウンロードと更新ができます。
機器の状態	自分の電話番号や電池の状態、電池残量、電池性能などを確認できます。
法的情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約などを確認できます。
モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
プロセッサー情報	
Androidバージョン	
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時に、内部ストレージに作成されるフォルダは次のとおりです。

- 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	システムや各種アプリの設定データ、一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画が保存されます。
DeviceConfig	SONYコンフィギュレーションツールにて使用するフォルダです。
Download	ブラウザでダウンロードしたデータが保存されます。
Movies	動画（カメラで撮影したものを除く）が保存されます。
Music	音楽データが保存されます。
Notifications	通知音などが保存されます。
Pictures	静止画（カメラで撮影したものを除く）が保存されます。
Podcasts	Podcastのファイルなどが保存されます。
recovery	ソフトウェアアップデート時の更新パッケージが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。microSDカードは互換性のある他の機器でも使用できます。

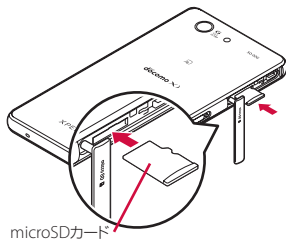
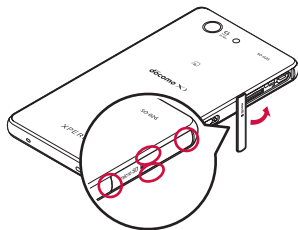
- 本端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、128GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2014年10月現在）。
- 対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化を行う必要があります（microSDXCカードのデータはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先やコピー元の機器の規格に準拠したカード（microSDHCカードやmicroSDカードなど）をご利用ください。

- 本端末が対応しているmicroSDカードのスピードクラスは最大クラス10、UHSスピードクラスはクラス1です。ただし、スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

microSDカードを取り付ける

- microSDカード挿入口カバーの開閉方法について（P.23）

1 **microSDカード挿入口カバーを開き、microSDカードの挿入方向を確認して、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくりと差し込む**

- microSDカードの金属端子面を下にして差し込みます。

2 **microSDカード挿入口カバーを閉じて、○部分をしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認**

microSDカードを取り外す

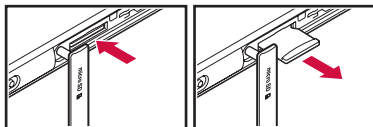
microSDカードは、必ずマウント（読み書き可能状態）を解除してから取り外してください。

- microSDカード挿入口カバーの開閉方法について（P.23）

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［ストレージ］▶［SDカードのマウント解除］▶［OK］

- マウント解除を行うと、ステータスバーに「SDカードのマウントを解除済み」と表示され、microSDカードが読み書きできなくなったことをお知らせします。

2 microSDカード挿入口カバーを開き、microSDカードをカチッと音がするまで奥へ押し込み、microSDカードをゆっくり引き抜く

- ステータスバーに「SDカードが取り外されています」と表示されます。

3 microSDカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認（P.173）

ファイル操作

「File Commander」アプリを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存されているデータを操作します。

1 ホーム画面で田▶［File Commander］

- File Commanderのホーム画面が表示されます。画面の左端を右にフリックすると、オプションメニューが表示されます。
- microSDカードを取り付けると、ホーム画面とオプションメニューに「SDカード」が表示されます。

2 項目を選択▶必要に応じてフォルダをタップ

3 ファイルをタップ

- 対応するアプリでデータが表示されます。
- をタップしてフォルダを追加したり、フォルダ／ファイルを選択してをタップして削除したりできます。

フォルダまたはファイルを移動／コピーする

フォルダまたはファイルを内部ストレージとmicroSDカード間でコピー／移動できます。

1 **ホーム画面で田▶［File Commander］**

2 **項目を選択▶必要に応じてフォルダをタップ**

3 **移動／コピーするフォルダまたはファイルにチェックを入れる**

4 **／**

5 **任意の場所で▶［貼り付け］**

データ検索

1 **ホーム画面で田▶［File Commander］**

2 **▶フォルダ名またはファイル名を入力**

3 **入力に従って表示される検索結果から、確認したいデータをタップ**

Bluetooth機能

Bluetooth機能は、パソコンやハンズフリーヘッドセットなどのBluetooth機器とワイヤレス接続できる技術です。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 対応しているBluetoothプロファイルについて（P.214）

❖お知らせ

- Bluetooth機能をオンにして本端末の電源を切ると、Bluetooth機能もオフになります。再度電源を入れると、Bluetooth機能は自動的にオンになります。
- 使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth機能をオフにしてください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth対応機器と無線LAN対応機器は、約10m以上離してください。
- 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

本端末を検出可能にする

1　ホーム画面で田▶［設定］

2　Bluetoothの OFF をタップまたは右にドラッグ

- がステータスバーに表示されます。

3　［Bluetooth］▶［Xperia Z3 Compact］

オプションメニューを利用する

1　ホーム画面で田▶［設定］▶［Bluetooth］▶ ⋮

機器の名前を変更	他のBluetoothデバイスに表示される本端末の名前を変更します。
検出可能時間の設定	他のBluetoothデバイスから本端末が検出可能な時間を設定します。
受信済みファイルを表示	他のBluetoothデバイスとの転送履歴を表示します。

Bluetoothデバイスとペア設定する

本端末とBluetoothデバイスを接続するには、ペア設定が必要です。

- 一度ペア設定を行うと、ペア設定情報は記録されます。
- ペア設定を行うときに、パスコード（PIN）の入力が必要になる場合があります。本端末のパスコード（PIN）は「0000」です。「0000」を入力してもペア設定できない場合は、Bluetoothデバイスの取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［Bluetooth］▶［機器の検索］

2 ペア設定を行うBluetoothデバイス名をタップ▶「ペア設定リクエスト」画面でパスコードを確認▶［ペア設定する］

■ 他のBluetoothデバイスから接続要求を受けた場合

「ペア設定リクエスト」画面でパスコードを確認し、［ペア設定する］をタップします。

❖**お知らせ**

- ペア設定を行うデバイス側で、Bluetooth機能およびBluetooth検出機能がオンになっていることを確認してください。
- ペア解除する場合は、解除するBluetoothデバイス名の✕▶［ペアを解除］をタップします。

Bluetoothデバイスと接続する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［Bluetooth］▶［機器の検索］

2 接続したいBluetoothデバイス名をタップ

❖**お知らせ**

- 接続中のBluetoothデバイス名の✕をタップすると、接続したBluetooth機器の状態を確認したり、設定を変更したりすることができます。
- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる台数が異なる場合があります。

Bluetoothデバイスの接続を解除する

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［Bluetooth］

2 接続中のBluetoothデバイス名をタップ

3 ［OK］

- 再接続するときは、Bluetoothデバイス名をタップします。

Bluetooth機能でデータを送受信する

あらかじめ、Bluetooth機能をオンにして、相手のBluetoothデバイスとペア設定を行ってください。

データを送信する

1 各アプリの共有メニューで［Bluetooth］

2 送信する相手のBluetoothデバイスをタップ

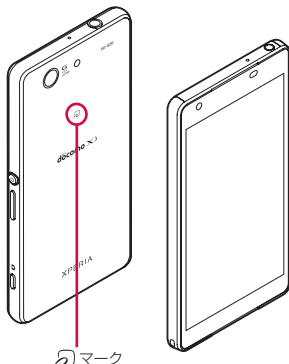
データを受信する

1 相手のBluetoothデバイスからデータを送信

- ステータスバーに が表示されます。

2 ステータスバーを下にドラッグ▶［Bluetooth：ファイル着信］▶［受信］

NFC通信

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間でデータを送信／受信できます。

- データを送信／受信するにはあらかじめNFCのReader/Writer, P2P機能をオンにしてください（P.179）。
- 2台の携帯電話を平行にして マークを向かい合わせ、送信／受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送信／受信の操作や送信／受信できるデータについては、対応するアプリによって異なります。画面の指示に従って操作してください。

- データの送信／受信時に利用規約画面などが表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- マークを向かい合わせても、送信／受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送信／受信の操作を再度行ってください。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。
- 対向機にかざす際の注意事項について（P.107）

NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにする

1 ホーム画面で▶［設定］▶［その他の設定］

2 ［NFC／おサイフケータイ 設定］▶「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる▶［OK］

- 「Reader/Writer, P2P」「Androidビーム」にチェックが入ります。
- ステータスバーにが表示されます。

❖お知らせ

- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中は、NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにできません。

ワンタッチ機能でデータを送信／受信する

NFCを搭載したAndroid機器との間でAndroidビームを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本端末で撮影した写真や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

- あらかじめ、NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにしてください（P.179）。

データを送信する

1 送信したいデータを画面に表示させる

2 受信側の端末と、マークを向かい合わせる

- 「タップしてビーム」と表示されます。

3 小さくなった画面をタップ

データを受信する

1 送信側の端末で、データ送信の操作を行う

2 送信側の端末と、マークを向かい合わせる

- データを受信すると、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶［ビームが完了しました］をタップすると、受信データに対応したアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。

NFC Typeを選択する

1. ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］
2. ［NFC／おサイフケータイ設定］▶［NFC Type設定］
3. ［FeliCa/Type A/Type B（標準）］／［FeliCa/Type A］／［FeliCa/Type B］のいずれかをタップ

パソコンとの接続

パソコンを接続すると、内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンとやり取りできます。

❖お知らせ

- 表示される画面はパソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。
- 著作権で保護された画像や音楽などは操作ができない場合があります。

microUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

- 以下のオペレーティングシステム（OS）に対応しています。
  - Microsoft Windows 8／8.1
  - Microsoft Windows 7
  - Microsoft Windows Vista
- お買い上げ時は「メディア転送モード（MTP）」でパソコンに接続されます。
- ファイル転送モード（MSC）などを使用するには、microSDカードを本端末に取り付けてご利用ください（P.173）。
- パソコンに接続すると自動的に充電を開始します。

1 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続（P.35）

- 初めてmicroUSB接続ケーブルを接続したときは、パソコンに本端末のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。
- 本端末上に「ソフトウェアをインストール」画面が表示されたら、［スキップ］または［キャンセル］をタップしてください。

■ メディア転送モード（MTP）の場合

パソコン上の画面に本端末がポータブルデバイスとして表示され、本端末の内部ストレージおよびmicroSDカードにアクセスできるようになります。

■ ファイル転送モード（MSC）の場合

パソコン上の画面に本端末がリムーバブルディスクとして表示され、本端末のmicroSDカードにアクセスできるようになります。

❖お知らせ

- ホーム画面で田▶［設定］▶［Xperia™接続設定］▶［USB接続設定］をタップすると、USB接続モードの接続状態の確認や次の接続設定を変更できます。

ソフトウェアをインストール	パソコン接続時にソフトウェアのインストールウィザードを表示します。
USB接続モード	パソコン接続時のUSB接続モードを切り替えます。
ワイヤレスメディア転送	Wi-Fiネットワーク経由でホストとなる機器とペア接続します（P.182）。

- 「USB接続モード」を「ファイル転送モード（MSC）」に切り替えてパソコンに接続しているときは、本端末側でmicroSDカードにアクセスできなくなります。そのため、「カメラ」「アルバム」などのアプリで、microSDカードを使用する機能が利用できない場合があります。

microUSB接続ケーブルを安全に取り外す

- データ転送中にmicroUSB接続ケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

■ メディア転送モード（MTP）の場合

1 データ転送中でないことを確認し、microUSB接続ケーブルを取り外す

■ ファイル転送モード（MSC）の場合

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 [SDカードが接続されました]

3 microUSB接続ケーブルを取り外す

Wi-Fi上でパソコンを接続する

ペア設定したパソコンとWi-Fi上で自動的に接続され、パソコンから本端末の内部ストレージやmicroSDカードのファイルにアクセスできるようになります。

- パソコンのOSは、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7またはMicrosoft Windows 8／8.1である必要があります。その他のOSではペア設定できません。
- Microsoft Windows 8.1の場合は、本端末をパソコンから取り外した状態でPC Companionの「接続方法」をクリックし、表示される画面の指示に従って操作してください。
  PC Companionについては、下記のホームページをご参照ください。
  http://www.sonymobile.co.jp/support/

Wi-Fiネットワーク内のパソコンとペア設定する

1 ペア接続したいパソコンを、Wi-Fiネットワークに接続

2 本端末を、パソコンが接続されたWi-Fiネットワークに接続（P.144）

3 **本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続**

- 本端末上に「ソフトウェアをインストール」画面が表示されたら、［スキップ］または［キャンセル］をタップしてください。

4 **パソコンで「コンピューター」画面を表示▶ポータブルデバイスとして表示されている本端末のアイコンを右クリック▶「ネットワーク構成」▶「次へ」**

5 **本端末のポップアップ画面で［ペア］**

6 **パソコンの「ポータブルデバイスのネットワーク構成」画面で「完了」**

- microUSB接続ケーブルを本端末とパソコンから取り外します。

❖**お知らせ**

- Wi-Fiネットワーク（アクセスポイント）のプライバシーセパレータ機能が有効になっている場合はペア接続ができません。

Wi-Fiネットワーク内のパソコンと接続する

1 **本端末のホーム画面で田▶［設定］▶［Xperia™接続設定］▶［USB接続設定］▶「ワイヤレスメディア転送」欄の「ホスト名」（パソコン名）をタップ**

2 **［接続］**

- Wi-Fiネットワーク上でパソコンと本端末が「メディア転送モード（MTP）」で接続され、ファイルをやり取りできるようになります。
- 接続を切断するには、［切断］をタップします。

❖**お知らせ**

- Wi-Fiネットワークのエリア内外で接続／切断を繰り返しても、ペア設定は解除されません。ペア設定を解除するには、接続を切断した後に「ホスト名」（パソコン名）▶［ペア設定を解除］▶［OK］をタップします。

DLNA機器との接続

Wi-Fi機能を利用して、他のクライアント（DLNA：Digital Living Network Alliance）機器と本端末のメディアファイルを共有し再生できます。

- あらかじめ他のDLNA機器と同一のWi-Fiネットワークで接続（P.144）を設定しておきます。

メディアサーバーを設定する

1 **ホーム画面で田▶［設定］▶［Xperia™接続設定］▶［メディアサーバー設定］**

2 **メディア共有の OFF をタップまたは右にドラッグ**

- ステータスバーにが表示されます。
- ［サーバー名の変更］をタップすると、DLNA機器上に表示される本端末（メディアサーバー）の名前を変更できます。
- 「Xperia™にアップロード」にチェックを入れると、DLNA機器から本端末にメディアファイルをアップロードできます。

3 **DLNA機器のアプリで本端末へ接続**

- 本端末にメディアサーバーへのアクセス要求が通知されます。

4 **本端末のメディアサーバー設定画面でアクセス許可待ちのDLNA機器をタップ▶アクセスレベルを設定**

- DLNA機器が登録されます。
- ［今回のみ許可］をタップした場合は、表示されるメッセージを確認▶［OK］をタップします。

5 **DLNA機器で本端末のメディアファイルを選択して再生**

DLNA機器のメディアファイルを本端末で再生する

本端末でDLNA機器のメディアファイルを再生します。

1 **ホーム画面で［アルバム］／［Walkman］**

- 「ムービー」のファイルを再生するには、ホーム画面で田▶［ムービー］をタップします。

2 **画面の左端を右にフリック▶［機器］▶デバイスを選択**

3 **フォルダを選択▶メディアファイルを選択**

本端末のメディアファイルをDLNA機器で再生する

Throw機能を使って、本端末のメディアファイルをDLNA機器で再生することができます。

1 **ホーム画面で［アルバム］／［Walkman］**

- 「ムービー」のファイルを再生するには、ホーム画面で田▶［ムービー］をタップします。

2 **再生したいファイルをタップ▶⋮▶［Throw］**

3 デバイスの一覧画面に表示されたデバイスをタップ

その他機器との接続

テレビに接続する

テレビに接続すると、TV Launcherが起動して、写真や動画などをテレビ画面に表示できます。

1 市販のMHLケーブルでテレビに接続

- 自動的にTV launcherが起動します。TV launcherが自動的に起動しない場合は、ステータスバーに、MHLが表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶［TV launcher］をタップすると、TV launcherが起動します。

2 テレビをMHL入力のモードに切り替える

3 アイコンを左右にフリック▶使用したいアプリを選択

❖**お知らせ**

- HDMI対応テレビと接続する場合は、市販のHDMI変換コネクタ（MHL変換アダプタ）とHDMIケーブルが必要です。
- MHL接続利用時には、お客様の利用環境によって電波状態に影響がでる場合があります。
- MHL接続を使用しないときはMHLケーブルやHDMI変換コネクタなどを本端末から取り外し、MHL接続を解除してください。MHL接続されたままだと電池の消耗が早くなる場合があります。
- 本端末では、MHLによるテレビ出力において、解像度720×576p（50Hz）はサポートしておりません。
- 次の機器と接続することで、テレビのリモコンを使用してTV launcher画面やホーム画面を操作できます。また、アプリによってはテレビのリモコンで操作できるものもあります。
  - リモコン操作制御規格（RCP）をサポートしているMHL対応テレビ
  - リモコン操作制御規格（CEC）をサポートしているHDMI対応テレビ（RCP対応の市販HDMI変換コネクタ（MHL変換アダプタ）が必要）
- テレビのリモコンでの操作方法を確認するには、MHL接続時にステータスバーを下にドラッグ▶［MHL接続］▶［TVリモコンの使用方法］をタップします。

国際ローミングサービス（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応ネットワークについて

本端末は、クラス5になります。LTEネットワークおよび3Gネットワーク、GSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

■ 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの「国際サービスホームページ」

❖お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM（GPRS）	LTE
電話	○	○	○	×※2
メッセージ（SMS）	○	○	○	○
メール※1	○	○	○	○
ブラウザ※1	○	○	○	○

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、モバイルネットワーク設定の「データローミング」にチェックを入れてください（P.188）。

※2 電話は3Gでのご利用となります。

❖お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

海外でご利用になる前の確認事項

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、ACアダプタ 03／04／05（別売品）をご利用ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります（P.85）。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます（P.193）。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

「モバイルネットワーク」で「通信事業者」の「検索モード」を「自動」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します（P.188）。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

データローミングの設定

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］

2 「データローミング」にチェックを入れる▶注意文を読んで［OK］

通信事業者の設定

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［通信事業者］

- 注意文が表示された場合は、［OK］をタップします。

2 ［検索モード］▶［手動］

- ［ネットワークを検索］をタップすると、利用可能なネットワークが表示されます。

3 「利用可能なネットワーク」の中から使用するネットワークにチェックを入れる

❖**お知らせ**

- ネットワーク検索ができない場合は、モバイルデータ通信（P.146）を無効にしてから再度検索してください。
- ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。
- 「自動」に戻す場合は、手順2で［自動］をタップします。

ネットワークモードの設定

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［ネットワークモード］

2 ［LTE/3G/GSM（自動）］／［LTE/3G］／［3G/GSM］／［3Gのみ］／［GSMのみ］のいずれかをタップ

- 「LTE/3G/GSM（自動）」を選択すると、利用できるネットワークを自動的に切り替えます。

ディスプレイの表示について

国際ローミング中は、がステータスバーに表示されます。

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

❖注意

- ステータスバーにが表示中は、パケット通信の利用が可能となりますが、パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

日付と時刻について

「日付と時刻」の「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」にチェックを入れている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻の設定について（P.169）

お問い合わせについて

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

海外に到着後、本端末の電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。
- 電池の残量および受信レベルが十分であることを確認してください。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されなかったりすることがあります。
  この場合、発着信履歴から電話をかけることはできません。

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から電話をかけることができます。
- 先頭に「+」を付けてから相手先の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国へ簡単に国際電話をかけることができます。

1 **ホーム画面で ▶「ダイヤル」タブをタップ**

2 **+（[0] をロングタッチ）▶国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力**
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3
- 国際ダイヤルアシストの「自動変換機能」にチェックが入っている場合（P.193）は、発信時に「国際ダイヤルアシスト」画面が表示されます。日本に発信する場合は［通話］をタップします。

4 **通話が終了したら［通話終了］**

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で▶「ダイヤル」タブをタップ

2 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）＋相手先電話番号を入力します。

3

- 「国際ダイヤルアシスト」画面が表示された場合は［元の番号で発信］をタップします。

4 通話が終了したら［通話終了］

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して、電話を受けることができます。

1 着信時に（左）を（右）にドラッグ

2 通話が終了したら［通話終了］

❖お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際電話アクセス番号 - 81 - 90（または80、70）- XXXX - XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定や、国際電話を利用するための設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で▶

2 ［通話設定］▶［海外設定］

ローミング時着信規制	国際ローミング中に着信を規制するかどうかを設定します。
ローミング着信通知	国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合に、SMSで通知するかどうかを設定します。
ローミングガイダンス	国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするかどうかを設定します。
国際ダイヤルアシスト	P.193
ネットワークサービス	P.193

国際ダイヤルアシストの設定

1 **ホーム画面で📞▶︙**

2 **［通話設定］▶［海外設定］**

3 **［国際ダイヤルアシスト］**

自動変換機能	国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
国番号	［OK］▶自動変換機能で使用される国番号を選択します。
国際プレフィックス	［OK］▶自動変換機能で使用される国際プレフィックスを選択します。

ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります（P.85）。
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 **ホーム画面で📞▶︙**

2 **［通話設定］▶［海外設定］**

3 **［ネットワークサービス］▶目的のサービスを選択**

遠隔操作（有料）	遠隔操作を開始するかどうかを設定します。
番号通知お願いサービス（有料）	番号通知お願いサービスを開始するかどうかを設定します。
ローミング着信通知（有料）	ローミング着信通知を開始するかどうかを設定します。
ローミングガイダンス（有料）	ローミングガイダンスを開始するかどうかを設定します。
留守番電話サービス（有料）	留守番電話サービスを開始するかどうかを設定します。 目的の操作を選択してください。
転送でんわサービス（有料）	転送でんわサービスを開始するかどうかを設定します。 目的の操作を選択してください。

4 **［OK］▶音声ガイダンスに従って操作**

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「ネットワークモード」を「LTE/3G/GSM（自動）」に設定してください（P.189）。
- 「通信事業者」の「検索モード」を「自動」に設定してください（P.188）。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.206、P.212）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

本端末の電源が入らない

- 電池切れになっていませんか。→P.31

画面が動かなくなり、電源が切れない

- 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合は、ドコモnanoUIMカード挿入口カバーを開く▶黄色のOFFボタンを約3秒間押し、本端末が3回振動した後に離すと本端末の電源を強制的に切ることができます。⏻と音量キーの上を同時に約3秒間押し、3回振動した後に指を離しても本端末の電源を強制的に切ることができます。
  ※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

充電ができない（通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない）

- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P.34
- ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末や付属の卓上ホルダと正しく接続されていますか。→P.32、P.34
- 卓上ホルダを使用する場合、本端末の卓上ホルダ用接触端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- microUSB接続ケーブル 01（別売品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して通知LEDが消灯する（充電が停止する）、充電が完了しない、または電池残量が減少する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

通知LEDが赤色に点滅し、操作ができない

- 電池残量が少ない場合は充電してください。→P.31

■ 端末操作

操作中・充電中に熱くなる

- 通話中に、電波環境や通話時間によっては受話口／スピーカー周辺が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 操作中や充電中、充電しながらワンセグ視聴や動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが熱くなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。
  圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.31
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の使用時間が次第に短くなっていきます。
  十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P.36
- 画面ロックを設定していませんか。→P.164
- 優先アプリを「Xperia™」に設定しているときに、ロック画面で上下左右にフリック（スワイプ）しても画面ロックを解除できない場合は、TalkBackのタッチガイド機能をオンにしている可能性があります。TalkBackのタッチガイド機能をオンにしている場合は、2本の指で画面を上下左右にフリック（スワイプ）してください。→P.170
- 「手ぶくろモード」をオンにしているときに、手袋をした指を垂直に立てて操作すると動作しにくい場合があります。指を寝かせて指の腹をタッチスクリーンに接触させて操作してください。→P.155

タップしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い

- 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに起きる場合があります。

ドコモnanoUIMカードが認識されない

- ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.29

時計がずれる

- 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」にチェックが入っているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。→P.169

端末動作が不安定

- お買い上げ後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時の状態に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
  セーフモードを起動するには、電源を切った状態で ⓟ を1秒以上押し、XPERIAロゴが表示されたら音量キーの下を長く押し続けてください。セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。
  セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
  電源を入れている状態で ⓟ を1秒以上押す▶［電源を切る］をロングタッチ▶［OK］をタップしても、本端末を再起動してセーフモードで起動できます。

※セーフモードを起動するときは、事前に必要なデータをバックアップしてください。

※お客様ご自身で作成したウィジェットが消去される場合があります。

※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。

アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）

- 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→P.159

■ 通話

📞をタップしても発信できない

- 機内モードを設定していませんか。→P.148

着信音が鳴らない

- 音量の「着信音と通知音」を最小にしていませんか。→P.155
- 次の機能を起動していませんか。
  - マナーモード→P.41
  - 機内モード→P.148
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼び出し時間を0秒にしていませんか。→P.84
- 伝言メモの応答時間設定を0秒にしていませんか。→P.83
- 着信拒否の設定をしていませんか。→P.84、P.85

通話ができない（場所を移動しても の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを取り付け直してください。→P.29、P.36
- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否の設定をしていませんか。→P.84、P.85
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

ディスプレイが暗い

- スリープを短い時間で設定していませんか。→P.155
- 画面の明るさを変更していませんか。→P.156
- 画面の明るさの「明るさを自動調整」にチェックを入れている場合は、周囲の明るさに応じて画面の明るさが変わります。→P.156
- 電源管理の低バッテリーモードをオンにしていませんか。→P.158
- 近接センサーをシールなどでふさいでいませんか。→P.28
- 使用中に本端末の温度が高くなるとディスプレイが暗くなる場合がありますが、異常ではありません。

■ 音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 通話音量を変更していませんか。→P.81
- 通話音質を設定すると通話中の音質を調整できます。→P.85
- スピーカー音拡張設定、ゆっくりモードをオンにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P.85

■ メール

メールを自動で受信しない

- Eメールアカウントの設定で「確認頻度」を「手動」に設定していませんか。→P.97

■ カメラ

カメラで撮影した写真や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないか、フィルムを貼り付けていないかを確認してください。
- 撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に切り替えてください。→P.118

- 撮影モードが「マニュアル」のときは、フォーカスモードを利用してもピントを合わせることができます。→P.124
- 手ブレ補正／電子式手ブレ補正を設定して撮影してください。→P.125
- 人物を撮影するときは、「顔検出」を使用してください。→P.129

フラッシュ撮影時に写真や動画が白っぽくなる

- カメラレンズ周辺に指やカバーがあると、フラッシュの光が反射して撮影した写真や動画に悪影響を与える場合があります。

■ ワンセグ

ワンセグの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い場所にいませんか。
- 現在地のチャンネルを登録していますか。→P.113

■ おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない

- おまかせロックを起動すると、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→P.107
- 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P.107

■ 海外利用

海外で本端末が使えない（ が表示されている場合）

- WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
  WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

海外で本端末が使えない（ が表示されている場合）

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。
  -「ネットワークモード」を「LTE/3G/GSM（自動）」に設定してください。→P.189
  -「通信事業者」の「検索モード」を「自動」に設定してください。→P.188
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P.36

海外でデータ通信ができない

- 「データローミング」にチェックを入れてください。→P.188

海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

- 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

海外で電話がかかってこない

- 「ローミング時着信規制」を「規制開始」に設定していませんか。→P.192

相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

データ転送が行われない

- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない

- microSDカードを取り付け直してください。→P.173

画像表示しようとすると「×」が表示される

またはデモやプレビューで「×」が表示される

- 画像データが壊れている場合は「×」が表示されることがあります。

■ Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

- Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P.177

カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

- 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS機能

オートGPSサービス情報が設定できない

- 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。
  「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、充電をすることで設定できるようになります。→P.31、P.160
- 「オートGPS動作設定」にチェックが入っていますか。→P.160

エラーメッセージ

● **通信サービスなし**

- サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
- ドコモnanoUIMカードが正しく機能していません。
  ドコモnanoUIMカードを別の端末に挿入してください。機能するのであれば、問題の原因は本端末にあると考えられます。この場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
  ドコモnanoUIMカードを取り付け直すことで改善する可能性があります。

● **モバイルネットワークが利用できません**

ドコモnanoUIMカードを正しく取り付けて（P.29）、電波の届く場所まで移動してください。

● **通常の通話はアクセス制御によって制限されています。**

回線の混雑などにより通常通話音声サービスが受けにくい場合に表示されます。

● **緊急通話はアクセス制御によって制限されています。**

回線の混雑などにより緊急通話音声サービスが受けにくい場合に表示されます。

● **アクセス制御による通話制限です**
回線の混雑などにより通常／緊急通話音声サービスが受けにくい場合に表示されます。

● **アクセス制限が変更されました**
音声サービスやデータサービスが受けられない場合に表示されます。

● **SIMカードはロックされています**
PINコード（P.163）を正しく入力してください。

● **SIMカードはPUKでロックされています**
PUK（PINロック解除コード）（P.164）を正しく入力してください。

● **PINロック解除コードがロックされています**
PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

● **空き容量低下**
本端末のメモリの空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリが動作しない場合があります。設定画面を起動して不要なアプリを選択し、[アンインストール]をタップしてアプリを削除（P.159）してください。

● **メモリーがいっぱいです。**
microSDカードの空き容量がありません。不要なデータを削除（P.174）して容量を確保してください。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモnanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話
0120-783-360
受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）
- 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で田▶［遠隔サポート］▶［このスマートフォンから発信する］▶をタップします。

2 ホーム画面で田▶［遠隔サポート］
- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 **［遠隔サポートの接続画面に進む］▶［同意する］**

4 **ドコモからご案内する接続番号を入力**

5 **接続後、遠隔サポートを開始**

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.195）をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※修理の際は、当社の品質基準を満たした再利用部品を使用することがあります。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（microUSB接続端子・ヘッドセット接続端子・液晶などの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子・ヘッドセット接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

  ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- **本端末および付属品の改造はおやめください。**
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- **本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。**
  - 銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- **各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。**
- **修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。**
- **本端末の以下の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。**
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口／スピーカー
- **本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。**

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

SO-02Gのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。

- 更新方法は、以下の3種類があります。
  - 自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
  - 即時更新：今すぐ更新を行います。
  - 予約更新：予約した時刻に自動的に更新します。

❖お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ソフトウェア更新のご利用にあたって

- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき※
  - 国際ローミング中※
  - 機内モード中※
  - テザリング中
  - Androidバージョンアップ中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量が不足するとき
  - ソフトウェア更新に必要な本端末のメモリの空き容量が不足するとき
  - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき

  ※ Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い場所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。

- ソフトウェア更新が不要な場合は、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは「ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません」または「ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であっても書換え処理を開始できません」と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたメッセージ（SMS）は、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSO-02G固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、端末が起動しなくなることや、ソフトウェア更新に失敗したことを示すメッセージが表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

ソフトウェアの自動更新を設定する

- お買い上げ時は、自動更新の設定が「自動で更新を行う」に設定されています。

1 **ホーム画面で田▶［設定］▶［端末情報］▶［ソフトウェア更新］**

2 **［ソフトウェア更新設定の変更］**

3 **［自動で更新を行う］／［自動で更新を行わない］**

ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに⊕が表示されます。

- ⊕が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われます。

1 **ステータスバーを下にドラッグ▶ソフトウェア更新の通知をタップ**

- 書き換え予告画面が表示されます。

2 目的の操作を行う

- 「OK」：ホーム画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。
- 「開始時刻変更」：予約更新→「ソフトウェアの予約更新」（P.208）
- 「今すぐ開始」：即時更新→「ソフトウェアの即時更新」（P.208）

❖お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーにが表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新の設定が「自動で更新を行わない」に設定されている場合や、ソフトウェアの即時更新を実行中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法と設定メニューから起動する方法があります。

1 ホーム画面で田▶［設定］▶［端末情報］▶［ソフトウェア更新］

2 ［更新を開始する］▶［はい］

- 書き換え予告画面から起動する場合は、書き換え予告画面を表示▶［今すぐ開始］をタップします。

3 書き換えを開始する旨のメッセージが表示された後、約10秒後に自動的に書き換え開始

- ［OK］をタップすると、すぐに書き換えが開始されます。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると本端末が再起動し、ホーム画面が表示されます。

❖お知らせ

- ソフトウェア更新の必要がないときは、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。

■ ソフトウェア更新完了後の表示

ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶通知をタップすると、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。

ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておきます。

1 書き換え予告画面を表示▶［開始時刻変更］

2 時刻を設定▶［設定］

■ 予約の時刻になると

開始時刻になると書き換えを開始する旨のメッセージが表示された後、約10秒後に自動的に書き換えが開始されます。

❖お知らせ

- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- Androidバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にSO-02Gの電源が切れている場合、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに ❗（ソフトウェア更新中断 本体メモリの空き領域をご確認のうえ、再度更新を行ってください）が表示された場合には、本端末のメモリの空き容量を確認し、再度ソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに ❗（ソフトウェア更新中断 端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください）が表示された場合は、以下の状態でないことを確認し、再度ソフトウェア更新を行ってください。
  - 圏外
  - 他機能との競合

Androidバージョンアップ

Androidバージョンアップについて

本端末のAndroidバージョンアップが必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、Androidバージョンを更新する機能です。
Androidバージョンアップが必要な場合には、ステータスバーの（Androidバージョンアップ）やドコモのホームページにてご案内いたします。
バージョンアップにより、次の内容が本端末に適用されます。

- 機能の向上、追加
- 操作性の向上
- 品質改善
- セキュリティパッチの最新化

本端末を安全でより快適にご利用いただくため、必ず最新バージョンへの更新をお願いいたします。

❖お知らせ

- Androidバージョンアップは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

注意事項

- バージョンアップを行うと、以前のAndroidバージョンへ戻すことはできません。
- 本端末の電池残量がフル充電の状態で行ってください。
- パケット通信を利用したバージョンアップにはドコモnanoUIMカードが必要です。なお、パケット通信を利用した場合、spモードの契約が必要です。
- Wi-Fi環境下でバージョンアップを行う場合は、ドコモnanoUIMカードは必要ありません。
- バージョンアップを行う前に、すべてのアプリを終了してください。更新中に他のアプリが起動した場合、Androidバージョンアップを中断することがあります。
- バージョンアップ中は電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は電話の発着信を含め、本端末のすべての機能をご利用いただけません。
- 次の場合はバージョンアップができません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - 親機としてテザリングをしているとき
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - 必要な電池残量が不足するとき
  - 本体メモリに必要な空き容量が不足するとき
  - ソフトウェア更新中
- バージョンアップには時間がかかることがあります。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、「Wi-FiまたはFOMA／Xiの電波が受信できない場所では書き換え処理を開始できません」と表示されます。
- バージョンアップを行うと、一部の設定が初期化されますので、再度設定を行ってください。
- バージョンアップの際、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的に当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、Androidバージョンアップ以外の目的には利用いたしません。

- バージョンアップに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。

Androidバージョンを更新する

■ 通知を受けてバージョンアップする場合

1 ステータスバーに（Androidバージョンアップ）が表示されたら、ステータスバーを下にドラッグ▶［バージョンアップできます］

- ［インストール］をタップすると、本端末へインストールできるようになります。

■ 手動でバージョンアップする場合

1 ホーム画面で▶［設定］▶［端末情報］▶［Androidバージョンアップ］

- バージョンアップが可能である場合は実施方法を選択する画面が表示されます。

2 実施方法を選択

- 「今すぐ実施（Wi-Fiのみ）」：Wi-Fi接続により、即時に更新ファイルをダウンロードします。
  「ダウンロードしてインストール」または「ダウンロードのみ」※1のどちらかを選択し、インストールまで完了すると、本端末が再起動します。
- 「予約して実施（Wi-Fi／Xi）」※2：Wi-Fi接続またはXi／FOMAにより、自動的に設定された時刻に更新ファイルをダウンロードします。
  「ダウンロードしてインストール」または「ダウンロードのみ」※1のどちらかを選択し、インストールまで完了すると、本端末が再起動します。

※1 更新ファイルの「ダウンロードのみ」を選択した場合、更新ファイルのダウンロードが完了すると、本端末へインストールができるようになります。

※2 Xi／FOMAによるダウンロードができない場合、「予約して実施（Wi-Fiのみ）」と表示されます。

❖お知らせ

- 本端末のソフトウェアが最新の場合には、「バージョンアップの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。
- ダウンロードが途中で中断すると、それまでダウンロードしたデータは最長14日間保持されます。ダウンロードを再開する場合は、通知パネルの（ダウンロードが中断されました）から再開できます。

- 「予約して実施（Wi-Fi／Xi）」を選択した場合、ダウンロードの時刻は自動的に設定されます。開始時刻の変更はできません。自動で設定された時刻にダウンロードされたくない場合は、［Androidバージョンアップ］▶［戻る］をタップしてダウンロード予約を取り消してください。更新ファイルをダウンロードするときは、ホーム画面で田▶［設定］▶［端末情報］▶［Androidバージョンアップ］▶［今すぐ実施（Wi-Fiのみ）］をタップしてください。

アプリのアップデート

- 通知アイコンから
  バージョンアップ完了後、本端末が再起動し、通知アイコン（バージョンアップを完了しました）が表示されます。
  ステータスバーを下にドラッグ▶［バージョンアップを完了しました］▶［OK］をタップし、アップデート一覧で更新確認を行ってください。
- Playストアから
  ホーム画面で［Playストア］▶［Playストア］▶［マイアプリ］をタップし、各アプリの更新確認を行ってください。

❖お知らせ

- アプリに更新がある場合、アプリ更新を行わないと動作が不安定になったり、機能が正常に動作しなくなったりする場合があります。
- 各アプリのOSバージョン対応状況については、アプリの提供元にご確認ください。

パソコンに接続して更新する

あらかじめパソコンに「ソフトウェア更新」を行うためのソフトウェアをインストールする必要があります。
ソフトウェアのインストール方法などについては、下記のホームページをご参照ください。
http://www.sonymobile.co.jp/support/

主な仕様

■ 本体

<table>
<tr><td>品名</td><td colspan="2">SO-02G</td></tr>
<tr><td>サイズ</td><td colspan="2">高さ約127mm×
幅約65mm×
厚さ約8.6mm</td></tr>
<tr><td>質量</td><td colspan="2">約129g</td></tr>
<tr><td>内蔵メモリ</td><td colspan="2">ROM：16GB
RAM：2GB</td></tr>
<tr><td>外部メモリ対応</td><td colspan="2">microSD 2GBまで
microSDHC 32GBまで
microSDXC 128GBまで対応（2014年10月現在）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">連続待受時間</td><td>FOMA／3G</td><td>静止時（自動）：約800時間</td></tr>
<tr><td>GSM</td><td>静止時（自動）：約620時間</td></tr>
<tr><td>LTE</td><td>静止時（自動）：約650時間</td></tr>
<tr><td rowspan="3">連続通話時間</td><td>FOMA／3G</td><td>約700分</td></tr>
<tr><td>GSM</td><td>約650分</td></tr>
<tr><td>VoLTE通話（音声）</td><td>約990分</td></tr>
<tr><td>充電時間</td><td colspan="2">ACアダプタ 03：（単独）約205分、（卓上ホルダ SO24使用時）約205分
ACアダプタ 04：（単独）約165分、（卓上ホルダ SO24使用時）約165分
ACアダプタ 05：（単独）約155分、（卓上ホルダ SO24使用時）約155分
DCアダプタ 03：約230分
DCアダプタ 04：約165分</td></tr>
<tr><td>ワンセグ連続視聴時間</td><td colspan="2">約610分</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ディスプレイ</td><td>種類／発色数</td><td>TFT（Triluminos® Display for Mobile／トリルミナス®ディスプレイ for mobile）
16,777,216色</td></tr>
<tr><td>サイズ</td><td>約4.6inch</td></tr>
<tr><td>解像度</td><td>横720×縦1280ピクセル（HD）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">撮像素子</td><td>種類</td><td>カメラ：裏面照射積層型CMOS
フロントカメラ：裏面照射型CMOS</td></tr>
<tr><td>サイズ</td><td>カメラ：1/2.3inch
フロントカメラ：1/6.9inch</td></tr>
<tr><td>カメラ有効画素数</td><td colspan="2">カメラ：約2070万画素
フロントカメラ：約220万画素</td></tr>
<tr><td>カメラ記録画素数（最大時）</td><td colspan="2">カメラ：約2070万画素
フロントカメラ：約210万画素</td></tr>
</table>

ズーム	カメラ： （静止画）最大約8.0倍（31段階）、（動画）最大約8.0倍（31段階） フロントカメラ：―
静止画記録サイズ	カメラ： 5248×3936（20.7MP 4:3） 5248×2952（15.5MP 16:9） 3264×2448（8MP 4:3） 3840×2160（8MP 16:9） 2048×1536（3MP 4:3） 1920×1080（2MP 16:9） フロントカメラ： 1920×1080（2MP 16:9） 1600×1200（1.9MP 4:3）
動画記録サイズ	ビデオカメラ： 3840×2160（4K 16:9） 1920×1080（フルHD 16:9） 1280×720（HD 16:9） 640×480（VGA 4:3） フロントビデオカメラ： 1920×1080（フルHD 16:9） 1280×720（HD 16:9） 640×480（VGA 4:3）
フレームレート	タイムシフトビデオ：最大120fps マニュアル（フルHD）：最大60fps その他：最大30fps
無線LAN	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠（IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz）

Bluetooth	バージョン	4.0※1
	出力	power class 1
	見通し通信距離※2	約10m以内
	対応プロファイル／コーデック※3	HFP、HSP、OPP、SPP、HID、A2DP（aptX/SBC）、AVRCP、PBAP、PAN（PAN-NAP／PANU）、HDP、HOGP、MAP、DID
ヘッドセット接続端子	サイズ	直径3.5mm
	極数	5極

※1 本端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができなかったりする場合があります。

※2 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※3 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。
  また、通話やインターネット接続をしなくてもメールを作成したり、カメラやアプリを起動したりすると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 充電時間とは、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。低温時に充電すると、充電時間は長くなる場合があります。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.8V
公称容量	2600mAh

■ 卓上ホルダ SO24

入力	DC5.0V・DC9.0V 1.8A
出力	DC5.0V・DC9.0V 1.8A

■ ワンセグアンテナケーブル SO02

サイズ	長さ 約148mm
質量	約5g

■ ファイル形式（メディア）

本端末は次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種　類	ファイル形式
音	WAV（PCM、G.711）（.wav）、AAC（.3gp、.m4a、.mp4）、AAC+（.3gp、.m4a、.mp4）、eAAC+（.3gp、.m4a、.mp4）、MP3（.mp3）、AMR-NB（.3gp）、AMR-WB（.3gp）、MIDI（SP-MIDI/GM/GML（.mid）、XMF（.xmf）、Mobile XMF 1.0（.mxmf）、RTTTL/RTX（.rtttl、.rtx）、OTA（.ota）、iMelody（.imy））、Ogg Vorbis（.ogg）、FLAC（.flac）、PIFF（.isma）、WMA（.wma）、ALAC（.m4a）、DSD（.dsf、.dff）
静止画※	JPEG（.jpeg、.jpg）、GIF（.gif）、PNG（.png）、BMP（.bmp）、WEBP（.webp）
動画	H263（.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v）、H264（.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v、.mnv）、H265（.mp4）、MPEG4（.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v）、VP8（.webm、.mkv）、VP9（.webm）、Xvid（.avi、.xvid、.mkv）、PIFF（.ismv）

※ 本端末でのカメラ撮影時はJPEGで保存されます。

■ ファイル形式（ドキュメント）

本端末は次のバージョン／拡張子のファイルに対応しています。

種　類	バージョン／拡張子
Microsoft Word	Microsoft Word 97～2010／.doc、.docx、.rtf、.txt、.log、.docm、.odt
Microsoft Excel	Microsoft Excel 97～2010／.xls、.xlsx、.csv、.xlsm、.xlm、.ods
Microsoft PowerPoint	Microsoft PowerPoint 97～2010／.ppt、.pps、.pptx、.ppsx、.pptm、.ppsm、.odp
PDF	Ver1.4～1.7／.pdf

※ 一部のファイルでは、レイアウトが崩れるなど正常に閲覧できない場合があります。

■ ワンセグの録画時間（目安）

microSDカード（1GB）に保存できる録画時間	約320分

■ 写真の撮影枚数（目安）

内部ストレージに保存できる撮影枚数	最大約2600枚
microSDカード（1GB）に保存できる撮影枚数	最大約250枚

※ 解像度が3264×2448（8MP）、ファイルサイズが4MBの場合の撮影枚数です。

■ 動画の撮影時間（目安）

内部ストレージに保存できる撮影時間	1件あたり：最大約80分 合計：最大約80分
microSDカード（1GB）に保存できる撮影時間	1件あたり：約463秒 合計：約463秒

※ ビデオ解像度が1920×1080（フルHD）の場合の撮影時間です。

対応言語

■ 表示言語

日本語／インドネシア語／マレー語／スンダ語／ボスニア語／カタルーニャ語／チェコ語／デンマーク語／ドイツ語（ドイツ）／ドイツ語（リヒテンシュタイン）／ドイツ語（オーストリア）／ドイツ語（スイス）／エストニア語／英語（オーストラリア）／英語（カナダ）／英語（香港）／英語（インド）／英語（アイルランド）／英語（ジャマイカ）／英語（ニュージーランド）／英語（フィリピン）／英語（シンガポール）／英語（南アフリカ）／英語（イギリス）／英語（アメリカ）／スペイン語（アルゼンチン）／スペイン語（ボリビア）／スペイン語（チリ）／スペイン語（コロンビア）／スペイン語（コスタリカ）／スペイン語（エクアドル）／スペイン語（エルサルバドル）／スペイン語（スペイン）／スペイン語（アメリカ）／スペイン語

（グアテマラ）／スペイン語（ホンジュラス）／スペイン語（メキシコ）／スペイン語（ニカラグア）／スペイン語（パナマ）／スペイン語（パラグアイ）／スペイン語（ペルー）／スペイン語（プエルトリコ）／スペイン語（ドミニカ共和国）／スペイン語（ウルグアイ）／スペイン語（ベネズエラ）／バスク語／フランス語（ベルギー）／フランス語（カナダ）／フランス語（フランス）／フランス語（スイス）／ガリシア語／クロアチア語／アイスランド語／イタリア語（イタリア）／イタリア語（スイス）／ジャワ語／ラトビア語／リトアニア語／ハンガリー語／オランダ語（ベルギー）／オランダ語（オランダ）／ノルウェー語／ポーランド語／ポルトガル語（ブラジル）／ポルトガル語（ポルトガル）／ルーマニア語／アルバニア語／スロバキア語／スロベニア語／セルビア語／フィンランド語／スウェーデン語／タガログ語／ベトナム語／トルコ語／ギリシャ語／ブルガリア語／カザフ語／マケドニア語／ロシア語／アルメニア語／ウクライナ語／マラティ語／ヒンズー語／ベンガル語 （バングラデッシュ）／ベンガル語 （インド）／タミル語／テルグ語／カンナダ語／マラヤーラム語／タイ語／韓国語／中国語（繁体）／中国語（簡体）／中国語（香港）／アゼルバイジャン語／ベラルーシ語／グルジア語／タタール語

■ 文字言語（文字入力）

アイスランド語／アゼルバイジャン語／アラビア語／アルバニア語／アルメニア語／イタリア語／インドネシア語／インド英語／ウクライナ語／エストニア語／オランダ語／カザフ語／カタルーニャ語／ガリシア語／ギリシャ語／グルジア語／クロアチア語／ジャワ語／スウェーデン語／スペイン語／スロバキア語／スロベニア語／スンダ語／セルビア語／タイ語／タガログ語／タタール語／タミル語／チェコ語／デンマーク語／ドイツ語／トルコ語／ノルウェー語／バスク語／ハンガリー語／ヒンディー語／フィンランド語／フランス語／ブルガリア語／ベトナム語／ヘブライ語／ベラルーシ語／ペルシャ語／ポーランド語／ボスニア語／ポルトガル語／マケドニア語／マレー語／ラトビア語／リトアニア語／ルーマニア語／ロシア語／英語／中国語（繁体）／中国語（簡体）／日本語

■ 文字言語（音声入力）

日本語／アフリカーンス語／インドネシア語／マレー語／カタロニア語／ドイツ語／英語（オーストラリア）／英語（カナダ）／英語（標準）／英語（インド）／英語（ニュージーランド）／英語（南アフリカ）／英語（イギリス）／英語（アメリカ）／スペイン語（アルゼンチン）／スペイン語（ボリビア）／スペイン語（チリ）／スペイン語（コロンビア）

／スペイン語（コスタリカ）／スペイン語（アメリカ）／スペイン語（エクアドル）／スペイン語（エルサルバドル）／スペイン語（スペイン）／スペイン語（グアテマラ）／スペイン語（ホンジュラス）／スペイン語（メキシコ）／スペイン語（ニカラグア）／スペイン語（パナマ）／スペイン語（パラグアイ）／スペイン語（ペルー）／スペイン語（プエルトリコ）／スペイン語（ドミニカ共和国）／スペイン語（ウルグアイ）／スペイン語（ベネズエラ）／バスク語／フィリピン語／フランス語／ガリシア語／クロアチア語／ズールー語／イタリア語／ラテン語／ハンガリー語／オランダ語／ノルウェー語／ポーランド語／ポルトガル語（ブラジル）／ポルトガル語（ポルトガル）／ルーマニア語／スロバキア語／フィンランド語／スウェーデン語／ベトナム語／トルコ語／アイスランド語／チェコ語／ブルガリア語／ロシア語／セルビア語／ウクライナ語／ヘブライ語（イスラエル）／アラビア語（アラブ首長国連邦）／アラビア語（イスラエル）／アラビア語（エジプト）／アラビア語（カタール）／アラビア語（クウェート）／アラビア語（サウジアラビア）／アラビア語（ヨルダン）／アラビア語（レバノン）／アラビア語（バーレーン）／アラビア語（オマーン）／アラビア語（パレスチナ）／中国語、標準語（台湾、繁体）／中国語、標準語（中国、簡体）／中国語、標準語（香港、簡体）／中国語、広東語（香港、繁体）／韓国語

認証および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）について確認できます。

1. **ホーム画面で田▶［設定］**
2. **［端末情報］▶［法的情報］▶［認証］**

携帯電話機の比吸収率などについて

Mobile phone: GSM/GPRS/EDGE 850/900/1800/1900 & UMTS/HSPA B1/5/6/19 & LTE B1/3/19/21

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SO-02Gの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.72W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は1.01W/kg※2です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

ドコモのホームページ
https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 Xi／FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

Important Information United States

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

The SO-02G Series mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as

the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the important information chapter in the User Guide.
The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.71 W/kg*, and when worn on the body is 0.99 W/kg*. For body-worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
For devices which include “WiFi hotspot” functionality, SAR measurements for the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10 mm.
Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.

** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCCID PY7PM-0813.
Additional information on SAR can be found on the Mobile Manufacturers Forum EMF website at http://www.emfexplained.info/.

* In the United States, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Europe

This mobile phone model SO-02G has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.
For more information on SAR, please refer to the important information chapter in the User's Guide.
SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):
For body worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.
The highest SAR value for this model phone when tested by Sony for use at the ear is 0.72 W/kg (10g). In the case where the phone is worn on the body, the highest tested SAR value is 0.93 W/kg (10g).

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

■ Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C (+41°F) or above +35°C (+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +60°C (+140°F).

>60°C/140°F

- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the product.
- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product. Only Sony Mobile Communications Inc. authorised personnel should perform service.
- Consult with authorised medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipments.
- Discontinue use of electronic devices, or disable the radio transmitting functionality of the device, when required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place the product, or install wireless equipment, in the area above an air bag in a car.
- **Caution:** Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use the Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.

■ Children

Warning! Keep out of reach of children. Do not allow children to play with mobile phones or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that can be detached and create a choking hazard.

■ Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected, there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony Mobile Communications Inc. branded may pose increased safety risks.

■ Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C (+41°F) and +35°C (+95°F). Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Only Sony Mobile Communications Inc. service partners should remove or replace built-in batteries. Use of batteries that are not Sony Mobile Communications Inc. branded may pose increased safety risks. Replace the battery only with another Sony Mobile Communications Inc. battery that has been qualified with the product as per the standard IEEE-1725. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

■ Personal medical devices

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 15 cm (6 inches) between the phone and the device. Use the phone at your right ear. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

■ Driving

Some vehicle manufacturers forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that the mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

■ GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". Sony Mobile Communications Inc. does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

■ Emergency calls

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon mobile phones for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or phone features are used.

■ Antenna

Use of antenna devices not marketed by Sony Mobile Communications Inc. could damage the phone, reduce performance, and produce SAR levels above the established limits. Do not cover the antenna with your hand as this affects call quality, power levels and can shorten talk and standby times.

■ Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When the phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

For more information about SAR and radio frequency exposure, go to: *http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/*.

■ Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

■ Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony Mobile Communications Inc. does not warrant or represent that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

■ Accessories

Use only Sony Mobile Communications Inc. branded original accessories and certified service partners. Sony Mobile Communications Inc. does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

■ Disposal of old electrical and electronic equipment

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Mobile Communications Inc. Contact Center. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.

■ Disposing of the battery

Check local regulations or call a Sony Mobile Communications Inc. Contact Center for information. Never use municipal waste.

■ Memory card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

■ Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check if you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

■ Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the phone memory does not ensure that it cannot be recovered. Sony Mobile Communications Inc. does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference.

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Declaration of Conformity for SO-02G

CE 0682 ⓘ

The Product "SO-02G" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/doc/.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」という）は、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社（以下「ソニーモバイル」という）及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニーモバイルは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」という）を許諾します。
本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。
お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。
お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。
本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。

本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。
お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取り消されます。
本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニーモバイル、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。
本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。
本契約の準拠法は、日本法とします。
上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。
本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「spモード」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD WING」「WORLD CALL」「トルカ」「おまかせロック」「おサイフケータイ」「iD」「公共モード」「エリアメール」「ｉコンシェル」「声の宅配便」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「マチキャラ」「Xi」「Xi／クロッシィ」「eトリセツ」「dメニュー」「dマーケット」「かざしてリンク」「あんしん遠隔サポート」「あんしんスキャン」「しゃべってコンシェル」「フォトコレクション」「はなして翻訳」「LIVE UX」「マイマガジン」「トルカ」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「ｉコンシェル」ロゴ、「Xi」ロゴ、「eトリセツ」ロゴ、「dメニュー」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「しゃべってコンシェル」ロゴ、「はなして翻訳」ロゴ、「ICタグ・バーコードリーダー」ロゴ、「メディアプレイヤー」ロゴ、「電話帳」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。

- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2014 All Rights Reserved.
- 「Wi-Fi」は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Protected Setupロゴ、WPA、Wi-Fi DirectおよびWi-Fi CERTIFIED MiracastはWi-Fi Allianceの商標です。

- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Xperia、TrackID、Info-eye、Socialife、Xperia Loungeは、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- PlayStation、、DUALSHOCKは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。
- Sony、スイングパノラマ、スマイルシャッター、プレミアムおまかせオート、顔検出、Walkman、X-Reality、PlayMemories、FeliCa、Reader、トリルミナス、Triluminos、STAMINAモード、Sony Entertainment Network、TV SideView、Video Unlimitedはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- SmartAR®は、ソニー株式会社が開発した拡張現実技術で、同社の日本国内及びその他の国における登録商標または商標です。
- POBoxおよびPOBoxロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。
  POBoxは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- はNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Google」「Google」ロゴ、「Android」「Google Play」「Google+」「Gmail」「Googleマップ」「ハングアウト」「Google Calendar」「YouTube」「Picasa」「Google Chrome」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- EvernoteはEvernote Corporationの商標または登録商標です。
- "DLNA"、"DLNA"ロゴはDigital Living Network Allianceの商標または登録商標です。
- MHL、Mobile High-Definition LinkおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- MirrorLink、MirrorLinkロゴはCar Connectivity Consortium LLC.の商標または商標登録です。
- LinuxはLinus Torvalds,individualの登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Windows Vista」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」「Windows Media」「PlayReady」と「Microsoft Exchange ActiveSync」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Microsoft Word」は、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術を本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。

- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReadyコンテンツアクセス技術を使用することで、著作権で保護されたコンテンツも含め、知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び/又はWMDRMにより保護されたコンテンツにアクセスをします。本製品がコンテンツ使用制限を適切に実施できない場合、当該コンテンツ権利者は、Microsoftに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使用する本製品の機能を無効化するよう申し入れることがあります。この無効化はPlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を与えません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツへのアクセスに必要なPlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを行わない場合、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。
- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i)MPEG-4ビジュアル標準(以下「MPEG-4ビデオ」)またはAVC規格(以下「AVCビデオ」)に準拠したビデオのエンコード、および/または(ii)商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および/または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, LLCより入手できます(http://www.mpegla.com を参照)。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)

- ANT、ANT+はANT Wirelessの商標または登録商標です。
- ANT+™搭載のフィットネスハブとしての使用について
  本端末はANT+™技術に対応した健康機器やフィットネス機器と共に使用できます。例えば、ANT+™に対応した心拍数モニターやフットパッド（速度・距離測定用）を付けてランニングを行うと、走行のデータをお使いの端末に収集し、自身のパフォーマンスの分析や、改善方法について確認できます。
  ANT+™スポーツやフィットネス、健康機器をサポートする各種アプリケーションはGoogle Play™からダウンロードできます。
  ANT+™対応機器については、www.thisisant.com/directory をご覧ください。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用できます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから　dメニュー⇒「お客様サポート」⇒「ドコモオンライン手続きの一覧をみる」（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo (https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/) ⇒ ドコモオンライン手続き一覧

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

【マナーモード】（P.41）
着信音や操作音など、本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

【公共モード（電源OFF）】（P.85）
電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

【バイブレーション】（P.154）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

【伝言メモ】（P.83）
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

その他にも、留守番電話サービス（P.84）、転送でんわサービス（P.84）などのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151　（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113　（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ https://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SO-02Gからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」をロングタッチします）。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

危険です、歩きスマホ。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社

'14.10（1版）1289-8943.1